

Compaq Armada M700 シリーズ パーソナル コンピュータ

Reference Guide
リファレンス ガイド



COMPAQ

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Compaq Computer Corporationの書面による承諾なしに複写あるいは複製することはできません。

©2000 Compaq Computer Corporation
All rights reserved.

©2000 コンパックコンピュータ株式会社

ROMPaqは米国Compaq Computer Corporationの登録商標です。

Compaq、Compaqロゴ、Armadaは米国Compaq Computer Corporationの商標です。

Microsoft、Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Imation、SuperDiskは米国Imation Corporationの商標です。

Intel、Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。SpeedStepは米国Intel Corporationの商標です。

Phoenix、MultiBootは米国Phoenix Technologies Ltd.の商標または登録商標です。

CardWareは米国Unicore Software Inc.の商標または登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書に掲載されているソフトウェアは、ライセンス契約、または秘密保持契約にもとづいて供給されます。したがってソフトウェアは、それらの契約条件によってのみ使用または複製することができます。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれています。

Reference Guide リファレンス ガイド

Compaq Armada M700シリーズ パーソナル コンピュータ

初版 2000年 8月

168893-191

コンパックコンピュータ株式会社

目次

第 1 章

コンピュータの外観

ポインティング デバイスの各部.....	1-1
表面の各部.....	1-2
左側面の各部.....	1-4
右側面の各部.....	1-5
前面の各部.....	1-6
背面の各部.....	1-7
裏面の各部.....	1-8
その他の標準コンポーネント.....	1-9

第 2 章

キーボードとポインティング デバイス

ポインティング デバイスの使用.....	2-1
各部の名称：ポインティング スティック モデル.....	2-2
各部の名称：タッチパッド モデル.....	2-2
ポインティング デバイスの操作.....	2-3
ポインティング デバイスのカスタマイズ.....	2-4
[Fn]キーの使用.....	2-4
ホットキーの使用.....	2-5
表示画面の切り替え ([Fn]+[F4]ホットキー).....	2-6
システム警告音の音量調節 ([Fn]+[F5]ホットキー).....	2-7
Quick Controls (クイック コントロール) の起動	
([Fn]+[F6]ホットキー).....	2-7
バッテリー節電レベルの設定 ([Fn]+[F7]ホットキー).....	2-7
バッテリーの状態の表示 ([Fn]+[F8]ホットキー).....	2-8
コントラストの調整 ([Fn]+[F9]ホットキー).....	2-8
輝度の調整 ([Fn]+[F10]ホットキー).....	2-8
システム情報の表示 ([Fn]+[Esc]ホットキー).....	2-9
テキストの拡大表示 ([Fn]+[T]ホットキー).....	2-9

イージー アクセス ボタン	2-9
イージー アクセス ボタンを使用する前に	
インターネットおよびネットワークへの接続	2-9
イージー アクセス ボタンの各部	2-10
イージー アクセス ボタンのスキームの追加	2-11
イージー アクセス ボタンの設定の変更	2-12
イージー アクセス ボタンのスキームの確認/切り替え	2-13
イージー アクセス ボタンのスキームの削除	2-13
内蔵テンキーの使用	2-14
内蔵テンキー機能の有効/無効	2-14
内蔵テンキー機能が有効な場合の文字の入力	2-14
起動時に内蔵テンキー機能を有効にする方法	2-15

第 3 章

バッテリー パックの着脱および保管

バッテリー パックについて	3-1
バッテリー パックの保管	3-2
バッテリー パックの交換	3-3
メイン バッテリー パックの取り出し	3-4
メイン バッテリー パックの挿入	3-5
マルチベイ バッテリー パックの取り出し	3-6
マルチベイ バッテリー パックの挿入	3-7

第 4 章

電源の管理

電源の選択	4-1
サスペンド（スタンバイ）およびハイバネーションの使用	4-2
サスペンド（スタンバイ）	4-2
ハイバネーション	4-2
サスペンド（スタンバイ）、ハイバネーション、	
または電源の切断の選択	4-2
サスペンド（スタンバイ）、ハイバネーション、	
または電源の切断の操作方法	4-3
電源関連の各部	4-5

ロー バッテリー状態の処理	4-6
ロー バッテリー状態時のコンピュータ	4-6
ロー バッテリー状態の解決	4-7
バッテリー パックの充電	4-8
バッテリー パックの充電状態の確認	4-9
バッテリーの充電量を正確に表示する方法	4-9
バッテリー パックの充電ランプ（バッテリー クイック チェック）	4-9
画面上での充電状態の確認方法	4-10
バッテリー ゲージの調整	4-11
バッテリー ゲージの精度の確認	4-12
調整の実行	4-13
調整の中止	4-13
省電力機能の使用	4-14
省電力機能の設定－Windows 95をお使いの場合	4-15
省電力機能の設定－Windows 98をお使いの場合	4-17
省電力機能の設定－Windows NT 4.0をお使いの場合	4-18
省電力機能の設定－Windows 2000 Professionalをお使いの場合	4-20
自動挿入機能のオン/オフ	4-21
プロセッサのパフォーマンス モードの切り替え	
（一部のモデルのみ）	4-22
パフォーマンス モードの選択	4-22
パフォーマンス モードの切り替え	4-22
パフォーマンス モードとその他の省電力機能の組み合わせ	4-23
SpeedStepの設定	4-23
バッテリー節電	4-27
バッテリー節電のチェックリスト	4-27
バッテリー節電－Windows 95をお使いの場合	4-27
バッテリー節電－Windows 98をお使いの場合	4-28
バッテリー節電－Windows 2000 Professionalをお使いの場合	4-28
バッテリー節電－Windows NT 4.0をお使いの場合	4-28

第5章

ドライブの使用

ドライブの取り扱い上の注意	5-1
ドライブの位置の選択	5-2
マルチベイ ウェイト セーブ	5-2

ハードドライブ	5-3
ハードドライブの取り出し—ハードドライブ ベイ	5-3
ハードドライブの取り付け—ハードドライブ ベイ	5-4
ハードドライブへのハードドライブ用マルチベイ アダプタの 取り付け	5-5
ハードドライブからのハードドライブ用マルチベイ アダプタの 取り外し	5-6
ハードドライブの取り付け—マルチベイ	5-7
ハードドライブの取り出し—マルチベイ	5-8
CD-ROMドライブとDVD-ROMドライブ	5-9
CD-ROM/DVD-ROMドライブの取り外し	5-9
CD-ROM/DVD-ROMドライブの取り付け	5-10
CD-ROM/DVD-ROMドライブへのディスクの挿入	5-11
CD-ROM/DVD-ROMドライブからのディスクの取り出し	5-12
フロッピーディスク ドライブとスーパーディスク ドライブ	5-13
フロッピーディスク/スーパーディスク ドライブの取り外し	5-13
フロッピーディスク/スーパーディスク ドライブの取り付け	5-14
外付けドライブとしてのフロッピーディスク ドライブの使用	5-15
外付けフロッピーディスク ドライブ ベイからの ドライブの取り外し	5-16
外付けフロッピーディスク ドライブ ベイへの ドライブの取り付け	5-16
フロッピーディスク/スーパーディスク ドライブへの ディスクの挿入	5-17
フロッピーディスク/スーパーディスク ドライブからの ディスクの取り出し	5-17
マルチブートによるブート シーケンスの変更	5-18
マルチブート ユーティリティの選択	5-19
[Computer Setup]でのブート シーケンスの変更	5-20
[Compaqコンピュータ セキュリティ]での ブート シーケンスの変更	5-20

第 6 章

セキュリティ機能

セキュリティ機能のクイック リファレンス	6-1
パスワードを忘れてしまった場合	6-1
セキュリティ機能ユーティリティの使用	6-2
Power-on password（電源投入時パスワード）の使用	6-3
Power-on passwordの設定、変更、または削除	6-3
Power-on passwordの入力	6-5
Quick Controls（クイック コントロール）の使用	6-6
Quick Controlsの設定	6-6
手動でのQuickLockの起動	6-8
QuickLockの終了	6-8
Setup password（セットアップ パスワード） /	
管理者パスワードの使用	6-9
Setup password/管理者パスワードの設定、変更、または削除	6-9
Setup password/管理者パスワードの入力	6-11
DriveLock（ドライブロック）の使用	6-12
DriveLockによるハードドライブのプロテクト	6-14
プロテクトされているハードドライブへのアクセス	6-15
DriveLockパスワードの変更または	
DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除	6-16
装置の使用禁止と使用許可	6-17
[Computer Setup]ユーティリティを使用して	
装置の使用禁止/使用許可を設定する場合	6-18
[Compaqコンピュータ セキュリティ]を使用して	
装置の使用禁止/使用許可を設定する場合	6-18
システム情報の管理	6-19
[Computer Setup]でのシステム情報の入力/表示	6-20
[Compaqコンピュータ セキュリティ]での	
システム情報の入力/表示	6-21
[Compaqコンピュータ セキュリティ]での	
プロセッサのシリアル番号の表示/保護	6-22
ケーブル ロックの接続	6-23

第7章

内蔵モデムの使用（モデム内蔵モデルの場合）

モデム ケーブルの接続	7-1
モデムのセットアップ	7-3
通信ソフトウェアの選択	7-4
Lotus スクリプト ファイルのロード	7-4
Microsoft MS-Mail 3.2 Remote スクリプト ファイルのロード	7-6
モデム コマンドとダイヤル設定コマンドの使用	7-6
モデムの国外での使用	7-7
各国仕様のモデム アダプタの使用	7-7
各国仕様のモデム構成の選択	7-8
海外での接続のチェックリスト	7-9
ドライバの再インストールまたはアップデート	
一Windows 95またはWindows 98をお使いの場合	7-11
モデム ドライバのアンインストール	
(Windows 95またはWindows 98)	7-11
モデム ドライバの再インストール	
(Windows 95またはWindows 98)	7-11
ドライバの再インストールまたはアップデート	
一Windows NT 4.0をお使いの場合	7-12
モデム ドライバのアンインストール (Windows NT 4.0)	7-12
モデム ドライバの再インストール (Windows NT 4.0)	7-12
ドライバの再インストールまたはアップデート	
一Windows 2000 Professionalをお使いの場合	7-13
モデム ドライバのアンインストール (Windows 2000 Professional) ...	7-13
モデム ドライバの再インストール (Windows 2000 Professional) ...	7-13

第8章

LANへの接続（ネットワーク対応モデルの場合）

ネットワーク ケーブルの接続	8-2
LAN接続のオン/オフ	8-2
コンピュータの起動時におけるネットワークへのアクセス	8-3
ドライバの再インストールまたはアップデート	
一Windows 95またはWindows 98をお使いの場合	8-3
ドライバの再インストールまたはアップデート	
一Windows NT 4.0をお使いの場合	8-6

ドライバの再インストールまたはアップデート	
—Windows 2000 Professionalをお使いの場合	8-9

第 9 章

メモリの増設

RAMの管理	9-1
メモリ拡張ボードの着脱	9-2
キーボードの取り外し	9-2
メモリ拡張ボードの取り外し	9-3
メモリ拡張ボードの取り付け	9-4
キーボードの取り付け	9-5

第 10 章

オーディオ機能およびビデオ機能の使用

内蔵マイクと内蔵スピーカの使用	10-1
外付けオーディオ機器の接続	10-2
オーディオ コネクタの選択	10-2
マイク コネクタへのデバイスの接続	10-2
ステレオ スピーカ/ヘッドフォン コネクタへのデバイスの接続	10-3
音量の調節	10-3
外付けビデオ装置の接続	10-4
コンポジットTV出力コネクタへの装置の接続	10-4
ビデオ モードの変更	10-5
ビデオ機能の設定	10-5

第 11 章

PCカードの使用

CardWareのインストール（Windows NT 4.0をお使いの場合）	11-1
PCカード スロットの選択	11-2
PCカードの設定	11-2
PCカードの挿入	11-3
PCカードの取り出し	11-4

第 12 章

赤外線ポートの使用

赤外線通信	12-1
赤外線ポートの設定	12-2
赤外線ポートの有効化	12-2
赤外線接続時の注意点	12-4

第 13 章

インテリジェント マネジメント機能

Insight マネジメント エージェントのセットアップ	13-1
障害管理機能の使用	13-2
障害通知の概要	13-2
障害通知の設定	13-2

第 14 章

[Computer Setup]と診断用ユーティリティ

[Computer Setup]と[Compaq Diagnostics]の選択	14-1
[Computer Setup]の使用	14-2
[File]メニューの選択	14-2
[Security]メニューの選択	14-3
[Advanced]メニューの選択	14-4
[Compaq Diagnostics]の使用	14-5
システム情報の表示、保存、印刷	14-5
診断テスト結果の表示、保存、印刷	14-6

第 15 章

コンピュータの取り扱い上の注意

システムの更新	15-1
更新情報とソフトウェアの入手方法	15-1
最新ソフトウェアのダウンロード	15-2
最新ソフトウェアのインストール	15-3
プリインストール ソフトウェアのリストア（復元）	15-5
市販のオペレーティング システムのインストール	15-5
動作中の温度について	15-6
コンピュータの手入れ	15-6
持ち運んだり荷物として送ったりする場合の準備	15-7
持ち運びの際の注意	15-7

第 16 章

トラブルシューティング

一般的な問題を解決するためのチェックリスト	16-2
CDドライブ/DVD-ROMドライブに関するトラブルの解決方法	16-3
PCカードに関するトラブルの解決方法	16-4
USBに関するトラブルの解決方法	16-6
オーディオに関するトラブルの解決方法	16-7
画面に関するトラブルの解決方法	16-9
キーボード/テンキーパッドに関するトラブルの解決方法	16-10
赤外線に関するトラブルの解決方法	16-11
電源に関するトラブルの解決方法	16-13
ハードドライブに関するトラブルの解決方法	16-14
バッテリーに関するトラブルの解決方法	16-15
フロッピーディスク/スーパーディスク ドライブに関する トラブルの解決方法	16-17
モデムに関するトラブルの解決方法	16-18

付録 A

コンパック カスタマー サポートの利用方法

お問い合わせになる前に	A-1
サポート情報の提供方法	A-2
コンパックのインターネットWebサイト	A-2
お問い合わせ先	A-4
技術的な問い合わせ窓口	A-4
オペレーティング システムについて	A-4
バックアップ メディア等の提供	A-4
各国の電話番号	A-5

付録 B

規定に関するご注意	B-1
-----------------	-----

付録 C

静電気対策	C-1
-------------	-----

付録 D

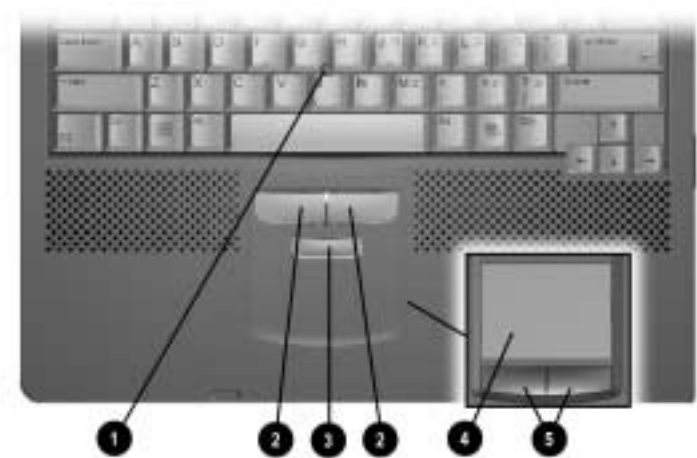
仕様	D-1
----------	-----

索引	I-1
----------	-----

第1章

コンピュータの外観

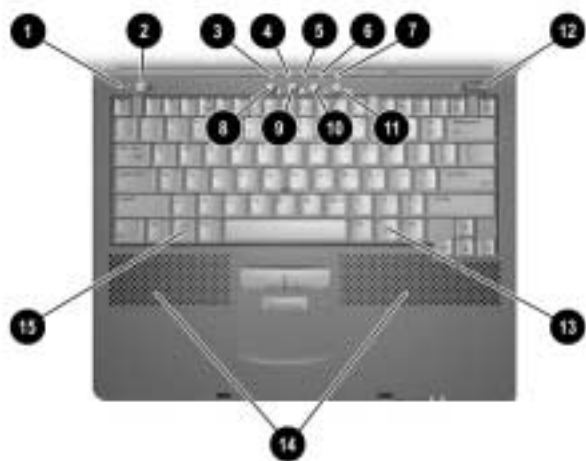
ポインティング デバイスの各部



ポインティング デバイスの各部

名称	機能
ポインティング スティック モデルのみ	
① ポインティング スティック	マウス ポインタを移動させます
② 左および右ポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左および右ボタンと同じ機能を果たします
③ スクロール ポインティング スティック ボタン	外付けマウスのスクロール ボタンのように、スクロールや拡大などの機能を割り当てられます
タッチパッド モデルのみ	
④ タッチパッド	マウス ポインタの移動、およびコマンドの選択や起動を行います
⑤ 左および右タッチパッド ボタン	外付けマウスの左および右ボタンと同じ機能を果たします

表面の各部



表面の各部	
名称	機能
① ディスプレイ スイッチ	コンピュータの電源が入った状態でディスプレイを閉じた場合、ディスプレイの表示を消します
② サスペンド ボタン*	サスペンド**を起動および終了します。コンピュータのキーボードの[Fn]キーを押しながらサスペンド ボタンを押すと、ハイバネーションが起動します 注：Windows 2000 Professionalでは、[Fn]キー+サスペンド ボタンによるハイバネーションの起動をサポートしていません
③ ハードドライブ ランプ	メイン ハードドライブへのアクセス中に点灯します
④ マルチベイ ドライブ ランプ	マルチベイまたは外付けフロッピーディスク ドライブへのアクセス中に点灯します
⑤ NumLockランプ	NumLockがオンで内蔵テンキーが使用可能なときに点灯します
⑥ CapsLockランプ	CapsLockがオンのときに点灯します
⑦ ScrollLockランプ	ScrollLockがオンのときに点灯します

次ページに続く

表面の各部 (続き)

名称	機能
⑧ イージー アクセス ボタン*** (インフォメーション)	お使いのCompaq Armadaコンピュータについての情報をすばやくご覧いただけるように、コンパックのアルマダ ユーザ向けのWebサイトに接続します
⑨ イージー アクセス ボタン*** (ホーム)	使いやすいようにカスタマイズされたホームページを開きます
⑩ イージー アクセス ボタン*** (サーチ)	インターネットでさまざまな情報を検索する場合に便利な検索エンジンのサイトに接続します
⑪ イージー アクセス ボタン*** (メール)	お使いのコンピュータでデフォルトとして設定されている電子メール用プログラムを起動します
⑫ 電源スイッチ	コンピュータの電源のオン/オフを切り替えたりサスペンド**を終了したりします
⑬ Windowsアプリケーション キー	ポインタがさしているアイテムのショートカット メニューを表示します
⑭ 内蔵スピーカ	ステレオ サウンドを出力します
⑮ Microsoftロゴ キー	Windowsの[スタート]メニューを表示します

* Windows 98では、「サスペンド ボタン」という用語が「スリープ ボタン」に置き換えられました。

** Windows 98およびWindows 2000 Professionalでは、「サスペンド」という用語が「スタンバイ」に置き換えられました。

*** イージー アクセス ボタンを使用するには、事前にコンピュータをインターネットに接続しておく必要があります。お使いになるISP (インターネット サービス プロバイダ) が設定されていない場合、ボタンを押すと、インターネット接続ウィザードの画面が表示されます。

左側面の各部



左側面の各部	
名称	機能
① コンポジットTV出力コネクタ	テレビ、ビデオ デッキ、ビデオ カメラ、OHP などのビデオ装置およびコンポジット ビデオ コネクタ経由でのビデオ入力をサポートするビデオ キャプチャ カードを接続します
② 通気孔 (×2)	コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を取り込みます。通気孔をふさがないようにしてください
③ ケーブル ロック コネクタ	別売のセキュリティ ケーブルを接続します

右側面の各部



右側面の各部

名称	機能
① PCカード イジェクト ボタン (×2)	上側のボタン: 上側のスロットに挿入されているPCカードを取り出すときに使用します 下側のボタン: 下側のスロットに挿入されているPCカードを取り出すときに使用します
② 通気孔	コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を取り込みます。通気孔をふさがないようにしてください
③ PCカード スロット (×2)	32ビット (CardBus) または16ビットのPCカードに対応しています
④ サウンド コンポーネント用通気孔	サウンド コンポーネントの温度が上がりすぎないように空気を取り込みます。通気孔をふさがないようにしてください
⑤ マルチベイ	マルチベイ デバイスを装着します
⑥ RJ-11コネクタ (モデム内蔵モデルのみ)	標準の電話ケーブルやモデム ケーブルを接続します 注: モデム内蔵モデルのコンピュータには、モデムケーブルが付属しています
⑦ RJ-45コネクタ (ネットワーク モデルのみ)	ネットワーク ケーブルを接続します 注: ネットワーク モデルのコンピュータには、ネットワーク ケーブルが付属しています

前面の各部



前面の各部	
名称	機能
① ハードドライブ ベイ	コンピュータのメイン ハードドライブが装着されています
② ステレオ スピーカ/ ヘッドフォン コネクタ	外付けスピーカやヘッドフォン、ヘッドセット、またはテレビのオーディオを接続します
③ マイク コネクタ	外付けマイク（モノラル）を接続します
④ 電源/サスペンド* ランプ	■ コンピュータの電源が入っているときは点灯しています ■ コンピュータの電源が切れているときは消灯しています ■ コンピュータがサスペンド*状態のときに点滅します
⑤ バッテリ充電ランプ	■ バッテリ パックの充電中に点灯します ■ コンピュータを外部電源に接続しておらず、バッテリ パックを1つだけ装着しているときに、そのバッテリ パックがローバッテリー状態になると点滅します

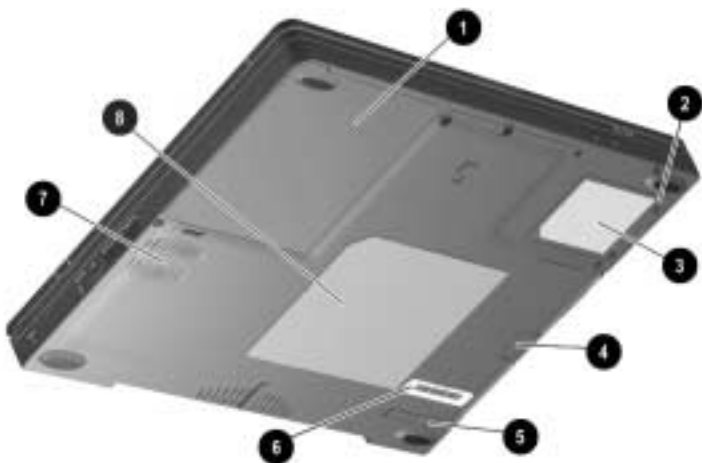
* Windows 98およびWindows 2000 Professionalでは、「スタンバイ」という用語が「サスペンド」に置き換えられました。

背面の各部



背面の各部	
名称	機能
① 赤外線ポート	赤外線通信機能を装備した他のデバイスと赤外線を使用してワイヤレス通信を行います
② シリアル コネクタ	マウスなどの別売のシリアル デバイスを接続します
③ 外付けモニタ コネクタ	外付けモニタやOHPなどの別売の外付けディスプレイを接続します
④ ドッキング コネクタ	コンピュータをデスクトップ拡張ベースに装着するときに使用する、176ピン拡張バス コネクタです
⑤ パラレル コネクタ	外付けディスク ドライブ ユニットまたは別売のパラレル デバイスを接続します
⑥ 電源コネクタ	ACアダプタまたは別売のカー アダプタ/チャージャを接続します
⑦ USBコネクタ	USB (ユニバーサル シリアル バス) デバイスまたはハブを接続します
⑧ キーボード/マウス コネクタ	別売のキーボードやPS/2互換マウスを接続します 注：市販のスプリッタ/アダプタを接続すれば、外付けキーボードと外付けマウスを同時に接続できます

裏面の各部



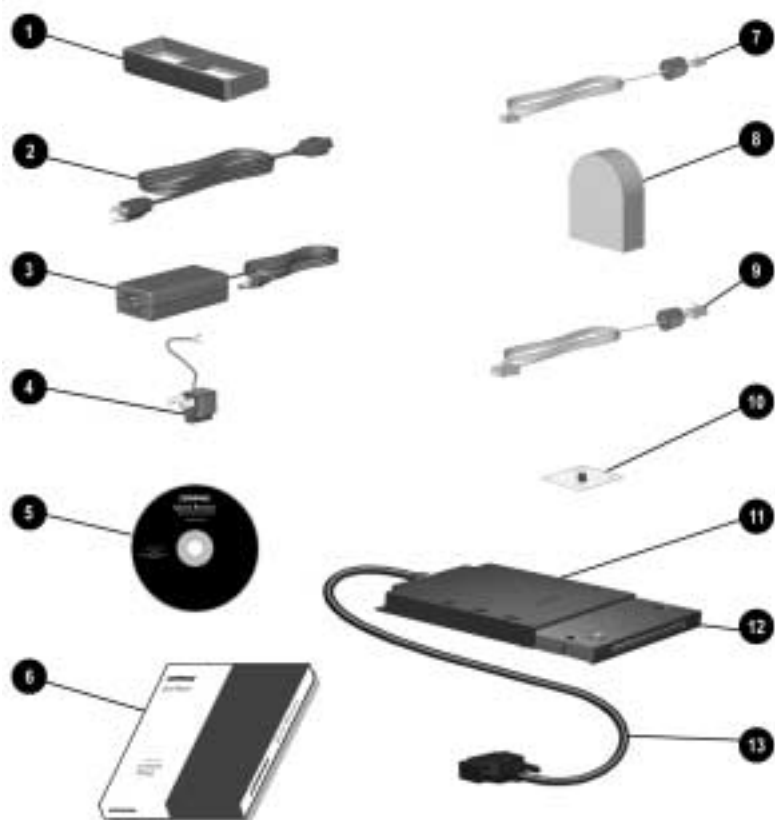
裏面の各部	
名称	機能
① バッテリー ベイ	メイン バッテリー パックが装着されています
② モデム スロット カバー	モデム コンパートメントのカバーです
③ モデム承認ラベル (モデム内蔵モデルのみ)	海外で使用する場合など、装備されているモデムの使用が認可されている国/地域を確認できます
④ マルチベイの切り込み	マルチベイからドライブやバッテリー パックを取り外すときにここに指をかけて引き出します
⑤ マルチベイ リリース ラッチ	マルチベイからリムーバブル ドライブやバッテリー パックを取り外すときにスライドさせます
⑥ シリアル番号ラベル	コンピュータを特定する番号です。コンパックのカスタマー サポートにお問い合わせいただく際にはこの番号が必要です
⑦ ファン	コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を取り込みます
⑧ 「Certificate of Authenticity」ラベル	オペレーティング システム (OS) のProduct Key 番号 (Product ID) が記載されています。Product Key は、OSのセットアップやアップグレードを行う場合またOSの問題を解決する場合に必要となることがあります 注：コンピュータのモデルにより、「Certificate of Authenticity」ラベルがOSのマニュアルの表紙に貼付されている場合もあります

その他の標準コンポーネント

コンピュータに同梱されているコンポーネントは、お買い上げいただいた国や地域、またハードウェアのモデルにより異なります。

ここでは、標準的な同梱物を図と表で説明します。

注：ハードドライブやメイン バッテリ パックのように、コンピュータ本体に装着された状態で出荷されるコンポーネントもあります。これらのコンポーネントについては、前の項目の説明を参照してください。



その他の標準コンポーネント

名称	機能
① ウェイト セーバ (×2)	マルチベイ デバイスと交換すれば、マルチベイを保護し、コンピュータの重量を減らすことができます
② 電源コード	ACアダプタとACコンセントを接続します
③ ACアダプタ	AC電源をDC電源に変換します
④ 2極アース付き国内変換プラグ	電源コードを2極アース付きのコンセントに接続するときに使用します
⑤ Notebook Products Reference Library CD-ROM (ノートブック製品リファレンス ライブラリCD-ROM)	以下のドキュメントが収録されています ■ リファレンス ガイド (このガイド) ■ モデム コマンド ■ 快適に使用していただくために
⑥ QuickRestoreキット	コンピュータにあらかじめインストールされていたソフトウェアが収録されたCD-ROMおよびそのCD-ROMの使用方法的説明書が入っています
⑦ RJ-11モデム ケーブル (モデム内蔵モデルのみ) *	モデムをRJ-11電話コネクタ、または各国仕様のアダプタに接続するときに使用します
⑧ 各国仕様のモデム アダプタ (モデム内蔵モデルの一部)	RJ-11電話コネクタ以外のコネクタにモデムケーブルを接続するときに使用します 注：日本では必要ありませんので、日本で販売されている製品には付属していません
⑨ RJ-45ネットワーク ケーブル (ネットワーク モデルのみ)*	コンピュータとEthernetネットワーク コネクタを接続します
⑩ ポインティング スティックのスペア キャップ (ポインティング スティック モデルのみ)	以下の手順で、古くなったポインティング スティックのキャップを取り替えます 1. コンピュータの電源を切ります 2. 古くなったキャップを静かに取り外し、交換用のキャップを押し込んで取り付けます
⑪ 外付けフロッピーディスク ドライブ バイ	フロッピーディスク ドライブを装着できません (スーパーディスク ドライブには対応していません)
⑫ フロッピーディスク ドライブ	外付けフロッピーディスク ドライブ バイまたはマルチベイに装着して使用します
⑬ 外付けフロッピーディスク ドライブ ケーブル	外付けフロッピーディスク ドライブ バイとコンピュータを接続します

* モデム ケーブルは6ピン、ネットワーク ケーブルは8ピンです。

第2章

キーボードとポインティング デバイス

ポインティング デバイスの使用

お使いのコンピュータには、タッチパッド（タッチパッド搭載モデルの場合）またはイーザーポイントIVポインティング スティック（ポインティング スティック搭載モデルの場合）がポインティング デバイスとして搭載されています。それぞれのポインティング デバイスは、マイクロソフト互換マウスをサポートしているすべてのソフトウェアに対応しています。

注：お使いのソフトウェアがマイクロソフト互換マウスをサポートしていない場合は、[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）ユーティリティを起動し、[Advanced]（詳細設定）→[Device options]（デバイス オプション）の順に選択して、[Multiple Pointing Devices]（複数のポインティング デバイス）で[Disable]（無効）を選択します。

各部の名称：ポインティング スティック モデル

- ① ポインティング スティック
- ③ スクロール ボタン
- ② 左ボタン
- ④ 右ボタン



各部の名称：タッチパッド モデル

- ① タッチパッド
- ③ 右ボタン
- ② 左ボタン



ポインティング デバイスの操作

ポインティング デバイスの操作手順

作業	手順
ポインタ（カーソル）の移動	ポインティング スティック：動かしたい方向に向かってポインティング スティックを押しつけます タッチパッド：タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指を動かします
ポインタの移動速度の増減 ポインティング デバイスの設定を変更して速度を変える方法については、「ポインティング デバイスのカスタマイズ」を参照してください	ポインティング スティック：ポインティング スティックに加える圧力を増減します タッチパッド：タッチパッドの表面で指を移動するときに速度を増減させます
クリック、右クリック、スクロール クリック、またはダブルクリック	ポインティング スティック：外付けマウスのボタンと同様に、左右またはスクロール ボタンをクリックまたはダブルクリックします タッチパッド：外付けマウスのボタンと同様に、それぞれのボタンをクリック、またはダブルクリックします
アイテムの反転表示*	反転表示したいアイテムにポインタを移動します。ポインティング スティックまたはタッチパッドを押したまま、アイテムの上でポインタを動かします
テキストやオブジェクトを選択する*	反転表示させたテキストやオブジェクトの上にポインタを置き、ポインティング スティックまたはタッチパッドを1回タップし（軽く指でたたき）ます
選択したアイテムをアクティブにする*	ポインタを選択したアイテムの上に置き、ポインティング スティックまたはタッチパッドを2回タップします 注：アイテムを選択してアクティブにするには、1回タップしてアイテムを選択し、次に2回タップしてアクティブにします
アイテムを選択して、ドラッグアンド ドロップする*	アイテムの上にポインタを置き、ポインティング スティックまたはタッチパッドを押したまま、ドラッグしたい位置まで動かします。ドロップするには、ポインティング スティックまたはタッチパッドから指を離します

* 外付けマウスと同様に操作を行うには、外付けマウスの左ボタンを操作するように、左ボタンを操作します。

ポインティング デバイスのカスタマイズ

■ ポインティング スティック モデルの場合：

- ポインタ（カーソル）の軌跡、ポインタの速度、ダブルクリックの速度、およびWindows 98またはWindows 2000 Professionalのシングルクリック モードなど、すべてのMicrosoft互換マウスの機能を設定するには、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択して、[マウス]アイコンをダブルクリックします。
- 画面のスクロール、画面の拡大、およびポインティング スティックをタップせずに行うアイコン選択など、その他のイーザーポイントIVポインティング スティックの機能を設定するには、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択して、[Easy Point IV]アイコンをダブルクリックします。

■ タッチパッド モデルの場合：ポインタ（カーソル）の軌跡、ポインタの速度、ダブルクリックの速度、およびWindows 98またはWindows 2000 Professionalのシングルクリック モードなど、すべてのタッチパッド機能を設定するには、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択して、[マウス]アイコンをダブルクリックします。

[Fn]キーの使用

[Fn]キーを押しながら他のキーを押すことにより、多くの機能を実行できます。たとえば、[Fn]キーを押しながらサスペンド ボタンを押すと、ハイバネーションが起動されます。また、次の項目で説明するように、ホットキー コマンドを実行するには、ほとんどの場合[Fn]キーを押しながらファンクション キーを押します。

[Fn]キーを押しながら他のキーを押して実行するコマンドを、[Fn]キーを押した後に続けて他のキーを押した場合でも実行できるように設定することもできます。たとえばハイバネーションを起動するには、[Fn]キーを押しながらサスペンド ボタンを押す方法と、[Fn]キーを押した後にサスペンド ボタンを押す方法があります。

この機能を有効にするには：[Fn]キーを5回押します。この機能が有効になると、[Fn]キーを5回押した後にビーブ音が鳴ります。この機能は、無効に設定しなおさない限り、コンピュータの電源を切ったり、サスペンドやハイバネーションを起動したりしても有効のままです。

この機能を有効にすると、以下のようになります。

- [Fn]キーを押すたびにピープ音が鳴り、次に押すキーが[Fn]キーと同時に押した場合のコマンドと同様に処理されることを表します。
- [Fn]キーを押しながら他のキー（ファンクション キーなど）を押しても、コマンドを実行できます。

この機能を無効にするには：[Fn]キーを5回押します。無効にした場合は有効にした場合と違って、[Fn]キーを5回押した後にピープ音は鳴りません。

ホットキーの使用

ホットキーとは、特定の操作を単純化するための[Fn]キー❶と他のキーの組み合わせのことです。ホットキーの機能は、ファンクション キー（[F4]～[F10]❷）上にアイコンで示されています。

- ホットキーの操作によって開いたウィンドウを閉じるには、Windows の標準的な操作を行うか、ホットキーを押します。
- [Fn]キーのない外付けキーボードでホットキーを使用するには、[Scroll Lock]キーを2回押した後、ファンクション キーを押します。たとえば、[Fn]+[F10]ホットキー機能を使用するには、[Scroll Lock]キー→[Scroll Lock]+[F10]ホットキーの順に押します。

注：USBコネクタに外付けキーボードを接続している場合は、[Fn]+[F6]ホットキー（Quick Controls（クイック コントロール）の起動）機能は使用できません。



ホットキーのクイック リファレンス

機能	ホットキー
表示画面の切り替え	[Fn]+[F4]
システム警告音の音量調節	[Fn]+[F5]
Quick Controls (クイック コントロール) の起動	[Fn]+[F6]
バッテリー節電レベルの設定	[Fn]+[F7]
バッテリーの状態の表示	[Fn]+[F8]
コントラストの調整	[Fn]+[F9]
輝度の調整	[Fn]+[F10]
システム情報の表示	[Fn]+[Esc]
テキストの拡大表示	[Fn]+[T]

表示画面の切り替え ([Fn]+[F4]ホットキー)

Windows 95、Windows NT 4.0、またはWindows 2000 Professionalをお使いの場合は、[Fn]+[F4]ホットキーを押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイ、外付けモニタ、コンピュータ本体のディスプレイと外付けモニタへの同時表示の順に切り替わります。外付けモニタは、外付けモニタ コネクタまたはビデオ出力コネクタを使用して接続できます。

Windows 98をお使いの場合は、[Fn]+[F4]ホットキーを押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイと外付けモニタ コネクタに接続されている外付けモニタが切り替わります。

- マルチモニタ サポート機能が有効な場合は、[Fn]+[F4]ホットキーを押すと、外付けモニタの表示がオフになり、マルチモニタ サポート機能が無効になります。
- マルチモニタ サポート機能が無効な場合は、[Fn]+[F4]ホットキーを押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイ、外付けモニタ、コンピュータ本体および外付けモニタの同時表示の順に切り替わります。

システム警告音の音量調節 ([Fn]+[F5]ホットキー)

- [Fn]+[F5]ホットキーを押すと、画面に表示されるスライド バーまたはカーソル キーを使用してシステム警告音の音量を調節できます。
- ミュート（消音）する、または音量を元に戻すには、次のどちらかの操作を行います。
 - [Fn]+[F5]ホットキーを押して、[M]キーを押します。
 - [Fn]+[F5]ホットキーを押して、[ミュート]チェックボックスをオンまたはオフにします。

Quick Controls（クイック コントロール）の起動 ([Fn]+[F6]ホットキー)

Quick Controlsのセキュリティ機能は、キーボードおよびポインティングデバイスを無効にして、画面表示をクリアします。Quick Controlsを使用するには、Power-on password（電源投入時パスワード）を設定して、Quick Controlsを有効に設定しておく必要があります。詳しくは、このガイドの第6章を参照してください

- Quick Controlsを起動するには、[Fn]+[F6]ホットキーを押します。
- Quick Controlsを終了するには、Power-on passwordを入力します。

[Fn]+[F6]ホットキーは、コンピュータのUSBコネクタまたは別売のドッキング ベースに接続された外付けキーボードでは使用できません。

バッテリー節電レベルの設定 ([Fn]+[F7]ホットキー)

Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、[Fn]+[F7]ホットキーを押して、[電源オプションのプロパティ]ウィンドウの[バッテリー節電設定]タブを開きます。

Windows 98をお使いの場合は、[Fn]+[F7]ホットキーを押して、[電源の管理のプロパティ]ウィンドウの[電源管理]タブを開きます。

Windows 95またはWindows NT 4.0をお使いの場合は、[Fn]+[F7]ホットキーを押して、[電源のプロパティ]ウィンドウの[バッテリー節電設定]タブを開きます。

- あらかじめ設定されているバッテリー節電レベルを使用する場合は、以下のどれかを選択します。
 - 高レベル—バッテリーの動作時間を最優先した節電レベルです。
 - 中レベル—コンピュータの性能とバッテリーの節約の両方をバランスよく調整した節電レベルです。
 - なし（ドレイン）—バッテリーを最大限に消費します。
- [カスタム]を選択して設定値を変更する場合は、このガイドの第4章の「省電力機能の設定—Windows 95またはWindows NT 4.0をお使いの場合」の項目を参照してください。

バッテリーの状態の表示 ([Fn]+[F8]ホットキー)

[Fn]+[F8]ホットキーを押すと、コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリーの状態が表示されます。バッテリー パックの番号は取り付け位置に対応しており、それぞれ以下の場所に取り付けられていることを示します。

1. コンピュータ本体のバッテリー ベイ
2. コンピュータ本体のマルチベイ
3. 拡張ベースの右側のマルチベイまたはコンビニエンス ベースのバッテリー充電ベイ
4. 拡張ベースの左側のマルチベイまたはコンビニエンス ベースのマルチベイ

注：コンピュータやドッキング ベース（拡張ベースおよびコンビニエンス ベース）のモデルにより、ドッキング ベースのベイにバッテリー パックを装着できない場合もあります。

コントラストの調整 ([Fn]+[F9]ホットキー)

[Fn]+[F9]ホットキーを押すと、画面上のスライド ボタンまたはカーソルキーを使用して画面のコントラストを調整できます。コントラストの調整をする必要のないモデルでは、このホットキーは使用できません。

輝度の調整 ([Fn]+[F10]ホットキー)

[Fn]+[F10]ホットキーを押すと、画面上のスライド ボタンまたはカーソルキーを使用して画面の輝度を調整できます。

システム情報の表示 ([Fn]+[Esc]ホットキー)

[Fn]+[Esc]ホットキーを押すと、システムのハードウェア コンポーネントやソフトウェアのバージョンに関する情報が表示されます。

注:[システムBIOS]の横に表示される数字がシステムROMのバージョンです。

テキストの拡大表示 ([Fn]+[T]ホットキー)

Windows上でMS-DOSをフル スクリーン表示で実行した場合に、コンピュータの画面に表示されるイメージが画面のデスクトップ領域より小さくなることがあります。[Fn]+[T]ホットキーを押すと、[Text Stretch] (テキストの拡大表示) と通常表示を切り替えることができます。デフォルト設定では、[Text Stretch]が選択されています。[Regular] (通常表示) が選択されている場合、グラフィック アクセラレータを有効にすることはできません。

イージー アクセス ボタン

コンピュータ本体または別売の外付けキーボードにあるイージー アクセス ボタンには、インターネット上、ネットワーク上、またはローカル ドライブ上のファイルやプログラムなどを割り当てて、ボタンを押すだけで開くように設定することが可能です。

イージー アクセス ボタンを使用する前に —インターネットおよびネットワークへの接続

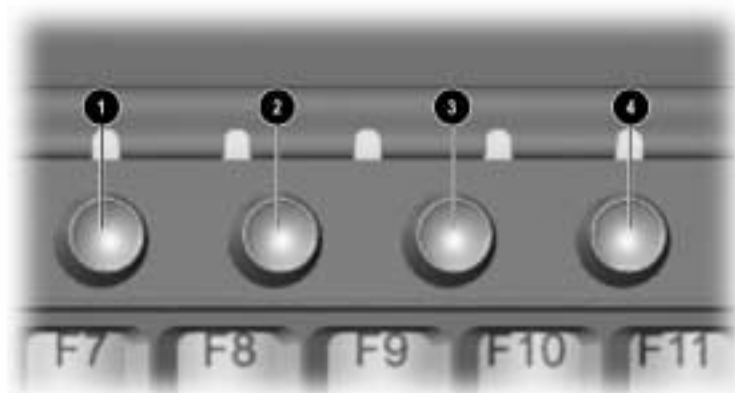
イージー アクセス ボタンを使用してインターネットやネットワーク上のファイルやプログラムにアクセスするには、事前にコンピュータをインターネットやネットワークに接続しておく必要があります。

- インターネットやネットワークへの接続をいったん確立しておけば、以降はインターネットやネットワーク上のアイテムを割り当てたイージー アクセス ボタンを押すだけで、接続が確立され、続けてアイテムが開かれます。
- コンピュータのイージー アクセス ボタンには、デフォルトでインターネットのサイトやサービスが割り当てられています。お使いになるISP (インターネット サービス プロバイダ) が設定されていない状態でボタンを押すと、お使いのオペレーティング システムに応じたインターネット セットアップ ウィザードが起動されます。
- ボタンの割り当てはいつでも変更できます。

イージー アクセス ボタンの各部

お使いのコンピュータのイージー アクセス ボタンの場所と機能について、以下の図と表で説明します。

- [イージー アクセス ボタン]ウィンドウでは、ボタンはアイコンで表示されます。
- イージー アクセス ボタン設定用ソフトウェアを使用してボタン名や割り当てを変更することができますが、アイコンを変更することはできません。



イージー アクセス ボタン		
ボタン	アイコン	機能
①		インフォメーション：お使いのCompaq Armadaコンピュータについての情報をすばやくご覧いただけるように、コンパックのアルマダ ユーザ向けのWebサイトに接続します
②		ホーム：使いやすいようにカスタマイズされたホームページを開きます
③		サーチ：インターネットでさまざまな情報を検索する場合に便利な検索エンジンのサイトに接続します
④		メール：お使いのコンピュータでデフォルトとして設定されている電子メール用プログラムを起動します

イージー アクセス ボタンのスキームの追加

4つのイージー アクセス ボタンの割り当てを1つのグループにまとめて、スキームとして登録できます。

- デフォルト以外のスキームでは、ボタン名や割り当てを何度でも変更できます。
- 追加できるスキームの数に制限はありません。
- 異なるスキームにおいて、あるボタンの名前や割り当てが同じでも構いません。
- 別売のコンパックの外付けインターネット キーボードをコンピュータに接続した場合、コンピュータ本体で使用しているスキーム(デフォルトを含む)での設定が、外付けキーボードの最初の4つのインターネット ボタンに適用されます。
- 新しいスキームを追加した場合、4つのボタンすべての名前や割り当てを変更する必要はありません。ボタン名や割り当てを変更しないボタンには、デフォルトのスキームのボタン設定が適用されます。

以下の手順でスキームを追加します。

1. Windowsのタスクバーに表示されているイージー アクセス ボタンのアイコンをダブルクリックします。
または
[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[イージー アクセス ボタン]の順に選択します。
2. [追加]をクリックします。
3. 追加するスキームの名前を[スキーム]ボックスに入力します。
4. [ボタン名]コラムで、機能やファイルを割り当てるアイコンを選択します。
5. ボタンに割り当てる機能に応じた名前を[ボタン名]ボックスに入力します。

6. **[ボタンの割り当て]**ボックスで、ボタンに割り当てるファイル名、プログラム、またはWebサイトのアドレスを次のどれかの方法で指定します。
 - ファイルのパスやWebサイトのアドレス（URL）を入力します。
 - Windowsの通常の操作方法に従ってファイルのパスやURLをコピーして、**[ボタンの割り当て]**ボックス内に貼り付けます。
 - **[検索]**ボタンでアイテムを検索し、見つかったらそのアイテムをダブルクリックします。ファイル名を確認して**[OK]**をクリックします。
7. このスキームで設定するすべてのイージー アクセス ボタンに対して、手順4～6の操作を行います。
8. **[適用]**または**[OK]**をクリックします。

イージー アクセス ボタンの設定の変更

注：あるスキームで複数のボタンの設定を変更する場合は、以下の手順の3～5の操作を必要に応じて繰り返します。

以下の手順であるスキームに登録したイージー アクセス ボタンの設定を変更します。

1. Windowsのタスクバーに表示されているイージー アクセス ボタンのアイコンをダブルクリックします。
または
[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[イージー アクセス ボタン]の順に選択します。
2. **[スキーム]**ドロップダウン リストから割り当てや名前を変更するボタンが含まれているスキームを選択します。
3. **[ボタン名]**コラムで、変更するボタンのアイコンを選択します。
4. ボタン名を変更するには、**[ボタン名]**ボックスの横の**[編集]**をクリックしてからボックスに名前を入力します。

ボタンの割り当てを変更するには、**[ボタンの割り当て]**ボックスで、次のどれかの方法でアイテムを指定します。

- ファイルのパスやWebサイトのアドレス（URL）を入力します。
- Windowsの通常の操作方法に従ってファイルのパスやURLをコピーして、**[ボタンの割り当て]**ボックス内に貼り付けます。

- **[検索]**ボタンでアイテムを検索し、見つかったらそのアイテムをダブルクリックします。ファイル名を確認して**[OK]**をクリックします。

5. **[適用]**または**[OK]**をクリックします。

イージー アクセス ボタンのスキームの確認/切り替え

以下の手順でスキームを確認したり切り替えたりします。

1. Windowsのタスクバーに表示されているイージー アクセス ボタンのアイコンをダブルクリックします。
または
[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[イージー アクセス ボタン]の順に選択します。
2. 現在適用されているスキーム名が**[スキーム]**ボックスに表示されています。別のスキームに切り替えるには、**[スキーム]**ドロップダウン リストから用途に応じたスキームを選択します。
3. **[適用]**または**[OK]**をクリックします。

イージー アクセス ボタンのスキームの削除

注：デフォルトのスキームは削除できません。ユーザが追加したスキームのみ削除できます。

以下の手順でスキームを削除します。

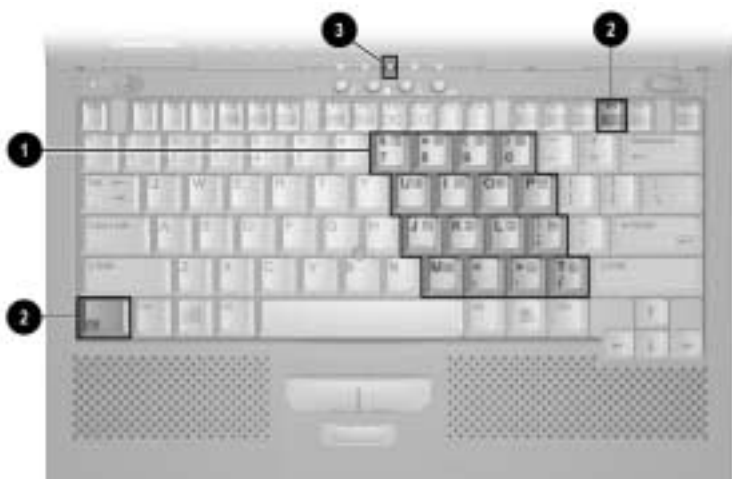
1. Windowsのタスクバーに表示されているイージー アクセス ボタンのアイコンをダブルクリックします。
または
[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[イージー アクセス ボタン]の順に選択します。
2. **[スキーム]**ドロップダウン リストから削除するスキームを選択します。
注：複数のスキームを同時に削除することはできません。1つずつ削除してください。
3. **[削除]**をクリックします。
4. **[OK]**をクリックします。

内蔵テンキーの使用

内蔵テンキー機能の有効/無効

- コンピュータのキーボードのテンキー機能を有効にするには、[Fn] + [NumLk]ホットキー②を押します。内蔵テンキー①が有効になると、NumLockランプ③が点灯し、内蔵テンキー部分からの数値入力が可能になります。
- 内蔵テンキーを無効にするには、[Fn] + [NumLk]ホットキーを押します。

注：別売の外付けキーボードやテンキーパッドをコンピュータに接続している場合は、内蔵テンキーを有効にすることはできません。



内蔵テンキー機能が有効な場合の文字の入力

内蔵テンキー機能が有効な場合は、以下の方法で文字を入力します。

- 小文字を入力する場合は、[Fn]キーを押しながら文字を入力します。
- 大文字を入力する場合は、[Fn] + [Shift]キーを押しながら文字を入力します。

起動時に内蔵テンキー機能を有効にする方法

- コンピュータの起動時から内蔵テンキー機能が有効になるように設定するには、以下の手順に従って操作します。

1. コンピュータの電源を入れるかコンピュータを再起動します。画面の右上でカーソルが点滅したら[F10]キーを押します。

- 表示言語を変更するには、[F2]キーを押します。

- ヘルプを表示するには、[F1]キーを押します。

2. [Advanced] (詳細設定) → [Device options] (デバイス オプション) の順に選択して、[Enter]キーを押します。

3. [Num Lock state at boot] (起動時のNumLockの状態) で[On]を選択して、[F10]キーを押します。

4. 設定を保存するには、[Computer Setup] (コンピュータのセットアップ) ユーティリティを終了して、コンピュータを再起動します。次に、[File] (ファイル) → [Save changes and exit] (変更を保存して終了) の順に選択して、[Enter]キーを押します。

5. 操作の確認画面が表示されたら、[F10]キーを押します。

- 起動時に内蔵テンキー機能を無効にするには、上記の手順を繰り返して、[Num Lock state at boot]で[Off]を選択します。

注: [Fn]+[NumLk]ホットキーを押すと、起動時に内蔵テンキーを有効にしている場合は無効に、起動時に無効にしている場合は有効になります。

バッテリー パックの着脱および保管

バッテリー パックについて

お使いのコンピュータには、一度に2つまでのバッテリー パックを以下の場所に装着できます。

- コンピュータ本体に付属のバッテリー パックは、コンピュータ本体のバッテリー ベイでのみ使用できます。バッテリー ベイ内のバッテリー パックがメイン バッテリー パックです。
- 別売のマルチベイ バッテリー パックは、マルチベイでのみ使用できません。

1つのシステムに複数のバッテリー パックを装着している場合、装着している場所によりあらかじめ設定されている順番に従って、充電および放電されます。

- 充電される順番は以下の通りです。

1. コンピュータ本体のバッテリー ベイ
2. コンピュータ本体のマルチベイ
3. 拡張ベースの右側のマルチベイまたはコンビニエンス ベースのバッテリー 充電ベイ
4. 拡張ベースの左側のマルチベイまたはコンビニエンス ベースのマルチベイ

注：コンピュータやドッキング ベース（拡張ベースおよびコンビニエンス ベース）のモデルにより、ドッキング ベースのベイにバッテリー パックを装着できない場合もあります。

- バッテリー パックの電力は、充電時とは逆に、1. コンピュータ本体のマルチベイ、2. コンピュータ本体のバッテリー ベイ順番で消費されます。

注：ドッキング ベースのベイに装着しているバッテリー パックを充電することは可能ですが、コンピュータの駆動用電源としては使用できません。コンピュータ本体のマルチベイまたはバッテリー ベイに装着してください。

バッテリー パックの保管



注意：バッテリー パックの損傷を防ぐため、長期間にわたって高温の場所に放置しないでください。

2週間以上コンピュータを使用せず外部電源に接続しない場合は、バッテリー パックをコンピュータから取り出して別々に保管してください。

バッテリーの放電を抑えて、寿命が短くなるのを防ぎます。次の表を参照して、気温や湿度の低い場所にバッテリー パックを保管してください。

バッテリー パックの推奨保管温度

保管期間	温度（℃）
1か月以内	0～50°
3か月以内	0～40°
期限なし	0～30°

バッテリー パックの交換

使用済みのバッテリー パックを充電済みのバッテリー パックと交換することでロー バッテリー状態を解決できます。作業を保存してからバッテリー パックを交換してください。



警告：化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、接点をショートさせたり、水や火の中に捨てたり、60℃を超える高温な場所に保管したりしないでください。



注意：1つのバッテリー パックからの電力だけでコンピュータを使用しているときにそのバッテリー パックを取り出す場合は、事前にハイバネーションを起動する必要があります。ハイバネーションを起動しないと、保存していないデータが失われます。

複数のバッテリー パックを装着している場合は、ハイバネーションを起動しなくても、コンピュータの電源を入れたままバッテリー パックを取り出すことができます。

メイン バッテリ パックの取り出し

1. 電源としてバッテリ パックを1つだけ使用している場合は、ハイバネーションを起動します。

注：ドライブがアクセス中の場合は、すぐにハイバネーションが起動されないことがあります。

2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータを傾け①、バッテリ ベイの奥にあるバッテリ リリースラッチをファンの方向にスライドさせて②バッテリ パックを開放します。
4. バッテリ ベイからバッテリ パックを取り出します③。



メイン バッテリー パックの挿入

1. ディスプレイを閉じます。
2. コンピュータを傾けます❶。
3. バッテリー パックのなめらかな面を外側に、バッテリー セルを内側に向けて、バッテリー パックの丸い端をバッテリー ベイに合わせてしっかりとめ込みます❷。



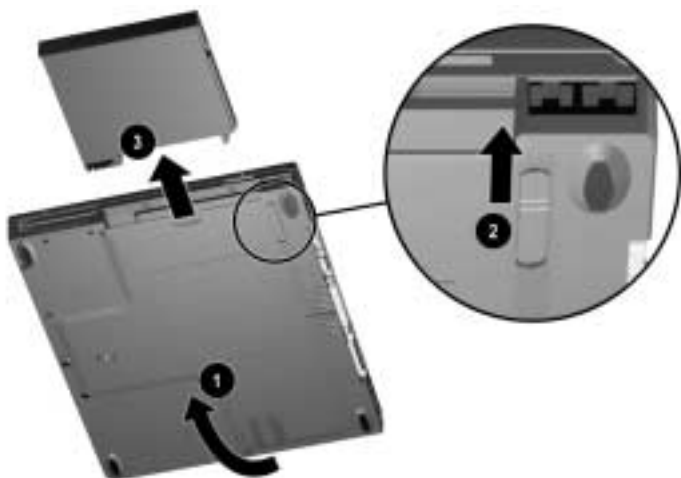
4. ハイバネーションが起動している場合は、電源スイッチをスライドさせると操作を再開できます。

マルチベイ バッテリー パックの取り出し

1. 電源としてバッテリー パックを1つだけ使用している場合は、ハイバネーションを起動します。

注：ドライブがアクセス中の場合は、すぐにハイバネーションが起動されないことがあります。

2. マルチベイを正面に向けてコンピュータを傾け①、マルチベイ リリース ラッチ②をマルチベイの開口部の方向にスライドさせます。
3. バッテリー パックの端の切り込みを引っ張り、マルチベイから取り出します③。



マルチベイ バッテリー パックの挿入

1. バッテリー パックの充電レベル ランプが上、接点が奥になるようにバッテリー パックをマルチベイに挿入します。



2. ハイバネーションが起動している場合は、電源スイッチをスライドさせると操作を再開できます。

第4章

電源の管理

電源の選択

作業	推奨する電源
インストール済みのアプリケーションを使用する	■ 充電済みのバッテリー パックをコンピュータに装着します または ■ 次の機器から外部電力を供給します ■ ACアダプタ ■ ドッキング ベース (別売) ■ カー アダプタ (別売)
コンピュータのバッテリーパックを充電する/バッテリーゲージを調整する	次の機器から外部電力を供給します ■ ACアダプタ ■ ドッキング ベース (別売) ■ カー アダプタ (別売)
システム ソフトウェアをインストール/再インストール/変更する	ACアダプタを使用して外部電力を供給します

サスペンド（スタンバイ）およびハイバネーションの使用

サスペンド（スタンバイ）

サスペンドは省電力機能の1つで、消費電力を節約し、システムの再始動の際の時間を短縮します。

サスペンド（Windows 98およびWindows 2000 Professionalでは「スタンバイ」という用語に置き換えられました）は、システムを使用していないある一定の時間が経過すると、コンポーネントへの電力供給を停止し、電力消費を少なく抑えます。システムが自動的にサスペンドを起動するように設定しておくことも、ユーザがサスペンドを起動することもできます。サスペンドが起動されると、データがRAM（ランダム アクセス メモリ）に保存され、画面がクリアされます。サスペンドを終了すると、画面がサスペンドを起動したときの状態に戻ります。

ハイバネーション

ハイバネーションは、省電力機能の1つで、RAMのデータをハードドライブのハイバネーション ファイルに保存した後、コンピュータの電源を切ります。システムが自動的にハイバネーションを起動するように設定しておくことも、ユーザがハイバネーションを起動することもできます。ハイバネーションを終了すると、画面がハイバネーションを起動したときの状態に戻ります。

サスペンド（スタンバイ）、ハイバネーション、または電源の切断の選択

作業をすぐに再開する場合—サスペンド（スタンバイ）を起動すると、画面がクリアされ、他のコンポーネントへの電力供給も停止されるので、通常の動作時より消費電力が抑えられます。サスペンド ボタンを押すと、画面の表示が元の状態に戻り、すぐに作業を再開できます。完全に充電したバッテリー パックを使用すれば、最長1週間サスペンド（スタンバイ）を維持できます。充放電を頻繁に繰り返すとバッテリー パックの寿命が短くなるので注意してください。

2週間以内に作業を再開する場合—ハイバネーションを起動すると画面がクリアされ、データがハードドライブに保存されてコンピュータの電源が切れるので、電力は消費されません。ハイバネーションはサスペンド（スタンバイ）よりも作業の再開にわずかだけ時間がかかりますが、システムを再起動するよりは極めて短時間ですみます。ハイバネーション状態では電力をまったく消費しないので、ハイバネーションを維持できる期間に制限はありません。

2週間以上コンピュータを外部電源に接続しない場合—コンピュータの電源を切り、バッテリー パックを取り外しておくと、バッテリー パックの寿命を延ばすことができます。バッテリー パックは涼しく乾燥した場所に保管してください。

サスペンド（スタンバイ）、ハイバネーション、または電源の切断の操作方法

次ページの表に、サスペンド（スタンバイ）またはハイバネーションの起動と終了、およびコンピュータの電源を切る場合の操作方法をまとめます。キーやボタン、およびランプの位置については、その次の図を参照してください。

サスペンド、ハイバネーション、電源の切断

操作	手順	結果
コンピュータの電源を入れる	電源スイッチをスライドさせます	電源/サスペンド** ランプが点灯します オペレーティング システムが起動されます
コンピュータの電源を切る	Windows オペレーティング システムの通常の手順で終了操作を行います	電源/サスペンド** ランプが消灯します オペレーティング システムが終了し、電源が切られます コンピュータの電源が切れます
サスペンド** を起動する	■ サスペンド ボタン*を押します または ■ [スタート]→[Windows の終了]→[スタンバイ] (Windows 98/Windows 2000 Professional の場合) の順に選択します	電源/サスペンド** ランプが点滅します ビープ音が2回鳴ります 画面がクリアされます
サスペンド** を終了する	■ サスペンド ボタン*を押します または ■ 電源スイッチをスライドさせます	電源/サスペンド** ランプが点灯します ビープ音が1回鳴ります 画面がサスペンド起動前の状態に戻ります
ハイバネーションを起動する	[Fn]キー+サスペンド ボタン*を押します	電源/サスペンド** ランプが消灯します ビープ音が2回鳴ります 画面がクリアされます
ハイバネーションを終了する	電源スイッチをスライドさせます	電源/サスペンド** ランプが点灯します ビープ音が1回鳴ります 画面がハイバネーション起動前の状態に戻ります

* Windows 98では、「サスペンド ボタン」という用語が「スリープ ボタン」に置き換えられました。

** Windows 98およびWindows 2000 Professionalでは、「サスペンド」という用語が「スタンバイ」に置き換えられました。

電源関連の各部

- ❶ [Fn]キー
- ❷ サスペンド ボタン
- ❸ 電源スイッチ
- ❹ 電源/サスペンド ランプ



ロー バッテリー状態の処理

ロー バッテリー状態時のコンピュータ

ロー バッテリー状態

電源にバッテリー パックのみを使用している場合は、ロー バッテリー状態になると、次のようになります。

- ビープ音が5回鳴ります。
- バッテリー ランプ②が点滅します。

完全なロー バッテリー状態

ロー バッテリー状態が解消されないと、コンピュータは完全なロー バッテリー状態になります。

完全なロー バッテリー状態になると、次のようになります。

- ハイバネーションが有効で、コンピュータがオンまたはサスペンド（スタンバイ）の状態の場合—ビープ音が2回鳴り、ハイバネーションが起動します。デフォルト設定では、ハイバネーションは有効です。
- ハイバネーションが無効でコンピュータがオンまたはサスペンド（スタンバイ）の状態の場合—ビープ音が2回鳴り、電源/サスペンド ランプ①が点滅します。コンピュータはサスペンド（スタンバイ）状態のままバッテリーの電力を消費し続けるので、保存されていないデータはすべて失われます。



ロー バッテリー状態の解決

外部電源を使用する場合

外部電源を使用する場合は、次のどれかの操作を行います。

- ACアダプタを使用してコンピュータを外部電源に接続します。
- 外部電源に接続しているドッキング ベース（別売）にコンピュータを接続します。
- 別売のカー アダプタをコンピュータに接続して、自動車のシガレットライター ソケットにアダプタを差し込みます。

充電済みのバッテリー パックを使用する場合

1. [Fn]+サスペンド ボタンを押してハイバネーションを起動します。
2. 放電したバッテリー パックを取り出して、充電済みのバッテリー パックを挿入します。
3. [Fn]+サスペンド ボタンを押すか、電源スイッチをスライドさせてハイバネーションを終了し、作業を再開します。

電源を確保できない場合

- [Fn]+サスペンド ボタンを押してハイバネーションを起動します。

または

- 作業を保存してから、コンピュータの電源を切ります。

完全なロー バッテリー状態を解決した後のハイバネーションからの復元

- [Fn]+サスペンド ボタンを押すか、電源スイッチをスライドさせてハイバネーションを終了します。
- 電源スイッチをスライドさせます。電力が足りずに復元作業が行えない場合は、次のようにします。
 1. [Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して、情報の復元を中止します。
 2. 充電済みのバッテリー パックを挿入するか、コンピュータを外部電源に接続します。
 3. [Fn]+サスペンド ボタンを押すか、電源スイッチをスライドさせてハイバネーションを終了します。

バッテリー パックの充電

システムを外部電源に接続すると、バッテリー パックが自動的に充電されます。バッテリー パックは、コンピュータ本体のバッテリー ベイ、デュアルベイ、およびマルチベイ、または別売のバッテリー チャージャやドッキング ベースで充電できます。

バッテリー パックが新しいか2週間以上使用していない場合、または室温に比べて暖かかったり冷たかったりする場合、充電に時間がかかることがあります。

次の図に示すバッテリー ランプは、バッテリー パックの充電中に点灯し、充電が終了すると消灯します。



バッテリー パックの充電状態の確認

バッテリーの充電量を正確に表示する方法

バッテリーの充電量を正確に表示するには、以下の項目を確認してください。

- 充電する前に、ロー バッテリー状態になるまで通常の使用方法でバッテリーを使用します。
- バッテリー パックを充電するときは、完全に充電します。
- 新しいバッテリー パックを充電する場合は、バッテリー ゲージを調整します。
- 2週間以上使用していないバッテリー パックを充電する場合は、バッテリー ゲージの精度を確認します。

バッテリー パックの充電ランプ (バッテリー クイック チェック)

バッテリー パックをコンピュータに装着していなくても、クイック チェック機能を使用して充電量を確認できます。

全容量の何%充電されているかを確認するには、バッテリー ゲージ ボタン **①**を押します。

各バッテリー充電レベル ランプ**②**は、全容量の20%を表します。たとえば、ランプが4つ点灯すれば、全容量の80%が充電されていることを表します。

注：バッテリー ゲージ ボタンやバッテリー充電ランプの位置は、バッテリー パックにより多少異なることがあります。



画面上での充電状態の確認方法

数字や記号の意味

- バッテリー パックの充電状態を表示する画面では、多くの場合、数字でバッテリー パックが装着されている位置を示します。バッテリー パックは、それぞれ以下のようにコンピュータ本体またはドッキング ベースに装着されています。

- 1 コンピュータ本体のバッテリー ベイ
- 2 コンピュータ本体のマルチベイ
- 3 拡張ベースの右側のマルチベイまたはコンビニエンス ベースのバッテリー 充電ベイ
- 4 拡張ベースの左側のマルチベイまたはコンビニエンス ベースのマルチベイ

注：お使いのコンピュータのモデルや仕様により、使用できるドッキング ベースのベイは異なります。

- バッテリー パックの位置番号の上または横に稲妻の形のマークが表示される場合があります。このマークは、その場所に装着されているバッテリー パックが充電中であることを示します。

充電状態を確認するための画面へのアクセス方法

以下の順番でコマンドを選択するか、[Fn]+[F8]ホットキーを押すことで、充電状態を確認するための画面が表示されます。

- Windows 95またはWindows NT 4.0をお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パワー マネージメント]アイコン→[バッテリーの状態]タブの順に選択します。
- Windows 98をお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源の管理]アイコン→[バッテリーの状態]タブの順に選択します。
- Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]アイコン→[電源メーター]タブの順に選択します。

バッテリー ゲージの調整

バッテリー ゲージの調整を行うと、バッテリー パックの充電残量をより正確に表示できます。

バッテリー ゲージの調整ユーティリティは、ゲージの精度を確認する場合および精度の調整を行う場合に使用します。ユーティリティによって調整が必要とされたバッテリー パックに対してだけ調整を行えます。

バッテリー ゲージの調整ユーティリティは、このコンピュータで使用できるすべてのバッテリー パックをサポートしています。ただし、バッテリー パックは一度に1つしか調整できません。コンピュータの使用時、または夜間に実行できます。

重要：調整後、コンピュータの電源として使用するには、バッテリー パックを充電する必要があります。

新しいバッテリー パックの調整：新しいバッテリー パックは、充電後、ゲージを調整しなくてもコンピュータの電源として使用できます。ただし、調整を行うまで、新しいバッテリー パックの残量は正しく表示されません。新しいバッテリー パックを使い始めてから30日以内に必ず完全に充電してください。ゲージの調整過程では、バッテリー パックが完全に充電された後完全に放電されるため、新しいバッテリー パックのゲージの精度を調整するには、この完全な充電の過程が必要となります。

使用中のバッテリー パックの調整：バッテリー ゲージの精度は、定期的に確認してください。いったん使い始めたバッテリー パックを2週間以上使用していない場合や、バッテリー パックの充電残量に誤差があると思われる場合は必ず調整ユーティリティを実行してください。部分的な充電/放電を頻繁に繰り返している場合は、ゲージの調整も頻繁に行う必要があります。

バッテリー ゲージの調整中は、以下のような状態になります。

- バッテリー パックはいったん完全に充電された後、完全に放電されます。
- 調整が開始されると**[バッテリー ゲージの調整]**アイコンがタスクバーに表示されます。バッテリー パックの充電中は上向きの矢印が表示され、バッテリー パックの放電中は下向きの矢印が表示されます。
- 調整中に、調整を中断したりコンピュータの電源を切ったりした場合には、調整を再開することはできません。この場合は、調整を最初からやりなおす必要があります。



注意：データの損失を防ぐため、調整が終了するまでコンピュータをAC電源から切断しないでください。

バッテリー ゲージの精度の確認

1. バッテリー パックをコンピュータ本体のバッテリー ベイ、またはコンピュータ本体か別売のドッキング ベースのマルチベイに挿入します。

注：ドッキング ベースのマルチベイに装着したバッテリー パックのゲージの精度を確認するには、コンピュータをドッキング ベースに取り付け、ドッキング ベースを外部電源に接続しておく必要があります。

2. Windows 95をお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パワー マネージメント] →[バッテリー ゲージの調整]タブの順に選択します。

Windows 98をお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源の管理]→[バッテリー ゲージの調整]タブの順に選択します。

Windows NT 4.0をお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パワー マネージメント] →[バッテリー ゲージの調整]タブの順に選択します。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]→[パワー マネージメント] タブの順に選択します。

3. [ステータス]の記述を参照します。[バッテリー]のバッテリーの番号は、それぞれのバッテリー パックの位置を示しています。

バッテリーの番号	バッテリー パックの位置
1	コンピュータ本体のバッテリー ベイ
2	コンピュータ本体のマルチベイ
3	拡張ベースの右側のマルチベイまたは コンビニエンス ベースのバッテリー充電ベイ
4	拡張ベースの左側のマルチベイまたは コンビニエンス ベースのマルチベイ

注：お使いのコンピュータのモデルや仕様により、使用できるドッキング ベースのベイは異なります。

調整の実行

1. バッテリ パックをコンピュータ本体のバッテリ ベイ、またはコンピュータ本体か別売のドッキング ベースのマルチベイに挿入します。次に、ACアダプタを使用してコンピュータを外部電源に接続するか、外部電源に接続したドッキング ベースにコンピュータを装着するか、別売のカー アダプタを使用してコンピュータを自動車のシガレットライター ソケットに接続します。
2. Windows 95をお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パワー マネージメント] →[バッテリ ゲージの調整]タブの順に選択します。

Windows 98をお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源の管理]→[バッテリ ゲージの調整]タブの順に選択します。

Windows NT 4.0をお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パワー マネージメント] →[バッテリ ゲージの調整]タブの順に選択します。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]→[パワー マネージメント] タブの順に選択します。

3. [ステータス]に「調整必要」と表示されたバッテリ パックの位置番号を選択します。
4. [調整開始]ボタンをクリックします。

調整の中止

コンピュータの電源を切ります。または、[バッテリ ゲージの調整]タブの[調整中止]ボタンをクリックします。[調整中止]ボタンは調整中にのみ表示されます。

省電力機能の使用

省電力機能を設定することで、コンピュータが使用する電力の増減および割り当てを設定できます。

消費電力を増加させると、パフォーマンスが向上します。消費電力を減少させると、節電してバッテリー パックの動作時間が増加します。

使用しないコンポーネントや機能の電力を少なく抑えることにより、現在使用しているコンポーネントや機能により多くの電力を割り当てることができます。

省電力機能の多くが、**タイムアウト**設定によるものです。タイムアウトとは、システムが電力を切り替えたり、コンポーネントへの電力供給を抑えるまでの時間です。たとえば、このコンピュータは、一定の時間使用されない場合サスペンド（スタンバイ）を起動するように設定されています。コンピュータを最後に使用した時点からシステムによって起動されるサスペンド（スタンバイ）が起動するまでの時間が、サスペンド（スタンバイ）のタイムアウトです。

タイムアウトを設定できる状態やコンポーネントの種類、手順などは、お使いのオペレーティング システムによって異なります。タイムアウトの値は変更可能です。

オペレーティング システムのマニュアルに記載されている省電力機能オプション以外にこのコンピュータで設定できるオプションについて、次ページ以降にまとめます。

その他の省電力機能については、お使いのオペレーティング システムのマニュアルおよびこの章の「プロセッサのパフォーマンス モードの切り替え」の項目を参照してください。

1回の充電でのバッテリー パックの動作時間を延長させるためのバッテリーの節電設定の概要については、この章の最後の「バッテリー節電」の項目を参照してください。

省電力機能の設定—Windows 95をお使いの場合

設定	[コントロール パネル]からの手順
コンピュータがバッテリー パックで動作している場合に適用するバッテリー節電レベルを選択する	[パワー マネージメント]→[ACエナジーセーブ]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択して、省電力レベルを選択します
注：[Fn]+[F7]ホットキーを使用してもバッテリー節電レベルを表示し選択することができます	■ 高レベル—バッテリーを最大限に節約します ■ 中レベル—コンピュータの性能とバッテリーの節約の両方のバランスが取れています ■ なし（ドレイン）—省電力機能がオフになり、バッテリーを最大限に消費します。バッテリー パックを放電させる場合にのみ、この設定をおすすめします
コンピュータがバッテリー パックで動作している場合に適用するバッテリー節電レベルを作成する。次の項目を設定できます	[パワー マネージメント]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択します。[カスタム]を選択して、設定を行います
■ サスペンドのタイムアウト ■ システム アイドルのタイムアウト ■ スクリーン セーブ ■ プロセッサ速度 ■ 輝度	注：[Fn]+[F7]ホットキーを押してバッテリー節電レベルを表示して選択することはできませんが、各項目の値は[バッテリー節電設定]タブで設定する必要があります
ロー バッテリー状態を警告するビープ音を無効/有効にする	[パワー マネージメント]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択して、[ロー バッテリービープ音]のオン/オフを選択します
ハイバネーションのタイムアウトを設定する	[パワー マネージメント]→[ハイバネーション]タブの順に選択して、[タイムアウト]ドロップダウン リストからタイムアウトを選択します
	注：この設定は完全なロー バッテリー状態になった場合にシステムが起動するハイバネーションには影響しません
ユーザが選択したタイムアウト後にサスペンドを終了する	[パワー マネージメント]→[レジューム タイマ]タブの順に選択して[有効]をチェックし、日付と時刻をそれぞれ設定します

次ページに続く

設定	[コントロール パネル]からの手順
ハイバネーション ファイルを作成する場所を変更する	[パワー マネージメント]→[ハイバネーション]タブの順に選択して、ハイバネーション ファイルを置くドライブを選択します
ハイバネーションを有効/無効にする	[パワー マネージメント]→[ハイバネーション]タブの順に選択して、オン/オフを選択します △ 注意：ハイバネーションを無効にすると、完全なロー バッテリー状態になったときに保存していない情報は失われてしまいます
別売のPCカードへの電力供給を停止する	[パワー マネージメント]→[PCカード モデム]タブの順に選択して、[未使用時にはPCカード モデムをオフにする]チェックボックスをチェックします

省電力機能の設定—Windows 98をお使いの場合

設定	[コントロール パネル]からの手順
コンピュータがバッテリー パックで動作している場合に適用するバッテリー節電レベルを選択する	[電源の管理]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択して、省電力レベルを選択します ■ 高レベル—バッテリーを最大限に節約します ■ 中レベル—コンピュータの性能とバッテリーの節約の両方のバランスが取れています ■ なし（ドレイン）—省電力機能がオフになり、バッテリーを最大限に消費します。バッテリー パックを放電させる場合にのみ、この設定をおすすめします
コンピュータがバッテリー パックで動作している場合に適用する、輝度に対するバッテリー節電レベルを作成する	[電源の管理]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択します。[カスタム]を選択して、設定を行います
ハイバネーションのタイムアウトを設定する	[電源の管理]→[ハイバネーション]タブの順に選択して、[タイムアウト]ドロップダウンリストからタイムアウトを選択します 注：この設定は完全なロー バッテリー状態になった場合にシステムが起動するハイバネーションには影響しません
ハイバネーション ファイルを作成する場所を変更する	[電源の管理]→[ハイバネーション]タブの順に選択して、ハイバネーション ファイルを置くドライブを選択します
ハイバネーションを有効/無効にする	[電源の管理]→[ハイバネーション]タブの順に選択して、オン/オフを選択します △ 注意：ハイバネーションを無効にすると、完全なロー バッテリー状態になったときに保存していない情報は失われてしまいます

省電力機能の設定—Windows NT 4.0をお使いの場合

設定	[コントロール パネル]からの手順
コンピュータがバッテリー パックで動作している場合に適用するバッテリー節電レベルを選択する	[パワー マネージメント]→[ACエナジー セーブ]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択して、省電力レベルを選択します
注: [Fn]+[F7]ホットキーを使用してもバッテリー節電レベルを表示し選択することができます	■ 高レベル—バッテリーを最大限に節約します ■ 中レベル—コンピュータの性能とバッテリーの節約の両方のバランスが取れています ■ なし (ドレイン) —省電力機能がオフになり、バッテリーを最大限に消費します。バッテリー パックを放電させる場合のみ、この設定をおすすめします
コンピュータがバッテリー パックで動作している場合に適用するバッテリー節電レベルを作成する。次の項目を設定できます	[パワー マネージメント]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択します。[カスタム]を選択して、設定を行います
■ サスペンドのタイムアウト ■ システム アイドルのタイムアウト ■ スクリーン セーブ ■ プロセッサ速度 ■ 輝度	注: [Fn]+[F7]ホットキーを押してバッテリー節電レベルを表示して選択することはできませんが、各項目の値は[バッテリー節電設定]タブで設定する必要があります
コンピュータが外部AC電源で動作している場合に適用する節電レベルを作成する。次の項目を設定できます	1. [パワー マネージメント]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択します 2. ACエナジー セーブ機能をオンにします 3. [スクリーン セーブ]ドロップダウン リストからタイムアウトを選択して、スクリーン セーブのタイムアウトを設定します 4. [ハードディスク アイドル]ドロップダウン リストからハードドライブ タイムアウトを選択します 5. 外付けモニタをスクリーン セーブ タイムアウト後に省電力モードに移行させるには、[エナジー セーブ モニタ]チェックボックスをチェックします
	注: モニタが省電力モードになっても、ネットワークからログオフされません

次ページに続く

設定	[コントロール パネル]からの手順
ロー バッテリー状態を警告する ピープ音を無効/有効にする	[パワー マネージメント]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択して、[ロー バッテリー ピープ音]のオン/オフを選択します
ユーザが選択したタイムアウト後にサスペンドを終了する	[パワー マネージメント]→[レジューム タイマ]タブの順に選択して[有効]をチェックし、日付と時刻をそれぞれ設定します
ハイバネーションのタイムアウトを設定する	[パワー マネージメント]→[ハイバネーション]タブの順に選択して、[タイムアウト]ドロップダウン リストからタイムアウトを選択します 注：この設定は完全なロー バッテリー状態になった場合にシステムが起動するハイバネーションには影響しません
ハイバネーション ファイルを作成する場所を変更する	[パワー マネージメント]→[ハイバネーション]タブの順に選択して、ハイバネーション ファイルを置くドライブを選択します
ハイバネーションを有効/無効にする	[パワー マネージメント]→[ハイバネーション]タブの順に選択して、オン/オフを選択します △ 注意：ハイバネーションを無効にすると、完全なロー バッテリー状態になったときに保存していない情報は失われてしまいます

省電力機能の設定—Windows 2000 Professionalをお使いの場合

設定	[コントロール パネル]からの手順
コンピュータがバッテリー パックで動作している場合に適用するバッテリー節電レベルを選択する	[電源オプション]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択して、省電力レベルを選択します ■ 高レベル—バッテリーを最大限に節約します ■ 中レベル—コンピュータの性能とバッテリーの節約の両方のバランスが取れています ■ なし（ドレイン）—省電力機能がオフになり、バッテリーを最大限に消費します。バッテリー パックを放電させる場合にのみ、この設定をおすすめします
コンピュータがバッテリー パックで動作している場合に適用するバッテリー節電レベルを作成する。次の項目を設定できます	[電源オプション]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択します。[カスタム]を選択して、設定を行います ■ プロセッサ速度 ■ 輝度
休止状態のサポートを有効/無効にする	[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択して、休止状態のサポートのオン/オフを選択します △ 注意: 休止状態のサポートを無効にすると、完全なロー バッテリー状態になったときに保存していない情報は失われてしまいます

自動挿入機能のオン/オフ

注：Windows 2000 Professionalには、この機能はありません。

CDやDVDドライブにディスクを挿入すると、自動挿入機能によって自動的に実行されます。ただし、CDやDVDを使用していない場合でも電力が消費され、タイムアウトが経過してもサスペンド（スタンバイ）およびハイバネーションは自動的に起動されません。

[自動挿入]機能をオフにするには、次の操作を行います。

- Windows 95またはWindows 98をお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]→[デバイス マネージャ]→[CD-ROMのプロパティ]の順に選択して、[設定]タブの[自動挿入]または[挿入の自動通知]チェックボックスのチェックを外します。
- Windows NT 4.0をお使いの場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パワー マネージメント]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択して、[CD-ROM]の[自動挿入通知]チェックボックスのチェックを外します。

自動通知機能をオンにするには、上記の手順に従って操作して、チェックボックスをチェックします。

プロセッサのパフォーマンス モードの切り替え (一部のモデルのみ)

SpeedStepテクノロジーを備えたIntel Pentium IIIプロセッサが搭載されたモデルのコンピュータをお使いの場合は、電源がAC電源からバッテリー電源に切り替わったときに、プロセッサ速度も自動的に切り替わるように設定できます。

パフォーマンス モードの選択

SpeedStepテクノロジーにより、以下の2種類のパフォーマンス モードが設定されています。

- **[最大パフォーマンス]モード**：プロセッサは最も速く動作し、最大限のパフォーマンスが提供されます。
- **[バッテリーに合わせたパフォーマンス]モード**：プロセッサは速度を抑えて動作し、消費電力の節約とパフォーマンスのバランスを適度に保ちます。

コンピュータがAC電源またはバッテリー電源で動作している場合は、どちらのパフォーマンス モードでも動作可能です。

パフォーマンス モードの切り替え

Windows 95またはWindows NT 4.0をお使いの場合：パフォーマンス モードが**[バッテリーに合わせたパフォーマンス]**モードから**[最大パフォーマンス]**モードに切り替わるときコンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。再起動を選択すると、コンピュータが再起動し、通常の作業画面に戻ります。**[最大パフォーマンス]**モードから**[バッテリーに合わせたパフォーマンス]**モードに切り替わるときは、コンピュータを再起動する必要はありません。

Windows 98またはWindows 2000 Professionalをお使いの場合：パフォーマンス モードが切り替わるときにコンピュータを再起動する必要はありません。

パフォーマンス モードとその他の省電力機能の組み合わせ

Windows 95、Windows NT 4.0、またはWindows 2000 Professionalをお使いの場合：SpeedStep技術のパフォーマンス モードは、お使いのコンピュータで使用可能なその他すべての省電力機能の影響を受けません。ただし、[カスタム]プロセッサ速度の設定は例外となります。バッテリー電力でコンピュータが動作しているときは必ず、カスタム設定したプロセッサ速度が適用されます。

Windows 98をお使いの場合：SpeedStep技術のパフォーマンス モードは、お使いのコンピュータで使用可能なその他すべての省電力機能の影響を受けません。

SpeedStepの設定

注：SpeedStepのウィンドウを開けない場合や、アイコンが表示されない場合は、[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）ユーティリティで各機能が無効に設定されている可能性があります。[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）ユーティリティでウィンドウおよびアイコンを有効にする方法については、この項目の後半を参照してください。

[SpeedStep]ウィンドウの使用

以下のどれかの方法に従って、デスクトップから[SpeedStep]ウィンドウを開きます。

- Windows 95またはWindows NT 4.0をお使いの場合：[スタート]→[プログラム]→[Intel SpeedStepテクノロジー]の順に選択します。
- Windows 98をお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源の管理]→[Intel SpeedStepテクノロジー]の順に選択します。
- Windows 2000 Professionalをお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]→[Intel SpeedStepテクノロジー]の順に選択します。

SpeedStepの設定

設定内容	手順
コンピュータがバッテリー電源で動作している場合に、常に適用されるパフォーマンス モードを設定する	[バッテリーモードの場合]ドロップダウン リストからパフォーマンス モードを選択して、[OK]をクリックします
コンピュータがAC電源で動作している場合に、常に適用されるパフォーマンス モードを設定する	[AC電源の場合]ドロップダウン リストからパフォーマンス モードを選択して、[OK]をクリックします
電源が変わるたびに、割り当てられた電力モードが切り替わるようにコンピュータを設定する	[電源が変更されたときにパフォーマンスを自動的に変更]チェックボックスをチェックして、[OK]をクリックします
パフォーマンス モードが切り替わったときに、確認メッセージが表示されるようにコンピュータを設定する	1. [電源が変更されたときにパフォーマンスを自動的に変更]チェックボックスをチェックします 2. [パフォーマンスを自動的に変更する前に確認]チェックボックスをチェックします 3. [OK]をクリックします
電源が切り替わった場合でも、パフォーマンス モードが切り替わらないようにコンピュータを設定する	[バッテリーモードの場合]および[AC電源の場合]ドロップダウン リストで同じパフォーマンス モードを選択して、[OK]をクリックします
パフォーマンス モードが切り替わったときに警告音が鳴らないようにする	[詳細]ボタンをクリックして、以下の手順に従って操作します 1. [パフォーマンス変更時の音声通知を無効にする]チェックボックスをチェックします 2. [詳細]ウィンドウで、[OK]をクリックします 3. SpeedStepのメイン ウィンドウで、[OK]または[適用]をクリックします
AC電源での動作時には[最大パフォーマンス]モードに、バッテリー電源での動作時には[バッテリーに合わせたパフォーマンス]モードに自動的に切り替わるようにコンピュータを設定する	[詳細]ボタンをクリックして、以下の手順に従って操作します 1. [Intel SpeedStepテクノロジーを使用しない]チェックボックスをチェックします 2. [詳細]ウィンドウで、[OK]をクリックします 3. SpeedStepのメイン ウィンドウで、[OK]または[適用]をクリックします
および SpeedStepのメイン ウィンドウですべての設定を無効にする	

次ページに続く

設定内容	手順
SpeedStepのメイン ウィンドウですべての設定を有効にする	[詳細]ボタンをクリックして、以下の手順に従って操作します 1. [Intel SpeedStepテクノロジーを使用しない]チェックボックスのチェックを外します 2. [詳細]ウィンドウで、[OK]をクリックします 3. SpeedStepのメイン ウィンドウで、[OK]または[適用]をクリックします 注：状況によっては、この手順の終了後にコンピュータを再起動する必要がある場合があります
[SpeedStep]アイコンをタスクバーに表示しないようにする	[詳細]ボタンをクリックして、以下の手順に従って操作します 1. [Intel SpeedStepテクノロジーのアイコンをタスクバーに表示しない]チェックボックスをチェックします 2. [詳細]ウィンドウで、[OK]をクリックします 3. SpeedStepのメイン ウィンドウで、[OK]または[適用]をクリックします

[SpeedStep]アイコンの使用

デフォルト設定では、[SpeedStep]アイコンがタスクバーに表示され、コンピュータが[最大パフォーマンス]モードまたは[バッテリーに合わせたパフォーマンス]モードのどちらで動作しているか確認できます。このアイコンを使用して、以下の操作を行うこともできます。

[SpeedStep]アイコンを使用した操作	
操作内容	手順
現在のパフォーマンス モード を表示する	アイコン上にカーソル（ポインタ）を置きます
[SpeedStep]ウィンドウを開く	アイコンをダブルクリックします
現在のパフォーマンス モード を切り替える	アイコンを右クリックして、上向きまたは下向きのカーソル キーでパフォーマンス モードを選択します

[Computer Setup]の使用

[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）ユーティリティでSpeedStepの設定を行うと、オペレーティング システムでのSpeedStepの有効/無効を設定できます。また、オペレーティング システムが起動しない場合やロードされない場合にも[Computer Setup]ユーティリティにアクセスすることが可能です。

[Computer Setup]でSpeedStepの設定を行うには：

1. コンピュータの電源を入れるか再起動します。画面の右上隅でカーソルが点滅したら[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更するには、[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示するには、[F1]キーを押します。
2. [Advanced]→[Device Options]の順に選択します。

[Computer Setup]で変更した設定を保存して終了するには：

[File]→[Save Changes and Exit]の順に選択して[Enter]キーを押し、確認の画面で[F10]キーを押します。

[Computer Setup]でのSpeedStepの設定

設定内容	操作
SpeedStep ウィンドウでのすべてのSpeedStep機能を有効にする	[Intel SpeedStep Technology]フィールドで[Automatic]を選択します
どんな状況でも[バッテリーに合わせたパフォーマンス]モードでコンピュータが動作するように設定するか	[Intel SpeedStep Technology]フィールドで[Disable]を選択します
SpeedStep ウィンドウでのすべてのSpeedStep機能を無効にする	

注：[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）ユーティリティについて詳しくは、このガイドの第14章を参照してください。

バッテリー節電

バッテリー節電のチェックリスト

- モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了し、ローカルエリア ネットワーク (LAN) 接続をオフにします。
- 専用電源が付いていない外部装置は、未使用時は取り外します。
- コンピュータを使用しないときは、サスペンド (スタンバイ) 、またはハイバネーションを起動しておくか、コンピュータの電源を切ります。
- 使用していないPCカードは取り出します。
- [Fn]+[F10]ホットキーを使用して画面の輝度を下げます。
- フロッピーディスクをフォーマットするときは、なるべく外部電源を使用します。

バッテリー節電—Windows 95をお使いの場合

- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パワー マネージメント]の順に選択して、次のようにします。
 - [バッテリー節電設定]タブで、[高レベル]または[カスタム]の節電レベルを選択します。[カスタム]を選択した場合は、消費電力が低くなるように設定値を入力します。
 - [ディスク ドライブ]タブで、[電源がバッテリーの場合]のタイムアウトを低く設定します。
 - PCカード モデムを使用している場合は、[PCカード モデム]タブの[未使用時にはPCカード モデムをオフにする]チェックボックスをチェックします。
- [赤外線モニター]が有効に設定されている場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[赤外線モニター]→[オプション]タブの順で選択して、[範囲内のデバイスの検索と状況の報告を行う]チェックボックスのチェックを外します。

重要: [範囲内のデバイスの検索と状況の報告を行う]チェックボックスのチェックが外れていると赤外線通信機能を使用できません。赤外線通信機能について詳しくは、このガイドの第12章を参照してください。
- CDまたはDVDドライブがシステムに装着されている場合は、[自動挿入]チェックボックスのチェックを外します。

バッテリー節電—Windows 98をお使いの場合

- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源の管理]→[電源設定]タブの順に選択して、バッテリーを節電する電源設定を作成します。
- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源の管理]→[バッテリー節電設定]の順に選択して、画面の輝度を低く調整します。
- タスクバーの[赤外線]アイコン→[オプション]タブの順に選択して、[範囲内のデバイスの検索と状態の報告を行う]チェックボックスのチェックを外します。

重要: [範囲内のデバイスの検索と状態の報告を行う]チェックボックスのチェックが外れていると赤外線通信機能を使用できません。赤外線通信機能について詳しくは、このガイドの第12章を参照してください。

バッテリー節電—Windows 2000 Professionalをお使いの場合

- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択して、バッテリーを節電する電源設定を作成します。
- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]→[バッテリー節電設定]の順に選択して、[高レベル]を選択するか、[カスタム]を選択して[輝度]および[プロセッサ速度]を適切な値に設定します。

バッテリー節電—Windows NT 4.0をお使いの場合

- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パワー マネージメント]→[バッテリー節電設定]タブの順に選択して、次のいずれかの設定を行います。
 - [高レベル]の節電レベルを選択します。
 - [カスタム]の節電レベルを選択して、消費電力が低くなるように設定値を入力します。

ドライブの使用

ドライブの取り扱い上の注意



注意：コンピュータやドライブの損傷、およびデータの損失を防ぐため、必ず以下の注意を守ってください。

- ハードドライブをハードドライブ ベイから着脱する前に、コンピュータの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っている状態、サスペンド（スタンバイ）、またはハイバネーション状態のときにハードドライブを取り外さないでください。確実にコンピュータの電源を切るために、いったんコンピュータの電源を入れ、通常のWindowsの手順に従ってコンピュータを終了させてください。
- 静電気によって電子部品が損傷することがありますので、衣類などが静電気を帯びた状態でドライブに触れないでください。また、ドライブを取り扱うときは外側の金属ケースの部分を持ち、コネクタ部には触れないでください（付録Cを参照してください）。
- コンピュータを持ち運ぶ場合、送付する場合、保管する場合、またハードドライブ以外のドライブをコンピュータから取り外す場合は、事前に、必ずドライブ内のフロッピーディスク、CD、またはDVDなどを取り出して、トレイを閉じてください。
- ドライブは、落としたり衝撃を与えたりしないように、慎重に取り扱ってください。
- ドライブをベイに無理に装着するとコネクタを損傷することがありますので、注意してください。
- ビデオ/オーディオ テープ消磁器やモニタ、スピーカのそばなど、磁気の影響を受けやすいところにハードドライブを放置しないでください。
- ドライブにクリーナなどのスプレーや液体をかけないでください。また、ドライブは、極端に高温または低温な場所および多湿な場所を避けて保管してください。
- ドライブを郵便や宅配便で送付する場合は、緩衝材で包み、しっかりと梱包して、「コワレモノー取り扱い注意」などのラベルを貼ってください。

ドライブの位置の選択

このコンピュータでは、次の3つのベイにドライブを装着して使用できます。

- ハードドライブ専用のハードドライブ ベイ。このハードドライブ ベイに装着されているドライブが、プライマリ ハードドライブになります。
- マルチベイは、フロッピーディスク ドライブ、スーパーディスク ドライブ、CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、またはセカンド ハードドライブといったあらゆる12.7 mmドライブをサポートしています。ハードドライブをマルチベイで使用するには、ハードドライブ用マルチベイ アダプタが必要です。
- フロッピーディスク ドライブ専用の外付けフロッピーディスク ドライブ ベイ。スーパーディスク ドライブはサポートしていません。

注：ハードドライブ ベイのハードドライブへのアクセス中は、ハードドライブ ランプが点灯します。マルチベイ内のドライブまたは外付けフロッピーディスク ドライブ ベイ内のドライブへのアクセス中は、マルチベイ ドライブ ランプが点灯します。

マルチベイ ウェイト セーバ

コンピュータ本体のマルチベイにデバイスを装着しない場合は、マルチベイ ウェイト セーバ を取り付けてコンピュータの重量を軽減し、マルチベイを保護することができます。ウェイト セーバはコンピュータの電源の状態（オン/オフ、サスペンド、またはハイバネーション）にかかわらず着脱できます。



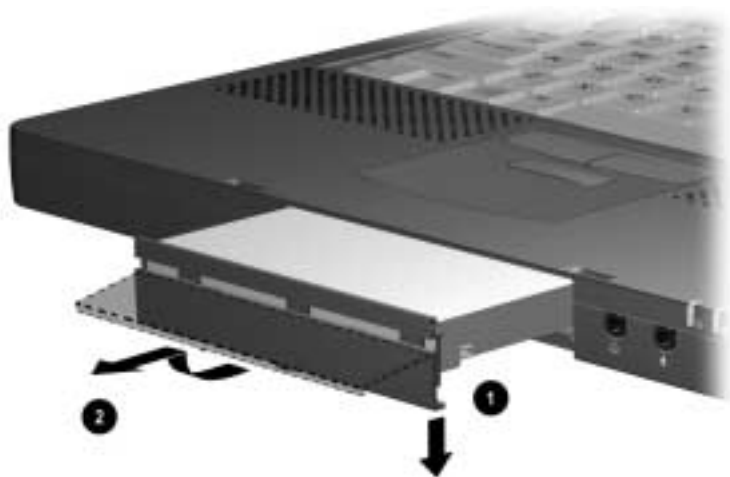
ハードドライブ



警告：火傷やけがを防ぐため、コンピュータの内部コンポーネントが冷えるまで内部コンポーネントには触れないでください。

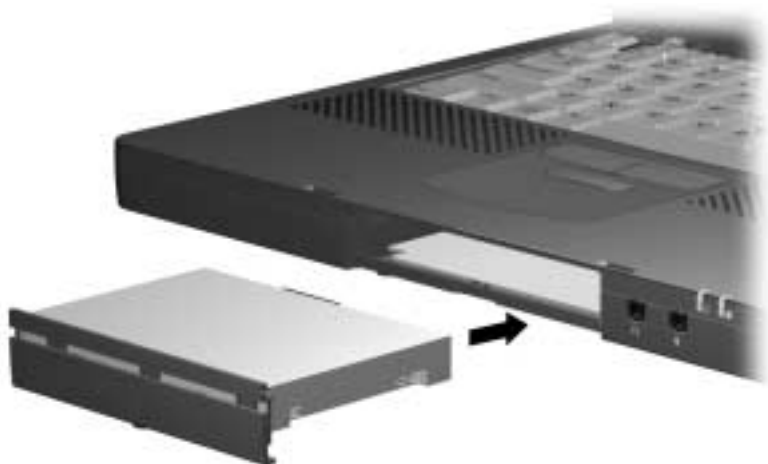
ハードドライブの取り出し—ハードドライブ ベイ

1. 必要に応じてデータを保存してからコンピュータの電源を切ります。
2. ハードドライブの前面のタブをコンピュータの前面から離れるまで押し下げます①。
3. ドライブの前面のカバーを90° 持ち上げて手前に引き②、ハードドライブをハードドライブ ベイから取り出します。



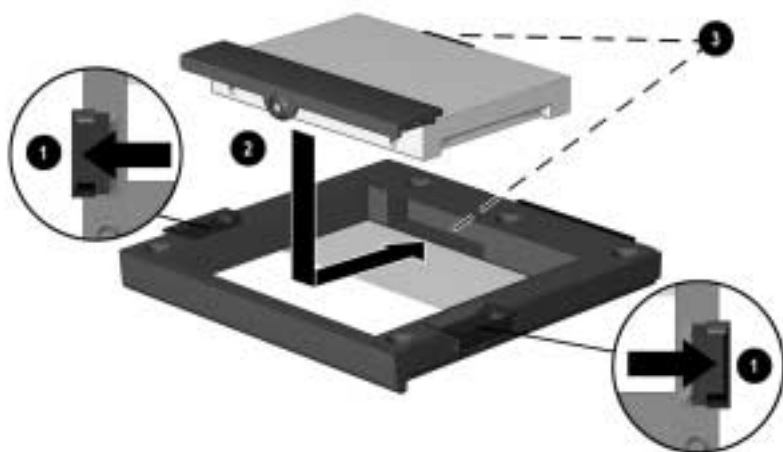
ハードドライブの取り付け—ハードドライブ ベイ

1. 必要に応じてデータを保存してからコンピュータの電源を切ります。
2. ハードドライブをハードドライブ ベイに差し込んで、コネクタがかみ合うまでドライブの前面を押し込みます。カバーをコンピュータの前面の位置に戻します。



ハードドライブへのハードドライブ用マルチベイ アダプタの 取り付け

1. アダプタの2つのスライド タブ①をアダプタの外側に向けて押します。
2. ハードドライブをラベルを上にしてアダプタに挿入し②、ドライブのコネクタがアダプタのコネクタ③にしっかりとハマるまでスライドさせます。



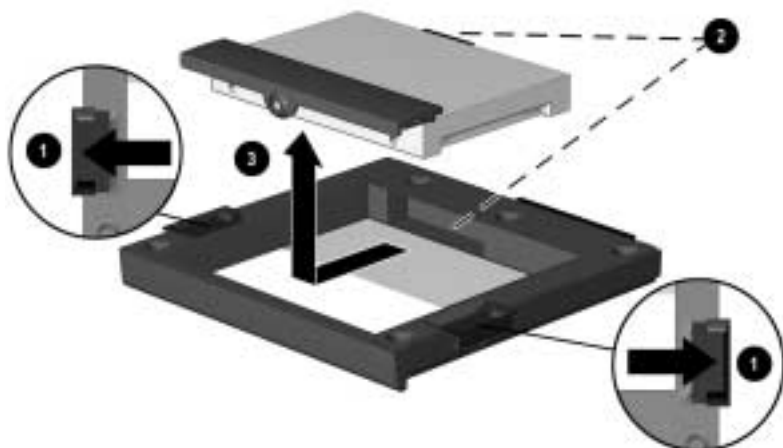
3. アダプタのスライド タブをドライブ側に向けて押します。

ハードドライブからのハードドライブ用マルチベイ アダプタの 取り外し

1. アダプタの2つのスライド タブ①をアダプタの外側に向けて押します。
2. ドライブのコネクタとアダプタのコネクタが損傷しないように丁寧に引き外し②、ドライブをアダプタから取り出します③。



注意：アダプタの損傷を防ぐため、アダプタを保管する際はスライド タブが引っかからないように、内側に押し込んでおいてください。



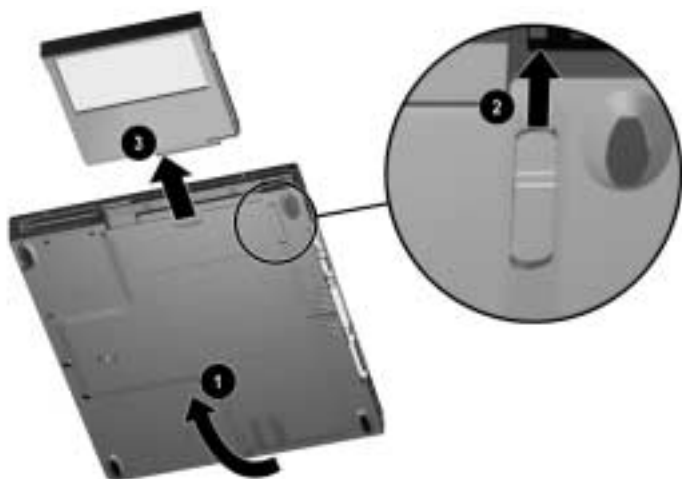
ハードドライブの取り付け—マルチベイ

1. 必要に応じてデータを保存してからコンピュータの電源を切ります。
2. ハードドライブをハードドライブ用マルチベイ アダプタに挿入します。アダプタのスライド タブが引っかからないように、しっかり内側に押し込まれていることを確認してください。
3. ハードドライブを挿入したハードドライブ用マルチベイ アダプタをコネクタ部を奥にしてマルチベイの中に差し込み、コネクタがかみ合うまで押し込みます。



ハードドライブの取り出し—マルチベイ

1. コンピュータの電源が入っている場合は、必要なデータを保存してからコンピュータの電源を切り、ディスプレイを閉じます。
2. マルチベイを正面に向けてコンピュータを傾けます**①**。
3. マルチベイ リリース ラッチをマルチベイの開口部の方向にスライドさせます**②**。
4. ハードドライブの下の切り込みをつかんでハードドライブ用マルチベイ アダプタごとマルチベイから取り出します**③**。

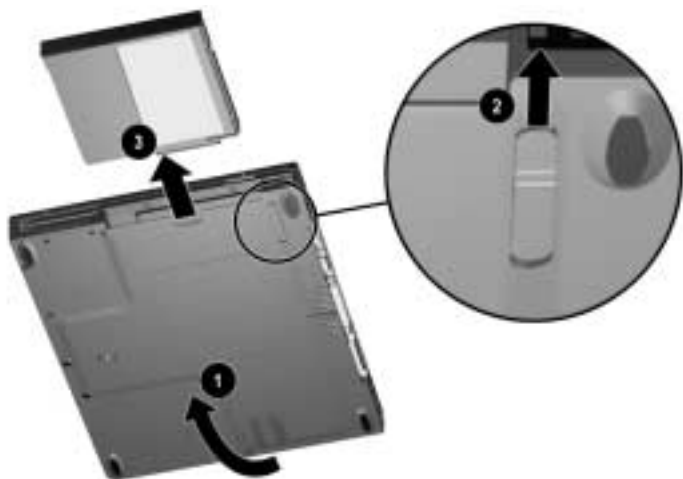


CD-ROMドライブとDVD-ROMドライブ

CD-ROMドライブおよびDVD-ROMドライブは、コンピュータの電源が入ったままの状態でもコンピュータ本体のマルチベイに着脱できます。

CD-ROM/DVD-ROMドライブの取り外し

1. トレイからCDまたはDVDを取り出します。
2. トレイを閉じます。
3. マルチベイを正面に向けてコンピュータを傾けます**①**。
4. マルチベイ リリース ラッチをマルチベイの開口部の方向にスライドさせます**②**。
5. ドライブの下側の切り込みをつかんでドライブをマルチベイから取り出します**③**。



CD-ROM/DVD-ROMドライブの取り付け

コネクタ部を奥にしてドライブをマルチベイに差し込み、コネクタがかみ合うまで押し込みます。



CD-ROM/DVD-ROMドライブへのディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. CD-ROMドライブまたはDVD-ROMドライブの前面パネルにあるイジェクト ボタンを押して①、トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイをゆっくりと引き出して完全に開きます。
4. ディスクを専用ケースから取り出し、ラベル面を上にしてトレイに置きます②。ディスクの表面には触らず、縁を持つようにしてください。



5. 前面パネルを軽く押してトレイを閉じます。

ディスクがチェックされてインデックスが読み込まれている間は、ドライブのランプが点灯します。ドライブの準備ができるとランプが消灯します。

CD-ROM/DVD-ROMドライブからのディスクの取り出し

1. コンピュータの電源を入れます。
2. CD-ROMドライブまたはDVD-ROMドライブの前面パネルにあるイジェクト ボタンを押して①、トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイをゆっくりと引き出して完全に開きます。
4. ディスクを引き上げてトレイから外します②。ディスクの表面には触らず、縁を持つようにしてください。



5. ディスクを専用ケースに収納します。
6. 前面パネルを軽く押してトレイを閉じます。

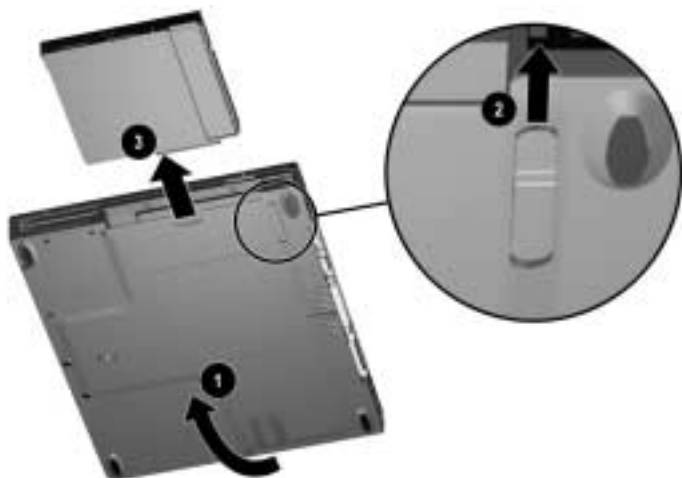
注：コンピュータの電源が入らない場合には、前面パネルにある非常用取り出しホールにクリップを伸ばしたような金属の棒を挿し込んで強く押すと、トレイを開くことができます。

フロッピーディスク ドライブとスーパーディスク ドライブ

フロッピーディスク ドライブおよびスーパーディスク ドライブは、コンピュータの電源が入ったままの状態ではコンピュータ本体のマルチベイに着脱できません。

フロッピーディスク/スーパーディスク ドライブの取り外し

1. ドライブからディスクを取り出します。
2. マルチベイを正面に向けてコンピュータを傾けます❶。
3. マルチベイ リリース ラッチをマルチベイの開口部の方向にスライドさせます❷。
4. ドライブの下の切り込みをつかんでドライブをマルチベイから取り出します❸。



フロッピーディスク/スーパーディスク ドライブの取り付け

コネクタ部を奥にしてドライブをマルチベイに差し込み、コネクタがかみ合うまで押し込みます。



外付けドライブとしてのフロッピーディスク ドライブの使用

フロッピーディスク ドライブを外部装置として接続すると、他のデバイスをマルチベイに取り付けて使用できるので、複数のドライブに同時にアクセスできるようになります。

このコンピュータには、外付けフロッピーディスク ドライブ ユニット（フロッピーディスク ドライブ+外付けドライブ ベイ）が付属しています。このユニットはフロッピーディスク ドライブだけをサポートしています。スーパーディスク ドライブなど、フロッピーディスク ドライブ以外のデバイスをこのベイに装着しないでください。

外付けフロッピーディスク ドライブの着脱

- 外付けフロッピーディスク ドライブ ユニートをコンピュータに接続する場合：外付けドライブ ベイのケーブルを、コンピュータの背面にあるパラレル コネクタに接続します。
- 外付けフロッピーディスク ドライブ ユニートをコンピュータから取り外す場合：コンピュータ背面のパラレル コネクタから外付けドライブ ベイのケーブルを取り外します。

注：外付けフロッピーディスク ドライブ ユニートをコンピュータに着脱する際に、コンピュータの電源を切る必要はありません。



外付けフロッピーディスク ドライブ ベイからの ドライブの取り外し

フロッピーディスク ドライブをマルチベイに取り付けるには、外付けドライブ ベイからドライブを取り外す必要があります。

1. 外付けフロッピーディスク ドライブ ユニットの裏返します。
2. ドライブ ベイのケーブルからドライブを静かに引き離し、ベイから取り出します。



外付けフロッピーディスク ドライブ ベイへの ドライブの取り付け

1. 外付けフロッピーディスク ドライブ ユニットの裏返します。
2. ドライブのコネクタとドライブ ベイのケーブルのコネクタがうまくかみあうようにドライブを挿入し、しっかりと固定されるまでドライブをベイに押し込みます。

フロッピーディスク/スーパーディスク ドライブへの ディスクの挿入

1. ラベルを上にしてディスクのラベル側を持ちます。
2. カチッと音がするまでディスクをドライブへ挿入します。



ディスクが正しく挿入されると、イジェクト ボタンが押し出されます。

フロッピーディスク/スーパーディスク ドライブからの ディスクの取り出し

1. イジェクト ボタンを押します。
2. ディスクが少し押し出されたら、ドライブからディスクを取り出します。



マルチブートによるブート シーケンスの変更

複数のドライブを使用している場合、コンピュータは、(1)ブート可能なCD またはDVD、(2)ブート可能なフロッピーディスク、(3)ブート可能なハードドライブの順に起動ドライブを検索します。

注：ブート可能なハードドライブ、CD、DVD、またはフロッピーディスクには、コンピュータの起動と動作に必要なファイルが収められています。

次のどれを使用してもコンピュータを起動できます。

- コンピュータ本体に取り付けられているブート可能なハードドライブ、またはフロッピーディスク、CD-ROM、DVD-ROMなどのブート可能なディスク
- 外付けフロッピーディスク ドライブ ベイに挿入されているブート可能なフロッピーディスク
- 別売の拡張ベースのドライブに挿入されているブート可能なディスク（スーパーディスクを除く）
- コンピュータに装着されているブート可能なPCIネットワーク アダプタ

工場出荷時には、Multiboot（マルチブート）は無効に設定されており、以下の順番で起動デバイスが検索されます。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 外付けフロッピーディスク ドライブ ベイ | 5 ドッキング ベースの左側のマルチベイ |
| 2 コンピュータ本体のマルチベイ | 6 ドッキング ベースの下側のマルチベイ |
| 3 コンピュータのハードドライブ ベイ | 7 コンピュータ本体のEthernet カード |
| 4 ドッキング ベースの上側または右側のマルチベイ | 8~10 ドッキング ベースのEthernet、トークンリング、またはその他のネットワークカードが装着されているPCIスロット |

注：コンピュータのモデルや仕様により、使用できるドッキング ベースのベイやドッキング ベースのPCIスロットの検索順序が異なります。

Multibootを有効にして新しいブート シーケンス（起動順序）を設定することにより、コンピュータが起動ドライブを検索する順序を指定することができます。変更を保存した後にコンピュータを再起動すると、ブート シーケンスでの設定に従って起動ドライブが検索されます。このとき、コンピュータは各種類の最初のドライブしか検出しません。たとえば、デフォルトのブート シーケンスの場合、コンピュータのマルチベイにブート不可能なフロッピーディスクが挿入されていると、拡張ベースにブート可能なフロッピーディスクが挿入されていてもこのドライブからは起動されません。

重要：ブート シーケンスを変更すると、論理ドライブの指定も変更されます。たとえば、コンピュータ本体のマルチベイ内のハードドライブから起動する場合、このハードドライブがCドライブとなり、ハードドライブベイ内のハードドライブがDドライブとなります。外付けフロッピーディスク ドライブ ベイ内のフロッピーディスクから起動すると、そのドライブがAドライブとなります。ただし、ネットワーク カードから起動した場合は、論理ドライブの指定は変更されません。

マルチブート ユーティリティの選択

Multibootを有効にして新しいブート シーケンスを設定するには、[Compaqコンピュータ セキュリティ]または[Computer Setup]ユーティリティを使用します。

- オペレーティング システムが起動していない場合やオペレーティング システムがロードされない場合でも[Computer Setup]ユーティリティを使用できます。
- [Computer Setup]ユーティリティでは、現在コンピュータ本体または別売のドッキング ベースに装着されているブート可能なデバイスだけが一覧表示されます。外付けフロッピーディスク ドライブ ベイは一覧には表示されませんが、常に最初に起動ドライブとして検索されます。
- [Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティでは、BIOSでサポートされているすべてのブート可能なデバイスが一覧表示されます。現在システムに装着されていないデバイスもブート シーケンスで指定でき、該当するデバイスが装着された場合は検索対象になり、装着されていない場合はそのデバイスをスキップします。

[Computer Setup]でのブート シーケンスの変更

1. コンピュータの電源を入れるか再起動して、画面の右上隅でカーソルが点滅したら[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更するには[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示するには[F1]キーを押します。
2. [Advanced] (詳細設定) → [Boot Options] (ブート オプション) の順に選択して[Enter]キーを押します。
3. [Multiboot] (マルチブート) フィールドを有効にします。
4. [Boot Order] (ブート順序) フィールドでブート シーケンスを変更します。
5. 設定を保存して[Boot Options]を終了するには、[F10]キーを押します。
6. 新しい設定が保存されたか確認し、[Computer Setup] (コンピュータのセットアップ) ユーティリティを終了するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択して、[F10]キーを押します。

[Compaqコンピュータ セキュリティ]でのブート シーケンスの変更

1. 次のどちらかの方法で[Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティにアクセスします。
 - [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Compaqコンピュータ セキュリティ]の順に選択します。
 - システム トレイの[Compaqコンピュータ セキュリティ]アイコンを右クリックして[セキュリティのプロパティ]を選択します。
2. [ブート セキュリティ]を選択します。
3. [マルチブートを有効にする]オプションをチェックします。
4. 上下の矢印ボタンを使用してブート シーケンスを変更します。

注 : [マルチブートを有効にする]オプションをチェックすると矢印ボタンを使用できるようになります。選択した項目がリストの一番上にある場合は、上向き矢印ボタンは使用できません。選択した項目がリストの一番下にある場合は、下向き矢印ボタンは使用できません。
5. [OK]をクリックします。

第6章

セキュリティ機能

セキュリティ機能のクイック リファレンス

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
コンピュータの不正な使用	Power-on password（電源投入時パスワード）。必要に応じてQuick Controls（クイック コントロール）を併用
[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）または[Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティへの不正なアクセス	Setup password（セットアップ パスワード）または管理者パスワード*
ハードドライブへの不正なアクセス	DriveLock（ドライブロック）
ドライブやポートの不正な使用	Device security（デバイス セキュリティ）
プロセッサのシリアル番号やその他のシステム識別情報への不正なアクセス	システム情報管理機能
コンピュータの不正な移動	セキュリティ ケーブル スロット
* このパスワードは、[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）ユーティリティではSetup passwordといい、[Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティでは管理者パスワードといいます。	

パスワードを忘れてしまった場合

- Power-on password（電源投入時パスワード）またはSetup password（セットアップ パスワード）や管理者パスワードを忘れてしまった場合は、対処方法をコンパック正規保守代理店にお問い合わせください。
- DriveLock（ドライブロック）のuser password（ユーザ パスワード）とmaster password（マスタ パスワード）の両方を忘れてしまった場合は、ハードドライブを永久に使用できなくなってしまう。
- DriveLockのuser passwordだけを忘れてしまった場合は、master passwordを使用してDriveLockを解除できます。詳しくは、この章の「DriveLock（ドライブロック）の使用」の項目を参照してください。

セキュリティ機能ユーティリティの使用

DriveLock（ドライブロック）以外のセキュリティ機能は、特に断り書きがない限り、[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）および[Compaqコンピュータ セキュリティ]のどちらのユーティリティでも設定できます。[Computer Setup]ユーティリティは、Windowsオペレーティング システムが起動していない場合や、Windowsオペレーティング システムがロードされない場合でも使用できます。

オペレーティング システムの機能の一部として、パスワードやQuick Controls（クイック コントロール）機能と同等の機能がサポートされている場合もあります。詳しくは、オペレーティング システムのマニュアルやオンライン ヘルプを参照してください。

このガイドでは、[Computer Setup]および[Compaqコンピュータ セキュリティ]のそれぞれのユーティリティでのセキュリティ機能の設定方法について説明します。

次の2点は、すべてのパスワードで共通の留意点です。

- パスワードを設定、入力、変更、または削除する場合、タイプしたパスワードそのものは画面に表示されませんので、ミスをしないように慎重にタイプしてください。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じキーを使用する必要があります。たとえば、キーボードの上部にある数字キーを使用してある数字をパスワードの一部として設定した場合、内蔵テンキーからその数字を入力しても、同じパスワードとして認識されません。

Power-on password（電源投入時パスワード）の使用

Power-on passwordには以下の特徴があります。

- コンピュータが不正に使用されることを防ぎます。いったん設定すると、コンピュータの電源の投入時およびハイバネーションからの復帰時にパスワードの入力が必要になります。
- Quick Controls（クイック コントロール）が使用可能になります。
- 7文字以内の半角英数字を使用します。ただし、スラッシュ（/）は使用できません。大文字と小文字は区別されません。また、他のパスワードと同じパスワードを使用しても問題ありません。

Power-on passwordの設定、変更、または削除



注意：Power-on passwordを忘れてしまうと、コンピュータを分解してメモリをクリアしない限り、コンピュータを使用できなくなります。パスワードを紙などに書いて、他人の目に触れない場所に保管しておくことをおすすめします。

- [Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）ユーティリティでPower-on passwordを設定、変更、または削除することができます。
- [Compaq コンピュータ セキュリティ]ユーティリティでPower-on passwordを設定できますが、変更または削除するには、[Computer Setup]ユーティリティを使用するか、パスワードの入力画面が表示されたときに操作する必要があります。

[Computer Setup]でのPower-on passwordの設定、変更、または削除

1. コンピュータの電源を入れるか再起動して、画面の右上隅でカーソルが点滅したら[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更するには[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示するには[F1]キーを押します。

2. [Security] (セキュリティ設定) → [Power-on Password] (電源投入時パスワード) の順に選択して[Enter]キーを押します。
 - Power-on passwordを設定する場合：設定するパスワードを[New Password] (新しいパスワード) フィールドと[Verify New Password] (新しいパスワードの確認入力) フィールドに入力して、[F10]キーを押します。
 - Power-on passwordを変更する場合：現在のパスワードを[Old Password] (現在のパスワード) フィールドに入力し、新しいパスワードを[New Password] フィールドと[Verify New Password] フィールドに入力して、[F10]キーを押します。
 - Power-on passwordを削除する場合：現在のパスワードを[Old Password]フィールドに入力して、[F10]キーを押します。
3. 設定を保存し、[Computer Setup]ユーティリティを終了してコンピュータを再起動するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択して、[Enter]キーを押します。
4. 選択の確認を求める画面が表示されたら、[F10]キーを押します。

[Compaqコンピュータのセキュリティ]での

Power-on passwordの設定、変更、または削除

- Windows 95、Windows 98、またはWindows NT 4.0の場合：

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パスワード]→[コンピュータのセキュリティ]の順に選択します。
または
システム トレイの[Compaqコンピュータ セキュリティ]アイコンを右クリックして[パスワードのプロパティ]を選択し、[電源投入時パスワード]カテゴリの[設定]をクリックします。
2. [電源投入時パスワード]カテゴリの[設定]をクリックします。
3. 7文字以内の半角英数字でパスワード入力し、確認のため同じパスワードをもう一度入力して[OK]をクリックします。

■ Windows 2000 Professionalの場合：

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パスワード]の順に選択して、[電源投入時パスワード]カテゴリの[設定]をクリックします。
または
システム トレイの[Compaqコンピュータ セキュリティ]アイコンを右クリックして[パスワードのプロパティ]を選択し、[電源投入時パスワード]カテゴリの[設定]をクリックします。
2. 7文字以内の半角英数字でパスワード入力し、確認のため同じパスワードをもう一度入力して[OK]をクリックします。

入力画面でのPower-on passwordの変更または削除

■ Power-on passwordを変更する場合：

1. コンピュータの電源を入れます。
2. 次の順番で、パスワードをスラッシュ (/) で区切って入力します。
現在のパスワード/新しいパスワード/新しいパスワード
3. [Enter]キーを押します。

■ Power-on passwordを削除する場合：

1. コンピュータの電源を入れます。
2. 次のように、現在のパスワードとスラッシュ (/) を続けて入力します。
現在のパスワード/

Power-on passwordの入力

1. コンピュータの電源を入れます。
2. Power-on passwordの入力画面が表示されたら、Power-on passwordを入力します。
3. [Enter]キーを押します。

パスワードを間違えると、パスワードが違っていることを示す画面が表示されます。もう一度、正しいパスワードを入力してください。3回続けて間違えて入力した場合は、コンピュータの電源を切り、再度電源を入れてから入力しなおしてください。

Quick Controls（クイック コントロール）の使用

Power-on password（電源投入時パスワード）を設定すると、次のQuick Controlsを使用できます。

- **QuickLock（クイックロック）**：キーボードとポインティング デバイスを無効にします。
- **QuickLock on Suspend（スタンバイ（サスペンド）時のクイックロック）**：有効にすると、コンピュータがサスペンド状態になったときにクイックロックが自動的に起動されます。
- **Lock keyboard and mouse at power-on（電源投入時のキーボードとマウスのロック）**：有効にすると、コンピュータの起動時または再起動時にクイックロックが自動的に起動されます。この機能により、キーボードとポインティング デバイスがロックされます。
- **QuickBlank（クイックブランク）**：クイックロックの起動時に画面がクリアされます。

注：Quick Controlsは、USBコネクタに接続された外付けキーボードからは使用できません。

Quick Controlsの設定

- どのオペレーティング システムを使用しているても、[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）ユーティリティでQuick Controlsを設定できます。
- Windows 95、Windows 98、またはWindows NT 4.0をお使いの場合は、[Compaq コンピュータ セキュリティ]ユーティリティでもQuick Controlsを設定できます。
- USBキーボードを一度でもコンピュータに接続したことがある場合は、[Compaq コンピュータ セキュリティ]ユーティリティでQuick Controlsを設定することはできません。

注：どちらのユーティリティでも、QuickLockを無効にしても、Power-on passwordは解除されません。

[Computer Setup]でのQuick Controlsの設定

1. コンピュータの電源を入れるか再起動して、画面の右上隅でカーソルが点滅したら[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更するには[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示するには[F1]キーを押します。
2. [Security] (セキュリティ設定) → [Password options] (パスワードのオプション) の順に選択し、必要なオプションを設定してから[F10]キーを押します。

注：Power-on passwordが設定されていない場合、[Password options]を選択できません。
3. 設定を保存し、[Computer Setup]ユーティリティを終了してコンピュータを再起動するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択して、[Enter]キーを押します。
4. 選択の確認を求める画面が表示されたら、[F10]キーを押します。

[Compaqコンピュータ セキュリティ]でのQuick Controlsの設定

1. 次のどれかの方法でユーティリティにアクセスします。
 - Windows 95、Windows 98、またはWindows NT 4.0の場合：
 - [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パスワード]→[コンピュータのセキュリティ]の順に選択します。または
 - システム トレイの[Compaqコンピュータ セキュリティ]アイコンを右クリックして[パスワードのプロパティ]を選択します。
 - Windows 2000 Professionalの場合：
 - [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パスワード]の順に選択します。または
 - システム トレイの[Compaqコンピュータ セキュリティ]アイコンを右クリックして[パスワードのプロパティ]を選択します。
2. [オプション]をクリックします。

注：[オプション]を選択するには、あらかじめPower-on passwordを設定しておく必要があります。また、USBキーボードを一度でもコンピュータに接続したことがある場合は、この方法でQuick Controlsを設定することはできません。

3. QuickLockを有効にするには、[キーボードのクイックロックを有効にする]チェックボックスをチェックします。その後、必要に応じて[画面のクイックブランクを有効にする]や[スタンバイ時のクイックロック]オプションをチェックします。
4. 必要に応じて[起動時にクイックロックを有効にする]オプションをチェックします。
5. [OK]をクリックします。

手動でのQuickLockの起動

[Fn]+[F6]ホットキーを押すか、[Ctrl]+[Alt]+[L]キーを押します。

QuickLockの終了

Power-on passwordの設定に使用したキーと同じキーを使用してパスワードを入力して、[Enter]キーを押します。

Setup password (セットアップ パスワード) / 管理者パスワードの使用

Setup password/管理者パスワードには以下の特徴があります。

- このパスワードは、[Computer Setup] (コンピュータのセットアップ) ユーティリティではSetup passwordといい、[Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティでは管理者パスワードといいます。
- [Computer Setup]ユーティリティおよび[Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティで設定したコンフィギュレーションの設定とシステム固有の情報を保護します。いったん設定すると、これらのユーティリティにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。
- [Computer Setup]ユーティリティへのアクセス
- [Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティのシステム設定情報を表示する画面
- 7文字以内の半角英数字を使用します。大文字と小文字は区別されません。他のパスワードと同じパスワードを使用しても問題ありません。
- パスワードを入力するときには、設定したときと同じキーを使用する必要があります。たとえば、キーボード上部の数字キーを使用してパスワードを設定した場合、内蔵テンキーから数字を入力しても同じ文字として認識されません。

Setup password/管理者パスワードの設定、変更、または削除



注意： Setup passwordや管理者パスワードを忘れてしまうと、コンピュータを分解してメモリをクリアしない限り、ユーティリティそのものや情報を表示する画面にアクセスできなくなります。パスワードを紙などに書いて、他人の目に触れない場所に保管しておくことをおすすめします。

- [Computer Setup] (コンピュータのセットアップ) ユーティリティでパスワードを設定、変更、または削除することができます。
- [Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティでパスワードを設定できますが、変更または削除するには、[Computer Setup]ユーティリティを使用する必要があります。

[Computer Setup]でのSetup passwordの設定、変更、または削除

1. コンピュータの電源を入れるか再起動して、画面の右上隅でカーソルが点滅したら[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更するには[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示するには[F1]キーを押します。
2. [Security] (セキュリティ設定) → [Setup Password] (セットアップ パスワード) の順に選択して[Enter]キーを押します。
 - Setup passwordを設定する場合 : 設定するパスワードを [New Password] (新しいパスワード) フィールドと [Verify New Password] (新しいパスワードの確認入力) フィールドに入力して、[F10]キーを押します。
 - Setup passwordを変更する場合 : 現在のパスワードを [Old Password] (現在のパスワード) フィールドに入力し、新しいパスワードを [New Password] フィールドと [Verify New Password] フィールドに入力して、[F10]キーを押します。
 - Setup passwordを削除する場合 : 現在のパスワードを [Old Password] フィールドに入力して、[F10]キーを押します。
3. 設定を保存し、[Computer Setup]ユーティリティを終了してコンピュータを再起動するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択して、[Enter]キーを押します。
4. 選択の確認を求める画面が表示されたら、[F10]キーを押します。

[Compaqコンピュータ セキュリティ]での管理者パスワードの設定

1. 次のどれかの方法で管理者パスワードを設定するための画面にアクセスします。
 - Windows 95、Windows 98、Windows NT 4.0の場合 :
 - [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パスワード]→[コンピュータのセキュリティ]の順に選択して、[管理者パスワード]カテゴリの[設定]ボタンをクリックします。
 - または
 - システム トレイの[Compaqコンピュータ セキュリティ]アイコンを右クリックして[パスワードのプロパティ]→[コンピュータのセキュリティ]の順に選択し、[管理者パスワード]カテゴリの[設定]ボタンをクリックします。

■ Windows 2000 Professionalの場合：

- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パスワード]の順に選択して、[管理者パスワード]カテゴリの[設定]ボタンをクリックします。

または

- システム トレイの[Compaqコンピュータ セキュリティ]アイコンを右クリックして[パスワードのプロパティ]を選択し、[管理者パスワード]カテゴリの[設定]ボタンをクリックします。

2. 7文字以内の半角英数字でパスワード入力し、確認のため同じパスワードをもう一度入力して[OK]をクリックします。

Setup password/管理者パスワードの入力

[Computer Setup]ユーティリティにアクセスする場合：Setup passwordの入力を求める画面が表示されたら、パスワードの設定に使用したキーと同じキーを使用してパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。3回続けて間違ったパスワードを入力した場合は、コンピュータの電源を切り、再度電源を入れてから入力しなおしてください。

[Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティのシステム設定情報を表示する画面にアクセスする場合：管理者パスワードの入力を求める画面が表示されたら、パスワードの設定に使用したキーと同じキーを使用してパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。間違ったパスワードを入力した場合は、画面が表示されても変更することはできません。この場合は、ユーティリティを起動しなおしてください。

DriveLock（ドライブロック）の使用



注意：DriveLockのuser password（ユーザ パスワード）と master password（マスタ パスワード）の両方を忘れてしまうと、ロックされたハードドライブを**永久に使用できなくなります**。master passwordを紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要がある場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。

- DriveLockは、ハードドライブへの不正なアクセスを防止します。いったんDriveLockによるプロテクトを設定すると、次のようになります。
 - ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。
 - コンピュータ本体のハードドライブ ベイに装着したときにしかドライブにアクセスできません。
- DriveLockには、user passwordとmaster passwordの2種類のパスワードがあります。
 - DriveLockによってプロテクトされているハードドライブにアクセスするにはuser passwordかmaster passwordのどちらかが必要です。
 - DriveLockによるハードドライブのプロテクトを解除するにはmaster passwordが必要です。
 - user passwordは、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザが設定します。
 - master passwordは、システム管理者が実際にハードドライブを使用するユーザが設定します。

- user passwordやmaster passwordには以下の特徴があります。
 - 32文字以内の半角英数字を使用します。大文字と小文字は区別されません。
 - user passwordとmaster passwordに同じパスワードを設定できます。7文字以内のパスワードを使用するときは、他のパスワードと同じパスワードを設定することもできます。
 - DriveLockによりプロテクトされているハードドライブからコンピュータを起動する場合、Power-on password（電源投入時パスワード）と同じパスワードに設定されたユーザ パスワードやマスタ パスワードを入力すればPower-on passwordを入力するよう求めるプロンプトは表示されません。
 - パスワードを入力するときには、設定したときと同じキーを使用する必要があります。たとえば、キーボードの上部の数字のキーを使用してパスワードを設定した場合、内蔵テンキーから数字を入力しても同じ文字として認識されません。
- DriveLockによるドライブのプロテクトを解除しないと、user passwordやmaster passwordを削除できません。



注意： DriveLockのuser passwordとmaster passwordの両方を忘れてしまうと、ロックされたハードドライブを**永久に使用できなくなります**。master passwordを紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要が生じた場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。



注意： コンピュータやハードドライブの損傷およびデータの損失を防ぐため、ハードドライブを着脱する場合は、事前にシステムの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っている時やサスペンド（スタンバイ）またはハイバネーション状態の時にハードドライブを着脱しないでください。確実に電源を切るために、いったんコンピュータの電源を入れてから通常のWindowsの手順に従って電源を切ることをおすすめします。

1. ハードドライブが、別売のドッキング ベースではなく、コンピュータ本体に装着されていることを確認します。
2. コンピュータの電源を入れ、画面の右上隅でカーソルが点滅したら、[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[F1]キーを押します。

注： Windowsの再起動時に[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）ユーティリティを起動しても、DriveLockを設定できません。
3. [Security]（セキュリティ設定）→[DriveLock Passwords]（ドライブロック パスワード）の順に選択し、[Enter]キーを押します。
4. プロテクトするドライブが取り付けられているベイを選択して、[F10]キーを押します。
5. [Enable]を選択し、[F10]キーを押してプロテクトを有効にします。
6. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、[F10]キーを押します。

7. user passwordを[New Password]（新しいパスワード）フィールドと[Verify New Password]（新しいパスワードの確認入力）フィールドに入力して、[F10]キーを押します。
8. master passwordを[New Password]フィールドと[Verify New Password]フィールドに入力して、[F10]キーを押します。
9. DriveLockを設定する場合は、確認用のフィールドに**DriveLock**と入力して、[F10]キーを押します。
10. DriveLockの設定を保存し、[Computer Setup]ユーティリティを終了してコンピュータを再起動するには、[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択して、[Enter]キーを押します。
11. 選択の確認を求める画面が表示されたら、[F10]キーを押します。

プロテクトされているハードドライブへのアクセス

1. ハードドライブがコンピュータ本体のハードドライブ ベイに装着されているか確認します。
2. DriveLockのパスワードの入力を求める画面が表示されたら、パスワードの設定に使用したキーと同じキーを使用してuser passwordかmaster passwordのどちらかを入力し、[Enter]キーを押します。3回続けて間違ったパスワードを入力した場合は、コンピュータの電源を切り、もう一度電源を入れてから入力しなおしてください。

DriveLockパスワードの変更または DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除



注意：DriveLockのuser passwordとmaster passwordの両方を忘れてしまうと、ロックされたハードドライブを永久に使用できなくなります。master passwordを紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要が生じた場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。



注意：コンピュータやハードドライブの損傷およびデータの損失を防ぐため、ハードドライブを着脱する場合は、事前にシステムの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っている時やサスペンド（スタンバイ）またはハイバネーション状態の時にハードドライブを着脱しないでください。確実に電源を切るために、いったんコンピュータの電源を入れてから通常のWindowsの手順に従って電源を切ることをおすすめします。

1. プロテクトされているドライブが、別売のドッキング ベースではなく、コンピュータ本体に装着されていることを確認します。
2. コンピュータの電源を入れ、DriveLockのパスワードの入力を求める画面が表示されたら、パスワードの設定に使用したキーと同じキーを使用してuser passwordまたはmaster passwordを入力し、[Enter]キーを押します。
3. 画面の右上隅でカーソルが点滅したら、[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[F1]キーを押します。

注：Windowsの再起動時に[Computer Setup]ユーティリティを起動しても、DriveLockを設定できません。

4. [Security]→[DriveLock Passwords]の順に選択して、[Enter]キーを押します。

5. プロテクトされているドライブが取り付けられているベイを選択して、[F10]キーを押します。
 - user passwordまたはmaster passwordを変更する場合—変更したいパスワードの横のフィールドで、現在のパスワードを[Old Password]（現在のパスワード）フィールドに入力し、新しいパスワードを[New Password]フィールドと[Verify New Password]フィールドに入力して、[F10]キーを押します。
 - DriveLockによるハードドライブのプロテクトを解除する場合—DriveLock（ドライブロック）を確認用フィールドで無効にし、[F10]キーを押します。次に、master passwordを[Old Password]フィールドに入力して、[F10]キーを押します。
6. 設定を保存し、[Computer Setup]ユーティリティを終了してコンピュータを再起動するには、[File]→[Save Changes and Exit]の順に選択します。
7. 選択の確認を求める画面が表示されたら、[F10]キーを押します。

装置の使用禁止と使用許可

[Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）または[Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティを使用すると、ほとんどのドライブやポートおよびいくつかのデバイスを使用禁止にすることができます。そのため、他のユーザのコンピュータの使用を制限することができます。これらのユーティリティでフロッピーディスク ドライブに関する設定を行った場合、マルチベイ内および外付けフロッピーディスク ドライブ ベイ内の両方のフロッピーディスク ドライブに適用されます。

注：Windows NT 4.0またはWindows 2000 Professionalをお使いの場合、保安上の理由から、[Computer Setup]ユーティリティで使用禁止にした装置や機能を、Windows NT 4.0またはWindows 2000 Professionalから使用許可に設定することはできません。

[Computer Setup]ユーティリティを使用し て装置の使用禁止/使用許可を設定する場合

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。画面の右上隅でカーソルが点滅したら、[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[F1]キーを押します。
2. [Security] (セキュリティ設定) → [Device security] (デバイス セキュリティ) の順に選択し、装置の使用禁止/使用許可を設定して、[F10]キーを押します。

注: DVD-ROMドライブの設定には[CD-ROM]フィールドを使用します。フロッピーディスク ドライブに関する設定は、スーパーディスク ドライブには適用されません。
3. 設定を保存し、[Computer Setup]ユーティリティを終了してコンピュータを再起動するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択して、[Enter]キーを押します。
4. 選択の確認を求める画面が表示されたら、[F10]キーを押します。

[Compaqコンピュータ セキュリティ]を使用して 装置の使用禁止/使用許可を設定する場合

1. 次のどちらかの方法でユーティリティにアクセスします。
 - [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Compaqコンピュータ セキュリティ]の順に選択します。または
 - システム トレイの[Compaqコンピュータ セキュリティ]アイコンを右クリックして[セキュリティのプロパティ]を選択します。
2. どちらかのタブを選択します。
 - シリアル ポート、赤外線ポート、パラレル ポート、またはUSBポートの使用禁止/使用許可を設定する場合 : [ポート セキュリティ]を選択します。
 - フロッピーディスク ドライブからのブート、フロッピーディスク ドライブへのアクセス、またはフロッピーディスク ドライブへの書き込みの有効/無効を設定する場合 : [ブート セキュリティ]を選択します。

注：[ブート セキュリティ]タブの[マルチブートを有効にする]オプションについて詳しくは、このガイドの第5章の「マルチブートによるブート シーケンスの変更」の項目を参照してください。

3. 使用禁止または無効にする装置や機能をチェックします。装置や機能を使用許可または有効にする場合はチェックを外します。
4. [OK]をクリックします。
5. 設定を有効にするためにコンピュータを再起動するように画面にメッセージが表示された場合は、コンピュータの電源を切って、約10秒ほど待ってから電源を入れなおしてください（コンピュータを再起動しないでください）。

システム情報の管理

- [Computer Setup]（コンピュータのセットアップ）または[Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティを使用して、以下の作業を行うことができます。
 - コンピュータのシリアル番号、アセット タグ、およびオーナーシップ タグの表示/入力
 - バッテリー パックのシリアル番号およびアセット タグの表示/入力
 - 別売のドッキング ベースのシリアル番号およびアセット タグの表示/入力
 - プロセッサのシリアル番号の表示/入力
 - プロセッサがプロセッサ番号をソフトウェアに通知する機能の有効/無効の設定
- 同じモデルの複数のドッキング ベースをコンピュータがどのように識別するかを指定する場合は、[Computer Setup]ユーティリティを使用します。
- 他のユーザが上記の情報にアクセスできないように保護するには、[Computer Setup]または[Compaqコンピュータ セキュリティ]ユーティリティでSetup passwordや管理者パスワードを使用して設定できます。

注：すべてのシステム コンポーネントに関する設定情報や診断情報を表示、印刷、または保存する方法については、このガイドの第14章の「[Compaq Diagnostics]の使用」の項目を参照してください。

[Computer Setup]でのシステム情報の入力/表示

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。画面の右上隅でカーソルが点滅したら、[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[F1]キーを押します。
2. 必要に応じて以下の操作を行います。
 - 一般的なシステム情報を参照する場合 : [File] (ファイル) → [System Information] (システム情報) の順に選択します。
 - コンピュータ本体、別売のドッキング ベース、またはバッテリーパックの識別番号 (システムID) を参照または入力する場合 : [Security] (セキュリティ設定) → [System IDs] (システムID) の順に選択します。
 - プロセッサがプロセッサのシリアル番号をソフトウェアに通知する機能の有効/無効を設定する場合 : [Advanced] (詳細設定) → [Device options] (デバイス オプション) の順に選択します。
 - 同じモデルの複数のドッキング ベースをコンピュータがどのように識別するかを指定する場合 : [Advanced] (詳細設定) → [Device options] (デバイス オプション) の順に選択し、[Docking Station Unique Identification] (ドッキング ステーション個別識別) で、すべて同じドッキング ベースとして認識させる場合は[Disable] (無効) を、それぞれ別々のドッキング ベースとして認識させる場合は[Enable] (有効) を選択します。
3. 情報を入力したり設定したりするには、[F10]キーを押します。
4. 設定を保存し、[Computer Setup]ユーティリティを終了してコンピュータを再起動するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択して、[Enter]キーを押します。
5. 選択の確認を求める画面が表示されたら、[F10]キーを押します。

[Compaqコンピュータ セキュリティ]での システム情報の入力/表示

1. 次のどちらかの方法でユーティリティにアクセスします。

- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Compaqコンピュータ セキュリティ]の順に選択します。

または

- システム トレイの[Compaqコンピュータ セキュリティ]アイコンを右クリックして[セキュリティのプロパティ]を選択します。

2. [情報]タブを選択します。

- コンピュータに関する情報を表示または入力する場合：[管理可能デバイス]のリストから[システム]を選択します。

- [シリアル番号]は表示のみで入力することはできません。

- [アセット タグ]ボックスには、半角16文字以内で、コンピュータに関する説明を入力できます。

- [オーナーシップ タグ]ボックスには、半角80文字以内でコンピュータの所有者や所有部署に関する説明を入力できます。

- 別売のドッキング ベースに関する情報を表示または入力する場合：[管理可能デバイス]のリストから該当するドッキング ベースを選択します。

- [シリアル番号]は表示のみで入力することはできません。

- [アセット タグ]ボックスには、半角16文字以内で、ドッキングベースに関する説明を入力できます。

注：コンピュータをドッキング ベースに装着していない場合、[管理可能デバイス]のリストにドッキング ベースは表示されません。

- システムに装着されているバッテリー パック（コンピュータ本体のバッテリー ベイ内、コンピュータ本体のマルチベイ内、または別売のドッキング ベースのベイ内）に関する情報を表示または入力する場合：[管理可能デバイス]のリストから該当するバッテリー パックを番号で選択します。

- [バッテリー1]: コンピュータ本体のバッテリー ベイ内
- [バッテリー2]: コンピュータ本体のマルチベイ内
- [バッテリー3]: 別売の拡張ベースの右側のマルチベイ内または別売のコンビニエンス ベースのバッテリー充電ベイ内
- [バッテリー4]: 別売の拡張ベースの左側のマルチベイ内または別売のコンビニエンス ベースのマルチベイ内

注: コンピュータのモデルや使用により、使用できるドッキング ベースのベイは異なります。

- [シリアル番号]は表示のみで入力することはできません。
- [アセット タグ]ボックスには、半角8文字以内で、バッテリー パックに関する説明を入力できます。

注: コンピュータをドッキング ベースに装着していない場合、[管理可能デバイス]のリストにドッキング ベース内のバッテリー パックは表示されません。

[Compaqコンピュータ セキュリティ]での プロセッサのシリアル番号の表示/保護

1. 次のどちらかの方法でユーティリティにアクセスします。

- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Compaqコンピュータ セキュリティ]の順に選択します。

または

- システム トレイの[Compaqコンピュータ セキュリティ]アイコンを右クリックして[セキュリティのプロパティ]を選択します。

2. [情報]タブを選択します。

3. [管理可能デバイス]のリストから[プロセッサ]を選択します。

- プロセッサのシリアル番号を表示する場合: [プロセッサ シリアル番号の無効]チェックボックスがチェックされていない場合は[シリアル番号]ボックスにプロセッサのシリアル番号が表示されます。
[シリアル番号]は表示のみで入力することはできません。

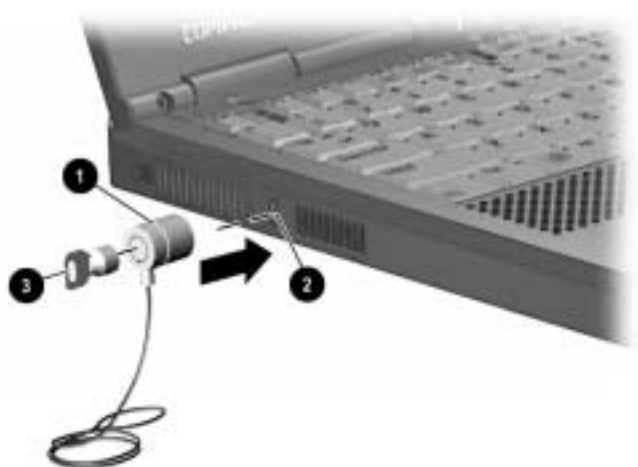
- プロセッサがプロセッサのシリアル番号をソフトウェアに通知しないようにする場合: [プロセッサ シリアル番号の無効]チェックボックスをチェックします。

- プロセッサがプロセッサのシリアル番号をソフトウェアに通知するようにする場合: [プロセッサ シリアル番号の無効]チェックボックスのチェックを外します。

4. 変更した内容を確定するために[OK]をクリックします。
5. 設定を有効にするために、コンピュータの電源を切って、約10秒ほど待ってから電源を入れなおしてください（コンピュータを再起動しないでください）。

ケーブル ロックの接続

コンピュータを固定するものに、ケーブルを巻き付け、ケーブルの錠の部分❶をケーブルの輪になった部分に通してセキュリティ ケーブル スロット❷に差し込み、鍵❸をかけます。



第7章

内蔵モデムの使用

(モデム内蔵モデルの場合)

お買い上げいただいたコンピュータのモデルにより、モデムが内蔵されているモデルと内蔵されていないモデルがあります。モデム内蔵モデルをお使いの場合は、この章の説明もお読みください。

注：このコンピュータの内蔵モデムは、一部の別売のドッキング ベースで使用可能なモデムのパススルー機能はサポートしていません。

モデム ケーブルの接続

重要：内蔵モデムでは、複数の国をサポートしているユニバーサルDAA (Direct Access Arrangement) を採用しています。ただし、使用する国や地域によっては、モジュラ コンセントに接続するためのアダプタが必要な場合もあります。RJ-11コネクタ以外のモジュラ コンセントへの接続について詳しくは、この章の「各国仕様のモデム アダプタの使用」の項目を参照してください。

重要：デジタル構内回線 (PBX) システムのコンセントと標準の電話回線のコンセントは形状が似ていますが、PBXではモデムのようなアナログ装置は使用できません。接続するコンセントが標準のアナログ電話回線であることを確認してください。デジタル回線に接続した場合、ダイヤル トーンは検出されません。誤ってデジタル回線に接続してもモデムの保護機構が自動的に機能しますが、必ず回線の種類を確認してから接続してください。電話をかけたときに超過電流が検出されると短い警告音が鳴ります。呼び出しが中断され、電話回線がオンフックの状態に戻ります。



警告：感電を防ぐため、内部装置の取り付けや取り外しなどの作業は、必ず電源コードおよびモデム ケーブルをコネクタから抜いてから行ってください。



警告：感電、火災、装置の損傷などを防ぐため、電話ケーブルを Ethernet RJ-45コネクタに接続しないでください。

以下の手順に従って、モデムを電話回線の壁面モジュラ コンセントに接続します。

重要：電磁波障害を防止するためのコア①が取り付けられているモデム ケーブルもあります(モデム ケーブルのRJ-11コネクタは6ピンのコネクタです)。この場合は、コアが取り付けられている方のケーブルの端をコンピュータに接続してください。

1. コンピュータの右側面にあるRJ-11コネクタに、モデム ケーブルの一方の端を接続します②。
2. モデム ケーブルのもう一方の端を電話回線の壁面モジュラ コンセントに接続します③。



モデムのセットアップ

コンピュータにモデムがセットアップされていない場合は、以下の操作を行う必要があります。モデムがセットアップされていると、Windows 95、Windows 98、またはWindows NT 4.0をお使いの場合は[モデムのプロパティ]ウィンドウにモデム名が表示され、Windows 2000 Professionalをお使いの場合は[電話とモデムのオプション]ウィンドウの[モデム]タブにモデム名が表示されます。

- Windows 95またはWindows 98をお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[モデム]の順に選択して、[新しいモデムのインストール]セットアップ ウィザードを起動します。以下の手順に従って、このウィザードでモデムをセットアップします。
 1. 最初の画面で[モデムを一覧から選択するので検出しない]をチェックしてから、[次へ]をクリックします。
 2. 次の画面でお使いのモデム名を選択するか、[次へ]をクリックしてオペレーティング システムにモデムを検出させます。
 3. 画面の指示に従って操作します。
- Windows NT 4.0またはWindows 2000 Professionalをお使いの場合 :
 1. C:¥Program Files¥Compaq¥CPQLANMODEM¥Modem フォルダに移動します。
 2. Setup.exeを実行します。

通信ソフトウェアの選択

モデムは、コンピュータにプリインストールされているソフトウェアまたは市販のソフトウェアを使用して操作できます。

プリインストールされているモデムのソフトウェアを使用する場合：[スタート]→[プログラム]の順に選択して、以下の手順に従って操作します。

- ターミナル エミュレーションおよびデータの伝送を実行する場合：
 - Windows 95、Windows 98、またはWindows NT 4.0をお使いの場合は、[アクセサリ]→[ハイパーターミナル]の順に選択します。
 - Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]の順に選択します。
- Faxエミュレーションおよび伝送を行う場合：
 - Windows 95をお使いの場合は、[アクセサリ]→[Fax]→[新しいFaxメッセージの送信]の順に選択します。
 - Windows 98またはWindows NT 4.0をお使いの場合は、[RingCentral Fax]を選択します。
 - Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、[アクセサリ]→[通信]→[Fax]→[Faxサービスの管理]の順に選択します。

Lotus cc:Mail 7.0、Lotus Notes、またはMicrosoft MS-Mail 3.2 Remoteを使用する場合：スクリプト ファイルをロードする必要があります。これらのアプリケーション用のスクリプト ファイルは、お使いのコンピュータにプリインストールされています。

Lotusスクリプト ファイルのロード

コンパックが提供するLotus NotesおよびLotus cc:Mail用のスクリプト ファイルは、すべてのバージョンのLotus NotesおよびLotus cc:Mailをサポートしています。ただし、Lotusアプリケーションのバージョンによってスクリプト ファイルをロードする方法が異なります。

Lotus cc:Mailまたはバージョン4.xより前のLotus Notes用のスクリプト ファイルをロードする場合：Lotusアプリケーションに付属の説明書に記載されている手順に従って操作します。これらのアプリケーション用のスクリプト ファイルは、**C:\Program Files\Compaq\CPQLANModem\Modem\Scripts**フォルダにあります。

- Lotus cc:Mailをお使いの場合は、**cc56kcom.mdm**ファイルを選択します。
- バージョン4.xより前のLotus Notesをお使いの場合は、**LN56kcom.mdm**ファイルを選択します。

バージョン4.x以降のLotus Notes用のスクリプト ファイルをロードする場合：

1. **C:\Program Files\Compaq\CPQLANModem\Modem\Scripts** フォルダをWindowsのエクスプローラで選択します。
2. **Scripts** フォルダにある**LN56kcom.mdm**ファイルを、**Notes\Data\Modems** フォルダにコピーします。
3. Lotus Notesアプリケーションを起動します。
4. [File]→[Tools]→[User Preferences]→[Ports]の順に選択します。
5. [Port Enabled]チェックボックスがチェックされていることを確認します。
6. モデムのCOMポートがCOM2に設定されていることを確認します。
7. [Comx Options]を選択します。
8. [Additional Setup]ダイアログ ボックスの[Modem Type]リストから、[Compaq 56K (V.90) Mini PCI Card]を選択します。
9. [Hardware Flow Control]が選択され、次のオプションが設定されていることを確認します。
 - Maximum port speed : 115200
 - Port number : COM2
10. [OK]をクリックして設定を保存して[Additional Setup]ダイアログ ボックスを閉じます。

Microsoft MS-Mail 3.2 Remoteスクリプト ファイルのロード

1. **C:¥Program Files¥Compaq¥CPQLANModem¥Modem¥Scripts** フォルダをWindowsのエクスプローラで選択します。
2. **Scripts** フォルダにある**ms56kcom.scr** ファイルを、**C:¥Windows¥MS-Mail ¥MSRMT¥GLB** フォルダにコピーします。
3. MS-Mail Remoteアプリケーションを起動します。
4. [Mail]→[Communications]→[Script]の順に選択します。
5. モデムのリストから、[Compaq 56K (V.90) Mini PCI Card]を選択します。
6. [Communication]ボックスで、次のオプションが設定されていることを確認します。
 - ボー レート : 57600
 - ポート : COM2
7. [OK]をクリックして設定を保存します。

モデム コマンドとダイヤル設定コマンドの使用

ほとんどの通信ソフトウェアは、ATコマンドやダイヤル設定コマンドを使用せずに設定することができます。

- ATコマンドを使用してモデムを設定する場合は[ハイパーターミナル]を使用します。
- Windows 95またはWindows NT 4.0をお使いの場合は、[アクセサリ]→[ハイパーターミナル]の順に選択します。
- Windows 98またはWindows 2000 Professionalをお使いの場合は、[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]の順に選択します。
- すべてのモデム モデルのコマンド セットに関する情報は、コンパクトのインターネットWebサイト (<http://www.compaq.com>、英語サイト) またはコンピュータに付属のCompaq Portable Products Reference Library CDから参照できます。コマンド セットには、ATコマンド、Sレジスタ、およびリザルト コードの一覧とその説明が記載されています。

モデムの国外での使用

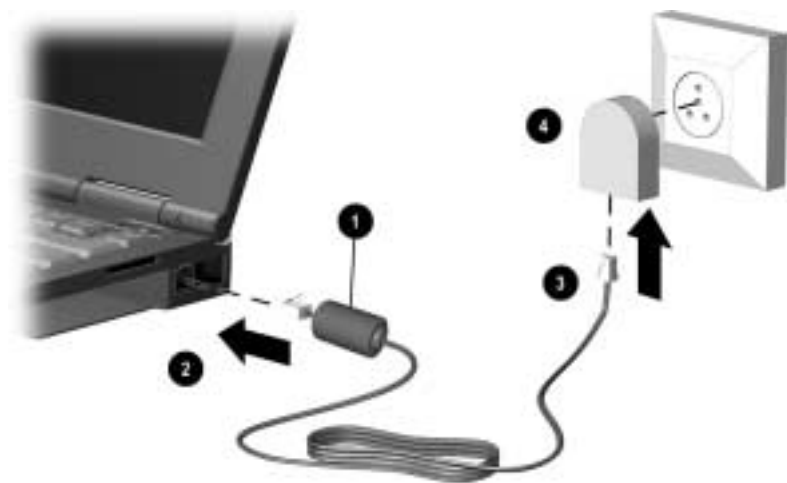
各国仕様のモデム アダプタの使用

モジュラ コンセントは各国で異なります。お使いのコンピュータに付属のモデム ケーブルは、RJ-11モジュラ コンセントに直接接続できます。使用する国によっては、モジュラ コンセントに接続するためのアダプタが必要な場合があります。日本ではアダプタが必要ないため、日本でお買い上げいただいた場合はアダプタは同梱されていません。アダプタが必要な国で使用する場合は、現地のコンパック製品販売店で購入してください。

以下の手順に従って、各国仕様のモデム アダプタを使用してモデムを接続します。

重要：電磁波障害を防止するためのコア①が取り付けられているモデム ケーブルもあります(モデム ケーブルのRJ-11コネクタは6ピンのコネクタです)。この場合は、コアが取り付けられている方のケーブルの端をコンピュータに接続してください。

1. コンピュータの右側面にあるRJ-11コネクタに、モデム ケーブルの一方の端を接続します②。
2. お使いになる国の仕様のモデム アダプタ④をモジュラ コンセントに差し込みます。
3. モデム ケーブルのもう一方の端③をモジュラ コンセントに接続したモデム アダプタに接続します。



各国仕様のモデム構成の選択

日本でお買い上げいただいた日本語モデルのコンピュータの内蔵モデムは、日本国内の通信規格に準拠するように設定されています。日本国内で使用する場合は、この設定のままお使いいただけます。国外でモデムを使用する場合は、その国の通信規格に適合するようにモデムの設定を変更する必要があります。

重要：このモデムを日本国内で使用する場合は、必ず日本用の設定でお使いください。日本以外の国用の設定で使用すると、電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

モデムの使用国の設定は、[コントロール パネル]→[モデム]の順に選択して、[ダイヤルのプロパティ]画面の[国番号]ドロップダウン リストで操作します。コンピュータの内蔵モデムが、ハードウェアとして使用する国の規格に適合しているかどうかは、コンピュータの裏面の承認ラベルで確認してください。コンパックのインターネットWebページ（<http://www.compaq.com>）でも、モデムに関する最新情報を公開しています。

モデムの使用国設定の確認

- Windows 95、Windows 98、またはWindows NT 4.0をお使いの場合：
[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[モデム]→[ダイヤルのプロパティ]の順に選択して、[国番号]ドロップダウン ボックスを確認します。
- Windows 2000 Professionalをお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択し、場所をクリックして[編集]を選択します。[国/地域]ドロップダウン ボックスで確認します。

モデムの使用国設定の変更

注：内蔵モデムは、[ダイヤルのプロパティ]画面にリストされている中の一部の国に対応しています。内蔵モデムが対応していない国を選択すると、警告メッセージが表示され、[米国]が選択されます。

- Windows 95、Windows 98、またはWindows NT 4.0をお使いの場合：
[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[モデム]→[ダイヤルのプロパティ]の順に選択して、[国番号]ドロップダウン ボックスから滞在している国を選択します。

- Windows 2000 Professionalをお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]→場所をクリック→[編集]→[国/地域]ドロップダウン ボックスの順に選択して、新しい国または地域を設定します。

注：旅行中は、滞在している国に合わせて使用国設定を変更して、滞在している国の通信規格に適合させる必要があります。

海外での接続のチェックリスト

日本国外でモデムを使用するときに問題が生じた場合は、次の項目を参考にしてください。

- 電話回線の種類の確認：モデムは、デジタル回線ではなくアナログ回線を使用します。データ回線、ファックス装置の回線、または標準の電話回線は、ほとんどの場合アナログ回線です。
- パルスとトーンのどちらのダイヤル方法を使用しているかの確認：電話をダイヤルしてみて、クリック音（パルス）とトーンのどちらの音がするか聞きます。その後、通信ソフトウェアで対応するパルスかトーンのダイヤル方法が設定されているか確認します。
- ダイヤル先の電話番号と受信先のモデムの応答の確認：電話で送信先の電話番号をダイヤルして、受信側のモデムが応答することを確認します。
- ダイヤル トーンを無視するようにモデムを設定する：認識できないダイヤル トーンを受信すると、モデムはダイヤルせずに、[No Dial Tone] エラー メッセージを表示します。以下の手順に従って、ダイヤル前のダイヤル トーンを無視するようにモデムを設定します。

Windows 95、Windows 98、またはWindows NT 4.0をお使いの場合：

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[モデム]の順に選択します。
2. お使いのモデムを選択して、[プロパティ]→[接続]タブの順に選択し、[トーンを待ってからダイヤルする]チェックボックスのチェックを外します。

注：チェックボックスのチェックを外した後も[No Dial Tone]エラーメッセージが表示される場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[モデム]→[ダイヤルのプロパティ]の順に選択し、[国番号]ドロップダウン ボックスから[日本]を選択して、もう一度[トーンを待ってからダイヤルする]チェックボックスのチェックを外します。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合：

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]→[モデム]の順に選択します。
2. お使いのモデムを選択して[プロパティ]をクリックします。
3. [全般]タブの[発信音を待ってからダイヤルする]チェックボックスのチェックを外します。

注：チェックボックスのチェックを外した後も[No Dial Tone]エラーメッセージが表示される場合は、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電話とモデムのオプション]の順に選択して、以下の手順で操作します。

1. [ダイヤル情報]タブの[所在地]リストから、電話をかける場所を選択します。
2. [編集]ボタンを選択します。
3. [国/地域]ドロップダウン リストから[日本]を選択します。
4. [適用]→[OK]の順にクリックします。
5. [モデム]タブを選択します。
6. お使いのモデムを選択し、[プロパティ]→[全般]の順に選択して、もう一度、[発信音を待ってからダイヤルする]チェックボックスのチェックを外します。

ドライバの再インストールまたはアップデート —Windows 95またはWindows 98をお使いの場合

モデム ドライバをアップデートまたは再インストールする場合は、以下の節で示す手順に従って、次の操作を行います。

- 最初に、現在ロードされているモデム ドライバをアンインストールします。
- 次に、モデム ドライバをインストールまたはリストア（復元）します。

モデム ドライバのアンインストール (Windows 95またはWindows 98)

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[アプリケーションの追加と削除]の順に選択します。
2. プログラムのリストから[Compaq 56K (V.90) Mini PCI]を選択します。
3. [追加と削除]ボタンをクリックします。
4. [はい]をクリックして削除を開始します。
5. 削除を完了するために、コンピュータを再起動します。

モデム ドライバの再インストール (Windows 95またはWindows 98)

コンピュータを再起動すると、新しいハードウェアとして[PCI Serial Controller]が検出されたことを示すダイアログ ボックスが表示されます。

1. ダイアログ ボックスで[次へ]をクリックします。ドライバの場所を尋ねるメッセージが表示されるまで、続く画面でも[次へ]をクリックします。
2. ドライバの場所を尋ねるメッセージが表示されたら、次のように入力してCompaq 56K (V.90) Mini PCI用のドライバのフォルダを指定します。

C:\Program Files\Compaq\CPQLANModem\Modem

3. [次へ]をクリックします。操作が終了するまで、続く画面でも[次へ]をクリックします。
4. インストールを完了するために、[終了]をクリックします。

ドライバの再インストールまたはアップデート —Windows NT 4.0をお使いの場合

重要: Windows NT 4.0でモデム ドライバまたはLANドライバのアンインストールまたは再インストールを行うには、Administratorの権限を持つアカウントでWindows NTにログオンする必要があります。

モデム ドライバをアップデートまたは再インストールする場合は、以下の節で示す手順に従って、次の操作を行います。

- 最初に、現在ロードされているモデム ドライバをアンインストールします。
- 次に、モデム ドライバをインストールまたはリストア（復元）します。

モデム ドライバのアンインストール（Windows NT 4.0）

以下の手順に従って、モデム ドライバをアンインストールします。

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[アプリケーションの追加と削除]の順に選択します。
2. プログラムのリストから[Compaq 56K (V.90) Mini PCI]を選択します。
3. [追加と削除]ボタンをクリックします。
4. [はい]をクリックして削除を開始します。
5. 削除を完了するために、コンピュータを再起動します。

モデム ドライバの再インストール（Windows NT 4.0）

1. [スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択して、[名前]ボックスに次のように入力します。
C:¥Program Files¥Compaq¥CPQLANModem¥Modem¥Setup
2. [OK]をクリックします。コンピュータがモデム ドライバをコピーするまで、続く画面で[次へ]をクリックします。
3. [終了]をクリックします。
4. コンピュータを再起動します。

ドライバの再インストールまたはアップデート —Windows 2000 Professionalをお使いの場合

重要：Windows 2000 Professionalでモデム ドライバまたはLANドライバのアンインストールまたは再インストールを行うには、Administratorの権限を持つアカウントでWindows 2000 Professionalにログオンする必要があります。

モデム ドライバをアップデートまたは再インストールする場合は、以下の節で示す手順に従って、次の操作を行います。

- 最初に、現在ロードされているモデム ドライバをアンインストールします。
- 次に、モデム ドライバをインストールまたはリストア（復元）します。

モデム ドライバのアンインストール (Windows 2000 Professional)

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[プログラムの変更と削除]の順に選択します。
2. プログラムのリストから[Compaq 56K (V.90) Mini PCI]を選択します。
3. [変更/削除]ボタンをクリックします。
4. [はい]をクリックして削除を開始します。
5. 削除を完了するために、コンピュータを再起動します。

モデム ドライバの再インストール (Windows 2000 Professional)

1. [スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択して、[名前]ボックスに次のように入力します。
C:¥Program Files¥Compaq¥CPQLANModem¥Modem¥Setup
2. [OK]をクリックします。
3. コンピュータを再起動します。

第8章

LANへの接続

(ネットワーク対応モデルの場合)

ネットワーク対応モデルのコンピュータには、以下のような特徴があります。

- 内蔵モデム/NIC(ネットワーク インターフェース カード)コンビネーション カードが装備されています。
- コンピュータの右側面にRJ-45コネクタを備えています。
- お使いのコンピュータにはLAN (ローカル エリア ネットワーク) ドライバがプリインストールされています。このドライバを使用して、コンピュータをLANに接続できます。
- 次の速度のネットワークをサポートしています。
 - 10Mbps (10BaseTネットワークとの接続時)
 - 100Mbps (100BaseTXネットワークとの接続時)
- 内蔵モデムが電話回線に接続しているときでもLANに接続できます。

重要：ネットワーク ドライバをロードしたりネットワークの設定を変更したりする場合は、社内のネットワーク管理者に相談してください。

ネットワーク ケーブルの接続

重要：ノイズを抑制するためのコア①が取り付けられているネットワーク ケーブルもあります。ネットワーク ケーブルのRJ-45コネクタは8ピンのコネクタです。このコアはTVやラジオの電波障害を防止するためのものです。コアが取り付けられている方のケーブルの端をコンピュータ本体に接続してください。

1. コンピュータのRJ-45コネクタに、ネットワーク ケーブル (コンピュータに同梱されていない場合もあります) の一方の端を接続します②。
2. ケーブルのもう一方の端をネットワーク コネクタに接続します③。
3. コンピュータを再起動して、ネットワークに接続します。



LAN接続のオン/オフ

作業に応じてLAN接続のオン/オフを切り替えると、電力を節約することができます。

■ LAN接続をオフにするには—

1. ネットワークからログオフします。
2. ネットワーク ケーブルを取り外します。

■ LAN接続をオンにするには—

1. ネットワーク ケーブルを接続します。
2. ネットワークにログオンします。

コンピュータの起動時におけるネットワークへのアクセス

ネットワーク対応モデルのコンピュータは、PXE（Preboot eXecution Environment）とRPL（Remote Program Load）の両方のプリブート ネットワーク プロトコルをサポートしています。

コンピュータの起動時に、PXEサーバまたはRPLサーバに接続するには：画面の右下隅に「Network Service Boot」というメッセージが一時的に表示されたら[F12]キーを押します。

コンピュータの起動時に、PXEサーバまたはRPLサーバに接続するように設定するには：第5章の「マルチブートによるブート シーケンスの変更」の項目を参照してください。

ドライバの再インストールまたはアップデート —Windows 95またはWindows 98をお使いの場合

モデム ドライバおよびLANドライバをアップデートまたは再インストールする場合は、以下の節で示す手順に従って、次の操作を行います。

- 最初に、現在ロードされているモデム ドライバをアンインストールします。
- 次に、現在ロードされているLANドライバをアンインストールします。
- 次に、LANドライバをインストールまたはリストア（復元）します。
- 最後に、モデム ドライバをインストールまたはリストア（復元）します。

インストールまたはリストア（復元）が終了したら、ネットワーク プロトコルを確認することをおすすめします。

モデム ドライバとLANドライバのアンインストール (Windows 95またはWindows 98)

- モデム ドライバのアンインストール
 1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[アプリケーションの追加と削除]の順に選択して、[セットアップと削除]（Windows 95）または[インストールと削除]（Windows 98）を選択します。
 2. プログラムのリストから[Compaq 56K (V.90) Mini PCI]を選択します。

3. [追加と削除]ボタンをクリックします。
4. [はい]をクリックして削除を開始します。
5. システムを再起動するかを尋ねるメッセージが表示されたら、[いいえ]をクリックして、LANドライバのアンインストールを開始します。

■ LANドライバのアンインストール

1. [セットアップと削除]タブ（Windows 95）または[インストールと削除]タブ（Windows 98）で、プログラムのリストから[Intel (R) PRO Ethernet Adapter and Software]を選択します。
2. [追加と削除]ボタンをクリックします。
3. [OK]をクリックして削除を開始します。
4. コンピュータを再起動して、モデム ドライバのインストールを開始します。

LANドライバとモデム ドライバの再インストール (Windows 95またはWindows 98)

■ LANドライバの再インストール

コンピュータを起動すると、新しいハードウェアとして[PCI Ethernet Controller]が検出されたことを示すダイアログ ボックスが表示されます。

1. ダイアログ ボックスで[次へ]をクリックします。ドライバの場所を尋ねるメッセージが表示されるまで、続く画面でも[次へ]をクリックします。
2. ドライバの場所を尋ねるメッセージが表示されたら、次のように入力してIntel PRO/100+ MiniPCI用のドライバのフォルダを指定します。

C:\Program Files\Compaq\CPQLANModem\Network

3. [次へ]をクリックします。コンピュータがLANファイルをコピーするまで、続く画面でも[次へ]をクリックします。
4. 操作を続行するには、[終了]をクリックします。
5. LANドライバのインストールを完了するために、コンピュータを再起動します。

■ モデム ドライバの再インストール

コンピュータを再起動すると、新しいハードウェアとして[PCI Serial Controller]が検出されたことを示すダイアログ ボックスが表示されます。

1. ダイアログ ボックスで[次へ]をクリックします。ドライバの場所を尋ねるメッセージが表示されるまで、続く画面でも[次へ]をクリックします。
2. ドライバの場所を尋ねるメッセージが表示されたら、次のように入力してCompaq 56K (V.90) Mini PCI用のドライバのフォルダを指定します。

C:¥Program Files¥Compaq¥CPQLANModem¥Modem

3. [次へ]をクリックします。コンピュータがモデム ドライバをコピーするまで、続く画面でも[次へ]をクリックします。
4. モデム ドライバのインストールを完了するために、[終了]をクリックします。

注：モデム ドライバをインストールした後に、コンピュータを再起動する必要はありません。

ネットワーク プロトコルの確認 (Windows 95またはWindows 98)

LANドライバおよびモデム ドライバを再インストールした後に、ネットワーク プロトコルの設定を確認することをおすすめします。

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択します。[ネットワーク]をダブルクリックして、[ネットワークの設定]タブを選択します。
2. インストールされているネットワーク コンポーネントのリストに、使用したいプロトコルが含まれていることを確認します。

注：ネットワーク プロトコルの追加に関する情報については、お使いのオペレーティング システムに付属のマニュアルを参照してください。

ドライバの再インストールまたはアップデート —Windows NT 4.0をお使いの場合

重要: Windows NT 4.0でモデム ドライバまたはLANドライバのアンインストールまたは再インストールを行うには、Administratorの権限を持つアカウントでWindows NTにログオンする必要があります。

モデム ドライバおよびLANドライバをアップデートまたは再インストールする場合は、以下の節で示す手順に従って、次の操作を行います。

- 最初に、現在ロードされているモデム ドライバをアンインストールします。
- 次に、現在ロードされているLANドライバをアンインストールします。
- 次に、必要に応じてWindows NTネットワークを再インストールします。
- 次に、LANドライバをインストールまたはリストア（復元）します。
- 最後に、モデム ドライバをインストールまたはリストア（復元）します。

モデム ドライバとLANドライバのアンインストール (Windows NT 4.0)

- モデム ドライバのアンインストール
 1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択して、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
 2. プログラムのリストから[Compaq 56K (V.90) Mini PCI]を選択します。
 3. [追加と削除]ボタンをクリックします。
 4. [はい]をクリックして削除を開始します。
 5. システムを再起動するかを尋ねるメッセージが表示されたら、[いいえ] をクリックします。
 6. [OK]をクリックして[アプリケーションの追加と削除]ウィンドウを閉じます。

■ LANドライバのアンインストール

1. [コントロール パネル]ウィンドウで、[ネットワーク]をダブルクリックして、[アダプタ]タブを選択します。
2. [Intel PRO/100+ Mini PCI]を選択して、[削除]をクリックします。
3. [はい]をクリックして操作を続行します。
4. [はい]をクリックしてファイルの削除を開始します。
5. コンピュータを再起動します。

Windows NTネットワークの再インストール (Windows NT 4.0)

LANドライバの再インストールが必要になった場合、Windows NTネットワークの再インストールも必要になることがあります。

Windows NTネットワークを再インストールする必要があるかを確認するには、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択して、[ネットワーク]をダブルクリックします。

- Windows NTネットワークのインストールを促すメッセージが表示されなかった場合：後述の「LANドライバの再インストール (Windows NT 4.0)」の項目の手順に従って操作します。
- Windows NTネットワークのインストールを促すメッセージが表示された場合：[はい]をクリックして、次の手順に従って操作します。

以下の手順に従って、Windows NTネットワークをインストールします。

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択して、[ネットワーク]をダブルクリックします。
2. Windows NTネットワークをインストールするかを尋ねるメッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。
3. [ネットワークに接続]を選択して、[次へ]をクリックします。
4. [一覧から選択]ボタンをクリックします。
5. [ディスク使用]ボタンをクリックします。
6. ドライバの場所を尋ねるメッセージが表示されたら、次のように入力してIntel PRO/100+ Mini PCI用のドライバのフォルダを指定します。
C:\Program Files\Compaq\CPQLANModem\Network
7. [OK]をクリックします。
8. [Intel PRO Adapter]を選択します。

9. [OK]をクリックします。
10. [次へ]をクリックします。
11. お使いのLAN環境に適応するネットワーク プロトコルを選択して、[次へ]をクリックします。
12. お使いのLAN環境に適応するネットワーク サービスを選択して、[次へ]をクリックします。ドライブの場所を尋ねるメッセージが表示されるまで、続く画面でも[次へ]をクリックします。
13. ドライブの場所を尋ねるメッセージが表示されたら、Windows NT 4.0 オペレーティング システムのドライブの場所を入力します。たとえば、Windows NT 4.0がハードドライブ上にある場合は、「C:¥i386」と入力します（ハードドライブがCドライブの場合）。
14. お使いのLAN環境に適応するバインドを選択して、[次へ]をクリックします。コンピュータ名とワークグループ/ドメイン情報を尋ねるメッセージが表示されるまで、続く画面でも[次へ]をクリックします。
15. コンピュータ名とワークグループ/ドメイン情報を尋ねるメッセージが表示されたら、お使いのLAN環境におけるコンピュータ名とワークグループ/ドメイン情報を入力して、[次へ]をクリックします。
16. [終了]をクリックします。
17. コンピュータを再起動します。

モデム ドライバとLANドライバの再インストール（Windows NT 4.0）

■ LANドライバの再インストール

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順に選択して、[ネットワーク]をダブルクリックします。
2. [アダプタ]→[追加]→[ディスクの使用]の順に選択します。
3. Intel PRO/100+ Mini PCI用のドライバの場所を尋ねるメッセージが表示されたら、次のように入力して、[OK]をクリックします。
C:¥Program Files¥Compaq¥CPQLANModem¥Network
4. [Intel PRO Adapter]→[OK]の順に選択します。
5. お使いのLAN環境に適応するプロパティを選択して、[OK]をクリックします。
6. コンピュータを再起動します。

■ モデム ドライバの再インストール

1. [スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択して、[名前]ボックスに次のように入力します。

C:¥Program Files¥Compaq¥CPQLANModem¥Modem¥Setup

2. [OK]をクリックします。操作が終了するまで、続く画面で[次へ]をクリックします。
3. [終了]をクリックします。
4. コンピュータを再起動します。

ドライバの再インストールまたはアップデート —Windows 2000 Professionalをお使いの場合

重要：Windows 2000 Professionalでモデム ドライバまたはLANドライバのアンインストールまたは再インストールを行うには、Administratorの権限を持つアカウントでWindows 2000 Professionalにログオンする必要があります。

モデム ドライバおよびLANドライバをアップデートまたは再インストールする場合は、以下の節で示す手順に従って、次の操作を行います。

- 最初に、現在ロードされているモデム ドライバをアンインストールします。
- 次に、LANドライバをインストールまたはリストア（復元）します。
- 最後に、モデム ドライバをインストールまたはリストア（復元）します。

モデム ドライバのアンインストール（Windows 2000 Professional）

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[プログラムの変更と削除]の順に選択します。
2. プログラムのリストから[Compaq 56K (V.90) Mini PCI]を選択します。
3. [変更/削除]ボタンをクリックします。
4. [はい]をクリックして削除を開始します。
5. システムを再起動するかを尋ねるメッセージが表示されたら、ここでは[いいえ]を選択して次の手順に進みます。

LANドライバとモデム ドライバの再インストール (Windows 2000 Professional)

■ LANドライバの再インストール

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]→[ハードウェア]→[デバイス マネージャ]の順に選択して、[ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。
2. [Intel(R) PRO/100+MiniPCI]をダブルクリックします。
3. [ドライバ]タブで[ドライバの更新]をクリックして[デバイス ドライバのアップグレード ウィザード]を起動します。
4. [次へ]をクリックします。
5. [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]をクリックします。
6. [次へ]をクリックします。
7. [Intel(R) PRO/100+MiniPCI]を選択して[ディスク使用]を選択します。
8. ドライバのパスを入力して[OK]をクリックします。
注：プリインストール イメージでは、**C:¥Program Files¥Compaq¥CPQLANModem¥Network**を指定します。
9. [Intel(R) PRO/100+MiniPCI]を選択してから[次へ]をクリックします。
10. ドライバのアップデートに関するメッセージが表示されたら[はい]をクリックします。
11. [次へ]をクリックします。
12. [完了]をクリックします。
13. [閉じる]をクリックします。
14. [はい]をクリックしてコンピュータを再起動します。

■ モデム ドライバの再インストール

1. [スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択して、[名前]ボックスに次のように入力します。
C:¥Program Files¥Compaq¥CPQLANModem¥Modem¥Setup
2. [OK]をクリックします。
3. コンピュータを再起動します。

メモリの増設

RAMの管理

- お使いのコンピュータに搭載されているRAM（Random Access Memory）の容量を表示するには、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Compaq Diagnostics]の順に選択します。
- 別売のメモリ拡張ボードを追加することで、RAMを増設できます。お使いのコンピュータで使用可能なメモリ拡張ボードについては、コンパック製品販売店にお問い合わせください。
- RAMを増設すると、ハードドライブ上のハイバネーション ファイルのサイズも増加します。Windows 98およびWindows 2000 Professionalではハイバネーション ファイルのサイズの増加がオペレーティング システムにより管理されます。Windows 95またはWindows NT 4.0で、RAMを増設した後にハイバネーションが正しく機能しなくなった場合は、ハイバネーション ファイルに必要な十分な空き容量がハードドライブにあるか確認してください。
- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[パワー マネージメント]→[ハイバネーション]の順に選択して、ハイバネーション ファイルのサイズを確認します。
- [マイ コンピュータ]を選択し、ハードドライブを右クリックして[プロパティ]を選択すると、ハードドライブの空き容量を確認できます。

メモリ拡張ボードの着脱



警告: メモリ コンパートメントおよびリアルタイム クロック バッテリーのコンパートメント以外の内部コンパートメントは、お客様ご自身ではアップグレードなどの作業は行えません。メモリ コンパートメント以外のコンパートメントに対して作業を行う必要がある場合には必ずコンパック正規保守代理店にご依頼ください。



警告: 感電や装置の損傷を防ぐため、メモリ拡張ボードを取り付ける前に、電源コードとすべてのバッテリー パックをコンピュータから取り外してください。



注意: 静電気 (ESD) によって電子部品が損傷することがあります。この作業を始める前に、正しくアースして衣類などにたまった静電気を放電してください。詳細については、「付録C 静電気対策」を参照してください。

キーボードの取り外し

メモリ拡張スロットにアクセスするには、キーボードを取り外す必要があります。

1. コンピュータの電源を切ります。

注: コンピュータがハイバネーション状態でないことを確実にするには、コンピュータの電源をいったん入れてから電源を切ってください。

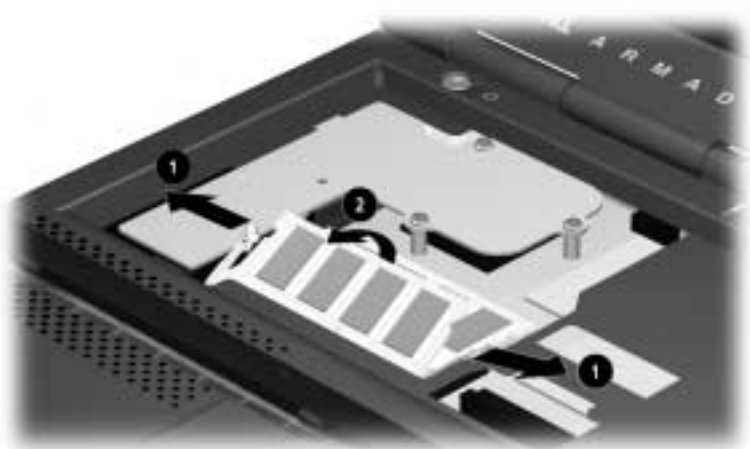
2. コンピュータに接続されているすべての外部装置を外します。
3. コンピュータからACアダプタとバッテリー パックを取り外します。

4. 4つのキーボード リリース タブ①を押し込んで、キーボードを外します。
5. キーボードを引き上げます②。



メモリ拡張ボードの取り外し

1. メモリ拡張ボードを取り外すには、メモリ拡張ボードの両側にあるプラスチック製の止め具を左右に引っ張ります①。メモリ拡張ボードが少し上に出てきます②。
2. メモリ拡張ボードの端（コネクタの反対側）を45度の角度になるまで起こしたら、そのまま45度上に引き抜いて取り外し、静電気の影響を受けない容器に保管します。

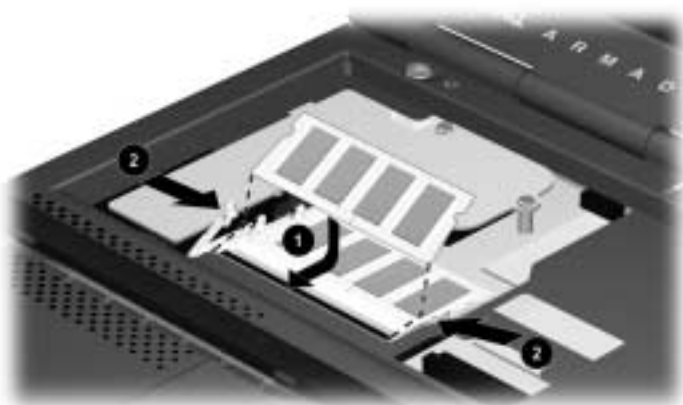


メモリ拡張ボードの取り付け

1. 空いているスロットにメモリ拡張ボードを45度の角度でゆっくりと差し込みます❶。

注：メモリ ボードは左右対称ではありません。切り込みの位置を確認して正しい向きで差し込んでください。

2. ボードを保持するクリップで固定されるまでメモリ ボードを下向きに押し下げます❷。



キーボードの取り付け

1. キーボードをコンピュータ本体にあわせて元どおりにかぶせたら①、4つのタブを元の位置に戻します②。



2. 外部装置および電源コードを含むすべてのケーブルを接続しなおし、コンピュータの電源を入れます。

第10章

オーディオ機能およびビデオ機能の使用

内蔵マイクと内蔵スピーカの使用

- 内蔵マイク①は、-50dBの標準的な感度を備えており、ディスプレイを閉じているときも使用できます。
- 内蔵スピーカ②は、マルチメディア アプリケーション向けのオーディオ再生機能を提供します。コンピュータを別売の拡張ベースに装着すると、コンピュータ本体の内蔵スピーカは無効になり、拡張ベースのスピーカが有効になります。



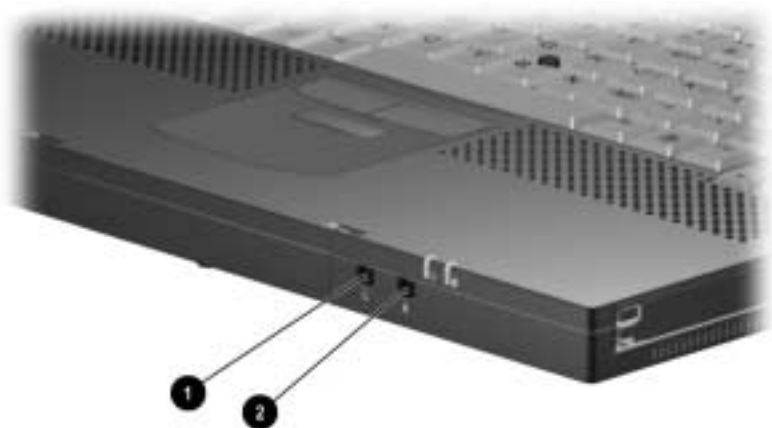
外付けオーディオ機器の接続



注意：外付け機器の損傷を防ぐため、モノラル コネクタをステレオ スピーカ/ヘッドフォン コネクタに接続しないでください。

オーディオ コネクタの選択

接続機器	使用するコネクタ
ステレオ スピーカ、ヘッドフォン、ヘッドセット、およびテレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビジュアル機器	① ステレオ スピーカ/ヘッドフォン コネクタ
モノラル マイク	② マイク コネクタ



マイク コネクタへのデバイスの接続

マイク コネクタは、3.5mmプラグのモノラル マイクをサポートしています。電源付きのモノラル コンデンサ マイクをおすすめします。

- ステレオ マイクを使用すると、左チャンネルの音声のみ録音されます。
- ダイナミック マイクを使用すると、感度が不足して明瞭に録音できません。

コンピュータに外付けマイクが接続されると、コンピュータ本体の内蔵マイクは無効になります。

ステレオ スピーカ/ヘッドフォン コネクタへの デバイスの接続



警告:突然大きな音が出て耳を痛めることがないように、ヘッドフォンを使用する前に音量の設定を下げてください。

- 3.5mmのステレオ プラグを使用してください。最高の音質を得るために、次の機器を使用してください。
 - 32Ωのヘッドフォン
 - 少なくとも8Ωの外付けスピーカ
- ステレオ スピーカ/ヘッドフォン コネクタに外付けオーディオ機器を接続すると、コンピュータ本体の内蔵スピーカは無効になります。

音量の調節

キーボードのホットキーを使用して、コンピュータのシステム音量を調節できます。

- 音量を調節する場合 : [Fn]+[F5]ホットキーを押してから、画面上のスライドバーを使用するか、キーボードの上下のカーソル キーを押します。
- 音を消す（ミュートする）または音を元に戻す（ミュートを解除する）場合 :
 - [Fn]+[F5]+[M]ホットキーを押す
 - [Fn]+[F5]ホットキーを押してから[ミュート]チェックボックスをオンまたはオフにする

注 : システム音量および個々の装置の音量は、Windowsオペレーティングシステムや音量調節機能を備えたソフトウェアで調節することもできます。詳しくは、オペレーティング システムまたはお使いになるソフトウェアのマニュアルやオンライン ヘルプを参照してください。

外付けビデオ装置の接続

- コンポジットTV出力コネクタでは、以下の装置および機能をサポートしています。
- テレビ、ビデオ デッキ、ビデオ カメラ、OHP、またはビデオ キャプチャ カードなど、標準のコンポジット ビデオ コネクタからのビデオ入力をサポートするすべての装置
- ビデオ（映像）信号のみを出力。DVDムービーをテレビで観る場合のように、映像と音声の両方が必要な場合は、オーディオ装置をステレオ スピーカ/ヘッドフォン コネクタに接続してください。
- コンピュータがサポートする装置：コンポジットTV出力コネクタに接続されたビデオ装置1台と、コンピュータ本体のディスプレイおよびコンピュータがサポートしている外付けディスプレイの計3個所に同時に映像を表示することができます。

コンポジットTV出力コネクタへの装置の接続

注：コンポジットTV出力コネクタからのビデオ信号を外付け装置に送るには、RCA方式のテレビ信号ケーブルが必要です。このケーブルはお近くの家電製品の販売店で購入できます。

コンポジットTV出力コネクタにビデオ装置を接続するには、RCA方式のテレビ信号ケーブルの一方の端をまずコンピュータの出力コネクタに接続します。次にもう一方の端を接続する装置の取扱説明書の指示に従って装置に接続します。



ビデオ モードの変更

注：カラー テレビの標準モードは、同じ地域内でも異なる場合があります。日本ではNTSC-Jが標準モードです。北アメリカでは一般的にNTSC、ヨーロッパ、アフリカ、および中東ではPAL、そしてブラジルではPAL-Mが標準モードです。ブラジル以外の中南米諸国では、NTSC、PAL、またはPAL-Mのどれかが使用されています。

カラー テレビの標準モードを工場出荷時に設定されているNTSCから他のモードに変更するには、以下の手順で操作します

1. コンピュータの電源を入れるか再起動して、画面の右上隅でカーソルが点滅したら[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更するには[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示するには[F1]キーを押します。
2. [Advanced] (詳細設定) → [Device Options] (デバイス オプション) の順に選択して[Enter]キーを押します。
3. 適切な設定に変更したら、[F10]キーを押します。
4. 新しい設定が保存して[Computer Setup] (コンピュータのセットアップ) ユーティリティを終了するには、[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択して、[Enter]キーを押します。
5. 確認のメッセージが表示されたら[F10]キーを押します。

ビデオ機能の設定

ビデオ機能の設定方法については、オンライン ヘルプを参照してください。オンライン ヘルプを表示させるには、以下の手順で操作します。

- Windows 95またはWindows NT 4.0をお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[ディスプレイ]→[ATI Display]→[ヘルプ]の順に選択します。
- Windows 98またはWindows 2000 Professionalをお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[画面]→[設定]→[詳細]→[画面]→[ヘルプ]の順に選択します。

第11章

PCカードの使用

PCカードとは、クレジットカードくらいの大きさの周辺機器で、PCMCIA（Personal Computer Memory Card International Association）の標準仕様に準拠しています。お使いのコンピュータでは、32ビット（CardBus）および16ビットのPCカードの両方をサポートしています。

CardWareのインストール（Windows NT 4.0をお使いの場合）

コンパックから提供する Unicore Software の CardWare をお使いのコンピュータのハードドライブからインストールできます。

- コンパックが提供する CardWare をインストールした場合：
 - すべての PC カードのプラグ アンド プレイ機能をサポートします。
 - この章の次の項目以降の説明がすべて適用されます。
- コンパックが提供する CardWare をインストールしなかった場合：
 - どの PC カードのプラグ アンド プレイ機能もサポートされません。
 - 他社製の PC カードで提供されているカード サービス、ソケット サービス、またはイネーブラを使用できます。
 - この章の次の項目以降の説明が適用されないこともあります。

コンパックが提供する CardWare をインストールするには、[スタート]→[プログラム]→[CardWare Setup]（CardWare のセットアップ）→[Install CardWare]（CardWare のインストール）の順に選択して、画面の指示に従って操作します。

PCカード スロットの選択

PCカードは、Type I、Type II、およびType IIIの3種類に分類されます。カードの幅と長さはすべてほぼ同じですが、厚みが異なります。Type IIIカードが一番厚く、10.5mmあります。

コンピュータには、PCカード スロットが2基装備されています。これらのスロットは機能が異なります。

- Type IやType IIのカードを使う場合は、上下どちらのスロットにでも挿入できます。1枚だけ装着することも、2枚同時に装着することもできます。
- Type IIIのカードを使う場合は、下側のスロットに挿入してください。この時、上のスロットに他のカードは挿入できません。

注：Windows NT 4.0は、ZV（Zoomed Video）PCカードをサポートしていません。

PCカードの設定



注意：Windows 95、Windows 98、Windows 2000 Professional、またはコンパックが提供するCardWareをインストールしたWindows NT 4.0をお使いの場合、他社製のカード サービスやソケット サービス ソフトウェアまたはイネーブラをインストールすると、他のPCカードが正常に動作しなくなる場合があります。

- お使いのオペレーティング システムに適したドライバだけをインストールしてください。
- カード サービスやソケット サービス ソフトウェアおよびイネーブラはインストールしないでください。

- Windows 95、Window 98、またはWindows 2000 Professionalをお使いの場合、オペレーティング システムによりプラグ アンド プレイ対応PCカードの設定は自動的に行われます。
- コンパックが提供するCardWareをインストールしたWindows NT 4.0をお使いの場合、CardWareウィンドウを使用してPCカードを設定できます。
 1. PCカードを挿入します。
 2. [スタート]→[プログラム]→[CardWare]の順に選択します。詳しい設定方法については、CardWareのヘルプを参照してください。

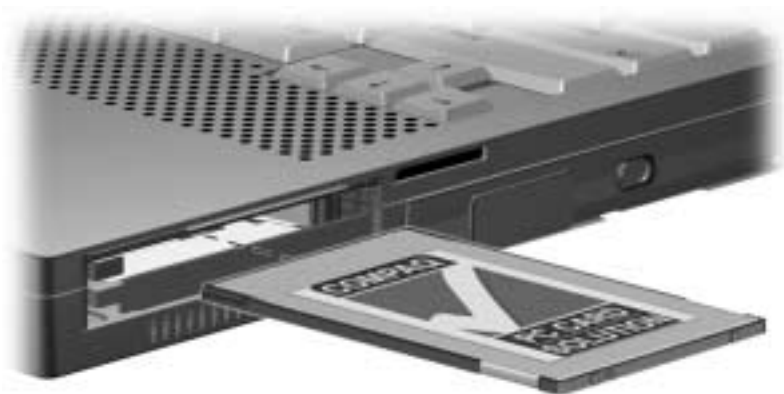
PCカードの挿入



注意：PCカードを無理にスロットに挿入すると、コネクタ ピンが壊れることがあります。スロットにカードを入れるときには、無理な力を加えないでください。

注：Windows 95、Windows 98、Windows 2000 Professional、またはコンパックが提供するCardWareをインストールしたWindows NT 4.0をお使いの場合は、PCカードに付属の説明書に特に断り書きがない限り、カードを挿入する前にコンピュータの電源を切る必要はありません。

1. ラベル側を上にしてPCカードを持ちます。
2. PCカードの68ピン コネクタ側をPCカード スロットに向けて、ゆっくりと挿入します。
3. コンパックが提供するCardWareをインストールしたWindows NT 4.0をお使いの場合、PCカードに付属の説明書または画面の指示に従って、必要に応じてコンピュータを再起動します。



PCカードの取り出し

- まず最初にPCカードを取り出す準備をします。

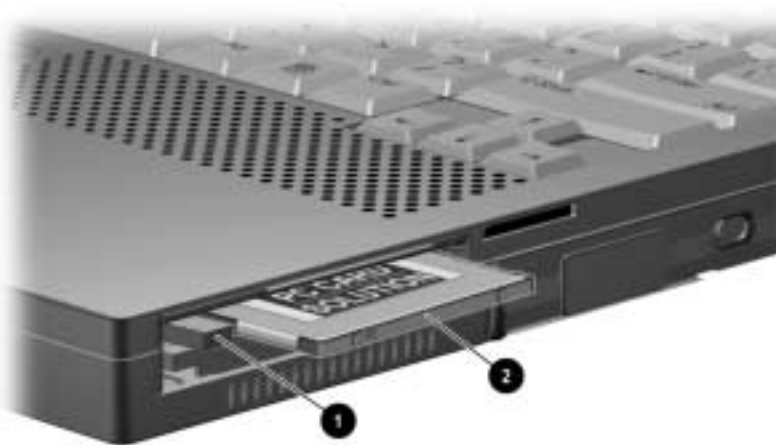


注意：Windows 95、Windows 98、またはWindows 2000 Professionalをお使いの場合は、PCカードやコンピュータの損傷を防ぐため、PCカードを取り出す前にPCカードを終了してください。

- Windows 95、Windows 98、またはWindows 2000 Professionalをお使いの場合は、タスクバーのPCカード アイコンまたは[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンをダブルクリックします。終了するPCカードを選択して、[終了]または[停止]をクリックします。取り出し可能になったことを知らせるメッセージが表示されます。
- Windows NT 4.0をお使いの場合は、PCカードを取り出す前にコンピュータの電源を切ってください。PCカードを取り出す準備作業について詳しくは、カードに付属の説明書を参照してください。
- 次に、以下の手順に従って、PCカードを取り出します。

1. 対応するスロットのPCカード イジェクト ボタンを押します①。
2. PCカードを取り出します②。

注：取り出したPCカードが熱く感じても、PCカードの異常や故障ではありません。



第12章

赤外線ポートの使用

赤外線通信

- Windows 98、Windows 2000 Professional、または出荷時にプリインストールされていたWindows 95はIrDA 4Mbpsに対応しており、他のIrDA対応の赤外線通信機能を備えた装置と赤外線を使用して通信できます。
- 赤外線通信は、
 - 下の図の赤外線ポートを通じて行われます。
 - 標準の状態ではWindows NT 4.0ではサポートされていません。Windows NT 4.0で赤外線通信を行う場合は、市販のソフトウェアを購入する必要があります。



注：赤外線ポートは、最大115 Kbpsまでの低速通信および4 Mbpsまでの高速通信をサポートしています。赤外線接続のパフォーマンスは、接続する装置の性能、装置間の距離、および使用するアプリケーションによって異なります。

赤外線ポートの設定

赤外線通信ソフトウェアを設定する場合は、以下の情報を参照してください。

- Windows 95またはWindows 98をお使いの場合：
 - デフォルト設定では、赤外線ポートは、ポート：COM4、アドレス：3、割込み要求（IRQ）：3となっています。
 - [ケーブル接続]を使用する場合は、赤外線接続用のポートに[COM4上のシリアル ケーブル]を選択します。また、Windows 98または出荷時にプリインストールされていたWindows 95をお使いの場合は、[LPT3上のパラレル ケーブル]を選択します。
- プリインストールされていたWindows 2000 Professionalをお使いの場合：
 - デフォルト設定では、赤外線ポートは、DMA：5、I/Oアドレス：03E8h～03EFh、割込み要求（IRQ）：3となっています。
 - [ケーブル接続]を使用する場合は、必要に応じて赤外線接続用のポートに[赤外線ポート（IRDA0-0）]を選択します。

赤外線ポートの有効化

Windows 95をお使いの場合は、コンピュータの電源を入れたり再起動したりするたびに赤外線ポートを有効にする必要があります。赤外線ポートを有効にするには、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[赤外線モニター]の順に選択します。

Windows 98をお使いの場合は、赤外線ポートはデフォルトで起動時に有効になります。

Windows 95またはWindows 98のどちらをお使いの場合でも、赤外線ポートが有効のときは、タスクバーに赤外線アイコンが表示されます。また、デフォルトで[赤外線モニター]のデバイスの検索機能が有効になります。

- [赤外線モニター]のデバイスの検索機能を有効にした場合
 - 赤外線通信機能を使用できます。
 - タイムアウトが経過してもサスペンド（スタンバイ）は自動的に起動されません。ただし、ユーザが起動することはできます。

- **[赤外線モニター]**のデバイスの検索機能を無効にした場合
 - 電力が節約されます。
 - 赤外線通信機能を使用できなくなります。
 - タイムアウトが経過すると自動的にサスペンド（スタンバイ）が起動されます（省電力機能で設定してある場合）。
- **[赤外線モニター]**のデバイスの検索機能の有効/無効を切り替えるには、次の手順で操作します。
 1. タスクバーから**[赤外線]**アイコン→**[オプション]**タブの順に選択して、**[赤外線モニター]**ダイアログ ボックスを開きます。
 - 有効にする場合は、**[範囲内のデバイスの検索と状況の報告を行う]**チェックボックスをチェックします。
 - 無効にする場合は、**[範囲内のデバイスの検索と状況の報告を行う]**チェックボックスのチェックを外します。
 2. 設定を保存して、**[オプション]**ダイアログ ボックスを閉じるには、**[OK]**をクリックします。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、赤外線ポートはデフォルトで起動時に有効になります。システムまたはユーザがスタンバイを起動すると、赤外線接続ができなくなったり中断されたりします。スタンバイを終了して赤外線接続を開始または再開するには、サスペンド ボタンを押してください。

赤外線接続時の注意点

赤外線接続では、不可視光線である赤外線を利用して他の赤外線通信機能を備えた装置と通信します。赤外線接続を行う場合は、それぞれの機器のポートの向きや距離など、以下の点を確認してください。

- それぞれの機器の赤外線ポートを0.5m以内で向き合わせてください。
- それぞれの機器のポートが平行になるように向き合わせてください。
ポートどうしを30° 以上（中心線から±15° 以上）ずらさないでください。
- 赤外線ポートの間には何も置かないでください。
- 直射日光や蛍光灯、懐中電灯などの光が赤外線ポートに直接当たらないようにしてください。
- データ転送中は以下の点に注意してください。
 - オーディオ機器のリモコンやワイヤレス ヘッドフォンなどを赤外線ポートに向けないでください。
 - 赤外線をさえぎらないようにしてください。
 - それぞれの装置を移動させないでください。

インテリジェント マネジメント機能

インテリジェント マネジメント機能は、コンピュータの監視、トラブルシューティング、機密保護、保守の各作業を支援するツールです。

インテリジェント マネジメント機能には、[Insightマネジメント エージェント]、[Compaq Diagnostics]、[Computer Setup]、[Compaqコンピュータ セキュリティ]などの各ユーティリティがあり、次のような機能を実現します。

- **資産管理機能**—コンピュータのコンフィギュレーションと診断に関する詳細な情報を提供します。
- **障害管理機能**—予測されるハードウェアの障害について警告を出して、ハードウェアの障害の発生を未然に防ぎます。
- **セキュリティ機能**—コンピュータやデータへの不正なアクセスを防ぎます。
- **コンフィギュレーション管理機能**—最新のドライバ、ユーティリティ、ソフトウェアを提供して、コンピュータを最適化します。

Insightマネジメント エージェントのセットアップ

Insightマネジメント エージェントをセットアップする場合：Windowsのデスクトップ上にあるInsightマネジメント エージェントのセットアップ用アイコンを実行してください。

Insightマネジメント エージェントの使用方法など詳細情報を参照する場合：[スタート]→[Compaqインフォメーション センター]→[インテリジェント マネジメント機能]の順に選択します。

障害管理機能の使用

障害通知の概要

障害管理機能は、システムのダウンやデータの損失を最小限に抑えるためにハードウェアを監視し、以下のように障害を予測して通知するユーティリティです。

- **ハードドライブの異常検出**：ハードドライブの障害を予測し、最長72時間前に警告を通知します。また、オプションのバックアップ ソフトウェアを自動的に起動できます。
- **温度異常検出**：システムの内部温度を監視し、通常の範囲を超えると警告を通知します。まずファンやCPUの回転数などを調節し、次にメッセージを表示して、さらに必要であればシステムをシャットダウンします。
- **バッテリー パックの異常検出**：バッテリー パックの障害について通知します。
- **モニタの異常検出**：外付けモニタに関する問題を診断および表示します。
- **メモリの異常検出**：メモリ ボードの取り外し、取り付け、または再構成など、メモリ ボードのコンフィギュレーションの変更について通知します。変更点が確認できるように、以前のコンフィギュレーションと現在のコンフィギュレーションの両方が表示されます。

障害通知の設定

障害通知はコンピュータの画面に表示されます。コンピュータがネットワークに接続されている場合、警告メッセージはネットワーク コンソールにも送られます。

障害通知は[アラートのプロパティ]ウィンドウで設定します。

- [アラートのプロパティ]にアクセスするには、システム トレイの [Compaqインテリジェント マネージメント機能]アイコンをダブルクリックします。
- 操作など詳しい情報は、[アラートのプロパティ]ウィンドウで[ヘルプ]をクリックすると表示されます。
- ネットワーク環境での障害通知の設定方法については、[スタート]→[Compaqインフォメーション センター]の順に選択して表示されるインテリジェント マネジメント機能に関する情報を参照してください。

[COMPUTER SETUP]と診断用ユーティリティ

[Computer Setup]と[Compaq Diagnostics]の選択

コンピュータには、次の2種類のシステム管理ユーティリティがあります。

- [Computer Setup]は、システム情報の表示およびコンフィギュレーションを行うユーティリティで、オペレーティング システムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。
- [Compaq Diagnostics]は、システム情報の表示および診断を行うユーティリティで、Windowsのオペレーティング システム上で機能します。このユーティリティを使用して、いつでも以下の作業を行うことができます。

- システム情報を表示する
- システムのコンポーネントをテストする
- Windowsをお使いの場合に、デバイスの構成に関する問題を解消するための情報を表示する

注：コンピュータのUSBコネクタまたは別売のドッキング ベースのUSBコネクタに接続された装置は、コンフィギュレーションする必要がありません。

[Computer Setup]の使用

[Computer Setup]の[File]（ファイル）、[Security]（セキュリティ）、[Advanced]（詳細設定）の3つのメニューから情報および設定にアクセスできます。

1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。画面の右上隅でカーソルが点滅したら、[F10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[F2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[F1]キーを押します。
 - [Computer Setup]の初期メニューに戻るには、[Esc]キーを押します。
2. [File]、[Security]、または[Advanced]メニューを選択します。
3. 次のどちらかの方法で、[Computer Setup]を終了して、コンピュータを再起動します。
 - [File]→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択して、[Enter]キーを押します。
 - [File]→[Ignore Changes and Exit]（変更せずに終了）の順に選択して、[Enter]キーを押します。
4. 選択の確認を求める画面が表示されたら、[F10]キーを押します。

[File]メニューの選択

項目	設定内容
System information	■ コンピュータ、ドッキング ベース、およびバッテリー バックについての情報を表示します ■ プロセッサ、メモリ、キャッシュ サイズ、およびシステムROMについての情報を表示します
Save to floppy	フロッピーディスクにシステム コンフィギュレーション設定を保存します
Restore from floppy	フロッピーディスクからシステム コンフィギュレーションをリストア（復元）します
Restore defaults	[Computer Setup]の設定を工場出荷時の設定に戻します（識別情報は失われません）
Ignore changes and exit	現在までに行った変更をキャンセルして、[Computer Setup]を終了し、コンピュータを再起動します
Save changes and exit	変更を保存し、[Computer Setup]を終了して、コンピュータを再起動します

[Security]メニューの選択

注：[Security]メニューで選択可能なセキュリティ機能について詳しくは、CDに収録されている『リファレンス ガイド』の第6章を参照してください。

項目	設定内容
Setup Password	Setup password（セットアップ パスワード）を入力、変更、または削除します
Power On Password	Power-on password（電源投入時パスワード）を入力、変更、または削除します
DriveLock Password	DriveLock（ドライブロック）を有効/無効にします。 DriveLockのuser password（ユーザ パスワード）またはmaster password（マスタ パスワード）を変更します 注：Windowsの再起動時に[Computer Setup]ユーティリティを起動すると、DriveLockを設定できません。 電源をいったん切ってから入れなおして、[Computer Setup]ユーティリティを起動してください。
Password options	次の機能を有効/無効にします 注：Password optionsは、Power-on passwordを設定している場合にのみ選択できます
	■ QuickLock（クイックロック） ■ QuickLock on Suspend（サスペンド（スタンバイ）時のクイックロック） ■ QuickBlank（クイックブランク） ■ QuickLock on system startup（システム起動時のクイックロック） 注：QuickLockが有効になっていないと、QuickLock on SuspendやQuickBlankを有効にできません
Device security	次のデバイスや機能を有効/無効にします ■ ポートまたはフロッピーディスク ドライブ* ■ フロッピーディスク ドライブの書き込み* ■ CD-ROMまたはフロッピーディスク ドライブの起動 注：DVD-ROMドライブの設定には[CD-ROM]オプションを使用します
System IDs	コンピュータ、ドッキング ベース、およびバッテリーパックの識別番号を入力します
* スーパーディスク ドライブには設定できません。	

[Advanced]メニューの選択

項目	設定内容
Language (または[F2] [Computer Setup]ユーティリティの言語を変更します キーを押す)	
Boot Options	次の機能を有効/無効にします ■ QuickBoot (クイックブート) — 起動時にいくつかのテストを省略することでコンピュータの起動時間を短縮します (メモリが破損している恐れがあり、起動時にメモリを自動的にテストしたい場合はクイックブートを無効にします) ■ MultiBoot (マルチブート) — システム内のほとんどのブート可能デバイスとメディアを含む起動シーケンスを設定します。詳しくは、オンラインの『リファレンス ガイド』の第5章の「マルチブートによるブートシーケンスの変更」の項目を参照してください
Device Options	■ 内蔵テンキーを起動時に有効/無効にします ■ 起動時に複数の標準のポインティング デバイスを有効/無効にします (通常は標準以外のポインティング デバイスを起動時に1つだけ有効にする場合は、[Disable]を選択します) ■ USB対応キーボードをサポートするUSBレガシー サポート機能を有効/無効にします (このUSBレガシー サポート機能を有効にすると、Windowsオペレーティング システムをロードしなくてもUSB対応キーボードを使用できます) ■ ドッキング ベースのビデオ カードに接続された別売の外付けモニタおよびオーバーヘッド プロジェクタ (OHP) を1次デバイスとして設定します (コンピュータ本体のディスプレイを2次デバイスとして設定した場合は、ドッキング ベースから取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください) ■ パラレル コネクタを工場出荷時のEPPモードから標準モード、双方向モード、またはECPモードに変更します ■ ビデオ出力モードを[NTSC] (デフォルト)、[PAL]、[NTSC-J]、または[PAL-M]に設定します*

* ビデオ出力モードは同じ地域でも異なる場合があります。日本ではNTSC-Jが標準です。北米ではNTSC、ヨーロッパ、アフリカ、および中東ではPAL、ブラジルではPAL-Mが標準です。ブラジル以外の中南米諸国では、NTSC、PAL、またはPAL-Mのどれかが使用されています。

次ページに続く

項目	設定内容
Device Options (続き)	■ SpeedStep ウィンドウでのすべての設定を有効/無効にします (無効に設定した場合、コンピュータは[バッテリーに合わせたパフォーマンス]モードで動作します) ■ 同じ機能を装備した、同一モデルのドッキング ベースが複数存在する場合のコンピュータの識別方法を指定します (複数のドッキング ベースを同じ物として認識させる場合は[Disable]を選択します。シリアル番号によりそれぞれのドッキング ベースを異なった物として認識させる場合は[Enable]を選択します) ■ プロセッサのシリアル番号のソフトウェアへの通知の有効/無効を設定します

[Compaq Diagnostics]の使用

[Compaq Diagnostics]にアクセスすると、[Compaq Diagnostics]ウィンドウが開く前にすべてのシステム コンポーネントのスキャンの結果が画面に表示されます。

表示する情報量を変更するには、[インフォメーション レベル]で、[基本]または[詳細]をクリックします。

[Compaq Diagnostics]は、コンパック製のコンポーネントを診断するユーティリティです。他社製品の診断は正しく行われなかったことがあります。

システム情報の表示、保存、印刷

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Compaq Diagnostics]の順に選択して[Compaq Diagnostics]にアクセスします。
2. [カテゴリ]メニューを選択し、ドロップダウン リストからカテゴリを選択します。
 - 情報を保存するには、[ファイル]→[名前を付けて保存]の順に選択します。
 - 情報を印刷するには、[ファイル]→[印刷]に順に選択します。
3. [Compaq Diagnostics]を終了するには、[ファイル]→[終了]の順に選択します。

診断テスト結果の表示、保存、印刷

1. [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Compaq Diagnostics]の順に選択して[Compaq Diagnostics]にアクセスします。
2. [テスト]タブを選択します。
3. スクロール ボックスからテストを行うカテゴリまたは装置を選択します。
4. テスト タイプを選択します。
 - **クイック テスト** : 選択したカテゴリに含まれる各装置の一般的な診断を、すばやく行います。
 - **完全テスト** : 選択したカテゴリに含まれる各装置を、最も詳細に診断します。
 - **カスタム テスト** : 選択した装置を、最も詳細に診断します。
 - 選択した装置にすべてのテストを実行するには、[**全て選択**]ボタンをクリックします。
 - 選択したテストだけを行うには、[**全て非選択**]ボタンをクリックし、実行するテストをチェックします。
5. テスト モードを選択します。
 - **対話形式** : 装置の診断テストの手順を最大限に管理できます。テストにパスしているかどうかは自分で判断します。また、デバイスの取り付けまたは取り外しを求める画面が表示されることがあります。
 - **自動実行** : 入力画面は表示しません。エラーが発見された場合、診断テストの完了時に表示されます。
6. [テスト開始]ボタンをクリックします。
7. タブを選択して、テスト レポートを参照します。
 - **ステータス** : 現在の診断セッションの間に実行、省略、失敗した診断テストの要約
 - **ログ** : コンピュータで実行する診断テスト、各診断テストの実行済回数、各診断テストで発見されたエラーの数、各診断テストの実行時間の合計の一覧
 - **エラー** : コンピュータで見つかったすべてのエラーとエラーコードの一覧

8. テスト レポートを保存します。

■ ログ : [ログ]タブで[保存]ボタンをクリックします。

■ エラー : [エラー]タブで[保存]ボタンをクリックします。

9. テスト レポートを印刷します。

■ ログ : [ファイル]→[名前を付けて保存]の順に選択して、フォルダからファイルを印刷します。

■ エラー : [エラー]タブの[印刷]ボタンをクリックします。

コンピュータの取り扱い上の注意

システムの更新

重要：お使いのコンピュータに最新のソフトウェアをインストールすることをおすすめします。システムを会社のネットワークに接続しているような場合は、システムROMを更新する前に会社の情報サービス部門などネットワーク システムの管理担当者にご相談ください。

更新情報とソフトウェアの入手方法

コンパックのWebサイトの確認

最新の更新情報およびソフトウェアは、コンパックのインターネットWebサイト (<http://www.compaq.co.jp/service/>または<http://www.compaq.com/support/>) からダウンロードできます。

コンピュータの性能を強化するために、コンパックのWebサイトで製品情報およびソフトウェアの更新情報を定期的に確認してください。

Compaqサポート ソフトウェアCDの入手方法

コンパックでは、ソフトウェアに関する詳しいサポート情報や、最新のデバイス ドライバ、システムROM、ユーティリティをインストールするためのソフトウェアを収録したCompaqサポート ソフトウェアCDを提供しています。

CDの入手方法について詳しくは、コンパック製品販売店にお問い合わせください。また、コンパックのインターネットWebサイト (<http://www.compaq.co.jp/service/>または<http://www.compaq.com/support/>) からソフトウェアをダウンロードすることもできます。

最新ソフトウェアのダウンロード

最新ソフトウェアおよびインストールの手順については、コンパックのインターネットWebサイトからダウンロードできます。この他、ダウンロード ファイルに含まれているReadme.txtファイルにも、インストール手順などの情報が記載されています。

注：コンパックのインターネットWebサイトでは、ソフトウェアを通常「SoftPaq」という名前の圧縮ファイルで提供しています。システムROMは、「ROMPaq」という名前の圧縮ファイルで提供しています。

以下の手順に従って、コンパックのインターネットWebサイトから最新ソフトウェアをダウンロードします。

1. コンパックのWebサイト (<http://www.compaq.com/support/files/portables/jp/>) にアクセスします。
2. お使いのコンピュータのシリーズ名、モデル、およびオペレーティング システムを選択して、**[検索]**を選択します。
3. 全体を参照して、お使いのソフトウェアが最新のバージョンかどうか確認します。特にROMおよびビデオが更新されていないか確認してください。

注：コンピュータにインストールされているシステムROMのバージョンを確認するには、**[Fn]+[Esc]**ホットキーを押してください。**[Fn]+[Esc]**ホットキーでシステムROMのバージョンを表示できない場合は、この説明書の第14章の「**[Computer Setup]**の使用」の項目を参照してください。

4. 現在コンピュータにインストールされているソフトウェアよりも新しいソフトウェアをダウンロードします。

注：ROMPaqをダウンロードする場合は、フォーマット済みの1.44MBのフロッピーディスクおよびフロッピーディスク ドライブまたはImation社のスーパーディスク ドライブが必要です。ROMPaqをインストールするときに、どちらの種類のドライブにディスクを挿入していても構いません。ただし、必ずフロッピーディスクを使用してください。スーパーディスクからはインストールできません。

最新ソフトウェアのインストール

ダウンロードしたSoftPaqのインストール

1. ダウンロードしたファイルに収められているReadme.txtファイルを開いてお読みください。
2. Readme.txtファイルまたはコンパックのWebサイトに記載されているインストール手順に従って操作します。

システムROMの更新

システムROMを更新するには、フロッピーディスクを使用します。

注: スーパーディスクまたはCD-ROMからシステムROMを直接更新することはできません。

ROMPaqをダウンロードしたり、コンパックのCD-ROMからシステムROMをロードしたりする場合は、更新用のフロッピーディスクを作成する作業が必要になります。

システムROM更新用のフロッピーディスクがフロッピーディスク ドライブから取り出されているか確認してから、以下の手順に従って操作します。

1. 必要なデータを保存してアプリケーションを終了し、コンピュータの電源を切ります。
2. コンピュータをACアダプタを使用して外部電源に接続します。



注意: コンピュータをドッキング ステーションに装着している場合、またはコンピュータをバッテリー電源で使用している場合は、システムROMは正しく更新されません。更新中は、コンピュータの電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。

3. ROMPaq フロッピーディスクをディスク ドライブに挿入します。
4. コンピュータの電源を入れます。

Rompaq BIOS Update Utilityの使用

1. [System BIOS]メニューから[Update]を選択します。
2. [Confirmation]画面に表示される[Current BIOS date:]および[New BIOS date:]の日付を確認します。[Current BIOS date:]は、コンピュータ本体のROMの日付です。[New BIOS date:]は、ROMPaqフロッピーディスクに収録されているROMアップデート用データの日付です。
3. [New BIOS date:]に表示されている日付が[Current BIOS date:]の日付より新しいことを確認して、[F10]キーを押します。

重要： [New BIOS date:]に表示されている日付が[Current BIOS date:]の日付より古い場合は、コンピュータのROMをアップデートする必要はありません。[Esc]キーを押し、[System BIOS]メニューから[Exit]を選択して[Rompaq BIOS Update Utility]を終了してください。

4. [Update]画面が表示され、アップデートの進行状況が表示されます。



注意： ROMのアップデートは、いったん開始すると途中で中止できません。ROMのアップデート中は、コンピュータを再起動したり電源を切ったりしないでください。

Rompaq BIOS Update Utilityの終了

次の手順でユーティリティを終了してコンピュータを再起動します。

1. ROMのアップデートが完了すると、[Update complete]メッセージが表示されますので、何かキーを押します。
2. [Rompaq BIOS Update Utility]画面に戻ったら、[System BIOS]メニューから[Exit]を選択して[Enter]キーを押します。
3. 確認を求める画面が表示されたら、[F10]キーを押します。
4. コンピュータの電源が切れたら、ROMPaqフロッピーディスクをドライブから取り出します。
5. 数秒待つてから、もう一度コンピュータの電源を入れてください。

プリインストール ソフトウェアのリストア（復元）

コンピュータに付属のCD-ROMを使用すると、ハードドライブの内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。このとき、ハードドライブの内容はいったんすべて消去されますので、事前に必要なデータのバックアップをとってください。復元するための操作手順については、CD-ROMに添付されている説明書を参照してください。



注意：データの損失を防ぎ、ドライブを正しくインストールするために、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ソフトウェアをリストア（復元）する場合は、コンピュータをドッキング ベースから取り外してから行ってください。
 - 電源コードをACコンセントに接続したまま、抜かないでください。
 - コンピュータの電源を切らないでください。
 - ドライブを着脱しないでください。
-

市販のオペレーティング システムのインストール

コンピュータの初期セットアップ時に選択可能なMicrosoft Windowsオペレーティング システム（OS）には、コンパック独自の拡張機能が追加されています。拡張機能としては、省電力機能および各種ドライブやPCカードの着脱時の動作を制御する機能などがあります。

コンパックが提供する拡張機能は、コンパックのインターネットWebサイト（<http://www.compaq.co.jp/service/>または<http://www.compaq.com/support/>）からダウンロードできます。また、Compaqサポート ソフトウェアCDにも収録されています。



注意：コンピュータに付属していたOS以外のOSを導入された場合、コンピュータが、このガイドの記述と異なる動作をすることがあります。コンピュータに付属していたOS以外のOSを導入された場合、OSに関するご質問等は、OSの販売店または製造元にお問い合わせください。

動作中の温度について

コンピュータを長時間使用すると本体の温度が高くなることがありますが、この現象は装置の異常によるものではありません。

このコンピュータは、装置の外装部分の温度に関する国際安全基準に適合しており、安心してお使いいただけます。

動作中の温度について詳しくは、このガイドの付録Dを参照してください。

コンピュータの手入れ



警告：感電や装置の損傷を防ぐため、コンピュータのキーボードに液体をかけないでください。



注意：ディスプレイの損傷を防ぐため、コンピュータを閉じているときには、上にものをのせないでください。



注意：石鹸や洗剤を使うと、ディスプレイの損傷やコンピュータの変色の原因になります。

- コンピュータを直射日光や強い紫外線が当たる場所に長時間放置しないでください。
- 1週間以上コンピュータを使用しないときは、コンピュータの電源を切っておいてください。
- 2週間以上コンピュータを外部電源から切り離しておくときは、次のようにしてください。
 - コンピュータの電源を切ってください。
 - バッテリ パックをコンピュータから外してください。バッテリパックは、気温や湿度の低い場所に保管してください。
- 水で湿らせた柔らかい布で、コンピュータの表面をときどき拭いてください。コンピュータに直接液体を吹きかけないでください。

持ち運んだり荷物として送ったりする場合の準備

1. データのバックアップを取ります。
2. CD、DVD、フロッピーディスク、およびPCカードを取り外します。
3. コンピュータの電源を切ります。
4. 2週間以上コンピュータを外部電源から切り離しておく場合はバッテリーパックを取り外し、気温や湿度の低い場所に保管します。
5. すべての外部装置の電源を切り、コンピュータから取り外します。
6. コンピュータを荷物として送る場合は、購入時の梱包箱または同様の頑丈な箱にコンピュータと外部装置を入れ、保護材を十分に詰めてから梱包し、「取扱い注意－ワレモノ」と記載します。

持ち運びの際の注意

- データのバックアップ コピーの予備を1部作成して、持参してください。バックアップはコンピュータと別の場所に保管してください。
- コンピュータは手で運んでください。飛行機に乗る場合などは、他の荷物といっしょに預けず、手荷物として持ち運んでください。
- コンピュータが磁気の影響を受けることがないように注意してください。
 - 手荷物をのせるベルト コンベア タイプの金属探知器はX線を使用しているので、コンピュータやフロッピーディスクのデータが損傷することはありません。
 - 歩いてくぐり抜けるタイプおよび検査員が手に持って押し当てるタイプの金属探知器は磁気を使用しているので、コンピュータやフロッピーディスクのデータが損傷することがあります。
- 機内でコンピュータを使用する場合は、使用できるかどうかを航空会社を確認してください。航空会社によっては、機内でのコンピュータの使用が制限されることがあります。
- 使用する先で苛酷な環境が予想される場合は、付録Dの「操作環境」の項目を参照してください。

- コンピュータを持って国外へ旅行する場合は、滞在する国に適応した電源コードを、滞在する国のコンパック製品販売店で購入してください。電源コードは、各国の規格に合ったものを使う必要があります。



警告：感電、火災、装置の損傷などを防ぐため、コンピュータをAC電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバータは使用しないでください。

- モデムを使用する場合は、滞在する国の規格に合ったモデムおよびモデム ケーブルを使用する必要があります。必要に応じて滞在する国のコンパック製品販売店で購入してください。内蔵モデムを使用する場合は、第8章の「モデムの国外での使用」の項目を参照してください。
- 滞在先の国の通関手続きを確認してください。

トラブルシューティング

コンピュータの使用中に発生した障害は、コンピュータ、オペレーティング システム、アプリケーション、別売のドッキング ベース、別売の外付けデバイスが原因であることが考えられます。以下の項目では、コンピュータの使用中に発生する可能性のある障害について説明します。

- コンピュータに関連していないと思われるトラブルの解消については、オペレーティング システム、ドッキング ベース、アプリケーション、外付けデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
- コンピュータやシステム ソフトウェアに関連しているトラブルの解消は、次の項目を参照してください。
 - はじめに、「一般的な問題を解決するためのチェックリスト」を参照します。
 - 次に、トラブルシューティングの各項目を参照します。
- トラブルが解消されない場合は、次を参照してください。
 - この説明書の第14章の「[Compaq Diagnostics]の使用」で、コンフィギュレーションと診断テストの実施に関する情報を参照します。
 - この説明書の付録Aを参照の上、コンパック製品販売店、コンパック正規保守代理店、またはコンパック カスタマーセンターにお問い合わせください。

重要：コンパック正規保守代理店にコンピュータの修理をご依頼される場合、パスワードは消去しておいてください。

一般的な問題を解決するためのチェックリスト

注：システムがロックした場合は、電源ボタンを押しながらサスペンド ボタンを押してリセットします。

- コンピュータに十分な電力が供給されていますか。
 - コンピュータがコンセントに接続されている場合
 - ー コンピュータとコンセントに電源コードが正しく接続されていますか。
 - ー 標準の電力を供給するコンセントに接続していますか（AC100～120/220～240 V RMS）。
 - コンピュータがバッテリー電源で機能している場合、バッテリー パックは完全に充電されていますか。
- システムの電源が入っていますか。
- ファンと通気孔がふさがらない場所にコンピュータを設置していますか。

■ 最新のシステムROMをインストールしていますか。

注：最新のシステムROMをインストールする方法は、この説明書の第15章の「システムROMのインストール」の項目を参照してください。

- 外付けデバイスにトラブルがあった場合
 - 適切なコネクタにデバイスが正しく接続されていますか。
 - デバイスに電力が供給されていますか。
 - デバイスの電源が入っていますか。
 - 必要なデバイス ドライバはすべてインストールおよびロードされていますか。

CDドライブ/DVD-ROMドライブに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
ドライブでディスクの情報を読み込めない	ディスクがドライブに正しく挿入されていない	一度トレイを出し、ディスクの位置をなおしてからトレイを収納します
	ディスクが上下逆に置かれている	一度トレイを出し、ディスクの向きをラベルが上を向くようになおしてからトレイを収納します
	ディスクの表面に傷がある	他のディスクを挿入してみます
CD-ROMやDVD-ROMドライブが認識されない	ドライブが正しく装着されていない	プリインストールされているWindowsをお使いの場合は、ドライブをマルチベイに装着しなおします
		別途購入したWindowsをお使いの場合は、コンピュータの電源を切り、ドライブをマルチベイに装着しなおします

PCカードに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
PCカードの挿入時にビープ音が鳴らない	PCカードが正しく挿入されていない	カードを挿入しなおします。カードが正しい方向で挿入されているか確認して、ピンを損傷しないよう、カードをゆっくりと挿入します
	スピーカがオフになっているか、システムビープ音の音量が小さい	[Fn]+[F5]ホットキーを押してシステムビープ音の音量を大きくします。[ミュート]チェックボックスのチェックが外れているか確認します
	カードまたはドライバがPCMCIAのソフトウェア規格に対応していない	対応するカードまたはドライバを使用します。PCカードの仕様および機能については、カードの製造販売元にお問い合わせください
PCカードの挿入時に、ビープ音が一度しか鳴らない	PCカードは認識されたが、正しく設定されていない	新しいPCカードを使用するには、初期設定が必要な場合があります。PCカードに付属のマニュアルを参照して、ハードドライブカードをフォーマットするか、ネットワークカード用のPCカードドライバをインストールするなど適切な操作をしてください
ネットワークカードが動作しない	必要なドライバがインストールされていない（起動していない）	正しいドライバのインストール方法について、PCカードに付属のマニュアルを参照するか、カードの製造販売元にお問い合わせください
	カードが完全に差し込まれていないか、裏返しに挿入されている	カードが正しい方向で挿入されているか確認します
	カードまたはドライバがPCMCIAのソフトウェア規格に対応していない	対応するカードまたはドライバを使用します。PCカードの仕様および機能については、カードの製造販売元にお問い合わせください

次ページに続く

トラブル	原因	解決方法
ストレージ カード が動作しない	SRAM および フラッシュ メモリ カードを使用するためのメモリ カード ドライバがロードされていない	メモリ カードにアクセスするには、DOSリアル モード ドライバを使用してください
	ストレージ カードにアクセスするときに使用されるドライブの指定が正しくない	正しいドライブ名かどうか確認し、必要に応じてドライブ名を変更します
	PCカードがフォーマットされていない	MS-DOSモードで FORMAT を実行してPCカードをフォーマットします
	サポートされていないカードを使用している	サポートされているカードを使用します。PCカードの仕様および機能については、カードの製造販売元にお問い合わせください
	SRAMなどのストレージ カードが機能しない、デスクトップ拡張ベースに挿入している	ストレージ カードをコンピュータ本体に挿入して使用します

USBに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
USBコネクタに接続されている外部装置が動作しない	オペレーティング システムの仕様により、USBに接続する外部装置は2層までなので、1層目にはハブを2つまで、1層目または2層目にはキーボードとポインティング デバイスをそれぞれ1つまでしか接続できない	接続する外部USB装置の数を減らして、1層目にはハブを2つまで、1層目または2層目にはキーボードとポインティング デバイスをそれぞれ1つまで接続するようにします
USBコネクタに接続されている外部装置が起動時に動作しない（Windows 95、Windows 98、または Windows 2000 Professional がロードされる前）	起動時には、USBコネクタには、装置を2層までしか接続できない。これらの階層では、1層目にはハブを2つまで、1層目または2層目にはキーボードとポインティング デバイスをそれぞれ1つまでしか接続できない	Windows 95、Windows 98、または Windows 2000 Professional のロードが完了してから外部装置を使用します 接続する外部USB装置の数を減らして、1層目にはハブを2つまで、1層目または2層目にはキーボードとポインティング デバイスをそれぞれ1つまで接続するようにします
下層の外部装置が動作しない	電源付きのハブが、電源付きでない別のハブに接続されている	USBのチェーン接続では、電源付きでないハブの直後には必ず電源付きのハブを接続します 電源付きのハブだけを使用します

オーディオに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
外部音源がステレオ ラインインコネクタに接続されているのに内蔵スピーカから音が出ない	スピーカが無効になっているか音量が小さすぎる	■ [Fn] + [F5] ホットキーを押して音量を大きくします ■ タスクバーにあるスピーカアイコンをダブルクリックして表示されるスライドバーで、音量を調節します
	ライン入力为正しく接続されていない	ライン入力の接続を確認します
	ヘッドフォンまたはスピーカがステレオコネクタに接続されていて、内蔵のスピーカが無効になっている	ヘッドフォンまたはスピーカを取り外して、内蔵スピーカを有効にします
	音量が消音（ミュート）されている	[Volume Control] で [ミュート] チェックボックスのチェックを外します
外付けマイクが動作しない	接続しているマイクまたはマイクのプラグが正しくない	3.5mmプラグのモノラルコンデンサマイクを使っているか確認してください
	マイクが正しく接続されていない	マイクプラグがモノラルマイクコネクタに正しく接続されているか確認してください
	音源が選択されていない	[コントロール パネル] → [マルチメディア] で正しい音源が選択されているか、また録音レベルが適切な値か確認してください
	オーディオの設定が正しく行われていない	プログラムのオーディオ設定を確認してください
コンピュータのボリュームコントロールが下がっている		[Fn] + [F5] ホットキーを押して音量を大きくします

次ページに続く

トラブル	原因	解決方法
ヘッドフォンから音が出ない	ボリュームまたはミキサーの設定が低すぎる	■ [Fn] + [F5] ホットキーを押して音量を大きくします ■ タスクバーにあるスピーカアイコンをダブルクリックして音量を調節します ■ [ミュート] チェックボックスのチェックを外します
	音源が選択されていない	[コントロール パネル] → [マルチメディア] で正しい音源が選択されているか確認してください
	ヘッドフォンを接続するコネクタを間違えている	接続を確認してください
音量が大きすぎるまたは小さすぎる	ボリュームまたはミキサーが正しく設定されていない	■ [Fn] + [F5] ホットキーを押して音量を大きくします ■ タスクバーにあるスピーカアイコンをダブルクリックして音量を調節します

画面に関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
文字がはっきりと表示されない	画面に直接光が当たっている	コンピュータの位置を移動するか、ディスプレイの角度を変えます
	輝度が低く設定されている	輝度を調節するには、[Fn] + [F10]ホットキーを押します
	スクリーン セーバまたは画面をクリアするユーティリティが起動した	どれかキーを押します
	スクリーン タイムアウトが経過した	どれかキーを押します
	設定したタイムアウトが経過して、サスペンド（スタンバイ）が起動された	サスペンド ボタンを押して、サスペンドを終了します
	コンピュータがロー バッテリ状態になり、サスペンドまたはハイバネーションが起動された	■ バッテリー パックを交換して、サスペンドまたはハイバネーションを終了します ■ コンピュータを外部電源に接続して、サスペンドまたはハイバネーションを終了します
コンピュータ本体の画面に何も表示されずに、外付けモニタに情報が表示される	サスペンドまたはハイバネーションを制御する省電力機能が無効になっていて、バッテリー パックが放電してしまった	■ バッテリー パックを交換して、コンピュータの電源を入れます ■ コンピュータを外部電源に接続して、コンピュータの電源を入れます
	外付けモニタに切り替えられている	[Fn] + [F4]ホットキーを押してコンピュータ本体の画面に表示を切り替えます。[Fn] + [F4]ホットキーをもう1回押すと、両方の画面に同時表示されます
[Fn] + [F4]ホットキーを押しても、外付けモニタとコンピュータ本体の画面の表示が切り替わらない	ディスプレイ スイッチが押し込まれた状態になっている	スイッチを軽く押してみます
	外付けモニタまたは他の画像出力装置が正しく接続されていない	外付け機器が正しく接続されているか確認します

キーボード/テンキーパッドに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
画面には何も表示されないがキーボードが使用できる	画面のタイムアウトが起動した	キーボードのキーを押すと、画面表示が元に戻ります
	QuickLock（クイックロック） / QuickBlank（クイックブランク）を起動した	Power-on password（電源投入時パスワード）を入力すると、キー操作と画面表示が元に戻ります
	内蔵ディスプレイが無効になっている	[Fn] + [F4] ホットキーを押して、モニタを外付けモニタから内蔵ディスプレイに切り替えます
コンピュータ本体のキーボードの内蔵テンキーが使用できない	NumLock機能が無効になっている	[Fn] + [NumLk] ホットキーを押して内蔵テンキーを有効にします
	外付けのキーボードまたはテンキーパッドが接続されている	外付けのキーボードまたはテンキーパッドを取り外します

赤外線に関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
別のコンピュータと通信できない	両方のコンピュータで、必要なソフトウェアが実行されていない	接続先のコンピュータに必要なソフトウェアをインストールして再起動し、両方のコンピュータでプログラムを実行します
	接続先のコンピュータの赤外線ポートがIrDAに準拠していない。コンパック製のコンピュータはIrDAに準拠した通信プロトコルを使用してる	赤外線を使用した通信では、両方のコンピュータが同一の通信プロトコルを使用する必要があります。接続方法について接続先のコンピュータに付属のマニュアルを参照するか、IrDAに準拠している装置と接続します
	2つの赤外線（IrDA）ポートの通信路の間に障害物がある。または、ポートどうしの角度が30°以上(中心線から±15°以上)ずれているか、距離が0.5m以上離れている	障害物を取り除くか、ポートどうしを30°以内（中心線から±15°以内）で向き合わせるか、ポートどうしの距離を0.5m以内にします
	IRQが競合している	それぞれのコンピュータの[デバイス マネージャ]で、IRQが競合していないか調べます。IRQが競合している場合は、競合しているデバイスの一方のIRQ番号を割り当てなおします
	ボーレートが正しくない	両方のコンピュータで同じボーレートを設定します

次ページに続く

赤外線に関するトラブルの解決方法 続き

トラブル	原因	解決方法
データを転送できない	直射日光、蛍光灯や白熱灯の光が赤外線接続の障害となっている	障害の原因となっている光源を取り除きます
	他の無線機器が干渉している	ワイヤレス ヘッドフォンや他のオーディオ機器のリモコンを赤外線接続から遠ざけます
	装置間に障害物がある	通信の妨げとなる物を取り除きます
	データ送信中に一方の装置を移動した	データ送信中は、受信側と送信側の装置をどちらも動かさないでください
	装置の向きが不適切である	装置の向きを調節して、赤外線 (IrDA) ポートがまっすぐ向き合うようにします
	装置間の距離が遠すぎる	装置間の距離が0.5m以内であることを確認します
赤外線 (IrDA) ポートが機能しない	直射日光、蛍光灯や白熱灯の光が赤外線接続の障害となっている	障害の原因となっている光源を取り除きます
	他の無線機器が干渉している	ワイヤレス ヘッドフォンや他のオーディオ機器のリモコンを赤外線接続から遠ざけます
	赤外線ポートが無効になっている	[コントロール パネル]で赤外線の設定ユーティリティを実行します

電源に関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
コンピュータの電源が切れる	外部電源に接続していない コンピュータが完全なロー バッテリー状態になった	■ バッテリー パックを充電します ■ バッテリー パックを交換します ■ コンピュータを外部電源に接続します
	完全なロー バッテリー状態 になったコンピュータのプ ラグが外部電源から外れて いる	コンピュータが外部電源に正しく接続されているか確認します
しばらく操作しない間に電源が切れた	完全なロー バッテリー状態 になったためにシステムが ハイバネーションを起動し た	■ バッテリー パックを充電します ■ バッテリー パックを交換します ■ コンピュータを外部電源に接続します
	設定したタイムアウトが経 過して、ハイバネーション が起動された	コンピュータの電源を入れます
Windows 95 または Windows 98 でサスペンド（スタンバイ）が自動的に起動されない	[赤外線モニター]が有効になっている	以下の手順で[赤外線モニター]を無効にします 1. タスクバーの[赤外線モニター]アイコンをダブルクリックします 2. [オプション]タブを選択します 3. [範囲内のデバイスの検索と状況の報告を行う]チェックボックスのチェックを外します

ハードドライブに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
ハードドライブからの読み出しに時間がかかる	タイムアウトのためシステムが起動した省電力モードを終了している	省電力モードの起動の際に保存されたデータが、復元されるまで待ちます
	ハードドライブが断片化しているか最適化されていない、またはエラーが発生している	[スキャンディスク]と[デフラグ]を実行します
ハードドライブが動作しない	ハードドライブが正しく装着されていない	コンピュータの電源を切り、コードを外してから、ハードドライブを装着しなおします
追加したハードドライブからシステムを起動できない	追加したハードドライブに必要なソフトウェアが含まれていない	コンピュータに搭載されているハードドライブから起動するか、追加したドライブに起動用ソフトウェアをインストールします
ハードドライブが認識されない	ドライブが正しく装着されていない	ドライブを装着しなおします
	ドライブが壊れている	ドライブが問題の原因が確認するためにハードドライブを他のベイ（たとえば、ドッキングベース）で使用してみます。このドライブに[スキャンディスク]を実行します
	電源が入っている状態またはサスペンドやハイバネーションの状態でのドライブが取り付けられた	ハードドライブを着脱する前にコンピュータの電源を切ってください
[Computer Setup]でDriveLock（ドライブロック）の設定にアクセスできない	DriveLockを設定する場合は、コンピュータの電源投入時に[Computer Setup]を起動する必要がある。コンピュータの再起動時にも起動してもアクセスできない	コンピュータの電源をいったん切ってから入れなおし、画面の右上隅にカーソルが移動したら、[F10]キーを押します

バッテリーに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
ビープ音が鳴り、 バッテリー充電ラ ンプが点滅してい る	コンピュータがロー バッ テリー状態になった	■ コンピュータを外部電源に接続します ■ 完全に充電されたバッテリーパックに交換します ■ コンピュータの電源を切るか、電源を確保できるまでハイバネーションを起動します
ロー バッテリー状 態を警告するため のバッテリー充電ラ ンプが点滅してい るのにビープ音が 鳴らない	音量の設定が低すぎる	[Fn] + [F5]ホットキーを押して 音量を大きくします
充電ができない	バッテリー パックの温度が 高すぎる、または低すぎる	バッテリー パックが室温に戻っ てから充電します
	バッテリー パックがすでに 充電されている	何もする必要はありません。そ のまま使用してください
	バッテリーが劣化したため 使用できない	バッテリー パックを交換します
バッテリー交換時に 電源が切れ、メモ リの内容が失われ た	バッテリーを交換する前に ハイバネーションを起動 しなかった	データを復元することはできま せん

次ページに続く

バッテリーに関するトラブルの解決方法 続き

トラブル	原因	解決方法
バッテリーの消耗が早い	バッテリー パックの温度が高い	コンピュータを涼しい場所に置いてもう一度バッテリーを充電します
	バッテリー パックの温度が低すぎる	コンピュータを暖かい場所に置いてもう一度バッテリーを充電します 注：バッテリーの推奨動作温度は10～40℃で、推奨保管温度は0～30℃です
	バッテリー パックの省電力機能が無効になっているか、[なし（ドレイン）]に設定されている	節電レベルを設定しなおします
	外部装置がバッテリー パックの電力を消費している	使っていない外部装置やPCカードは電源を切るか、取り外します
	バッテリー ゲージの表示が不正確で、調整が必要になった	バッテリー ゲージを調整します
起動するたびに日付や時間をセットしなければなら ない	リアル タイム クロック（RTC）用バッテリーが劣化している	■ 電源を確保し、電源スイッチをスライドさせてコンピュータの電源を入れます ■ リアル タイム クロック（RTC）用バッテリーの交換については、コンパック正規保守代理店にお問い合わせください
バッテリー ゲージが正確でない	バッテリー ゲージの調整が必要	バッテリー ゲージを調整します
	バッテリーが劣化したため使用できない	バッテリー パックを交換します
充電後 バッテリーパックが暖かくなった	充電による熱が発生したためで、異常ではない	そのまま使用してください

**フロッピーディスク/スーパーディスク ドライブに
関するトラブルの解決方法**

トラブル	原因	解決方法
ディスクに情報を 書き込めない	ディスクがフォーマット されていない	ディスクをフォーマットします
	ディスクが書き込み禁止 になっている	書き込み禁止になっていない ディスクを使用するか、書き込 み禁止を解除します
	間違ったドライブに書き 込もうとしている	ドライブ名を確認し、必要に応 じて変更します
	ディスクの空き容量が不 足している	他のディスクを使います
	ドライブが使用禁止に設 定されている	[デバイス マネージャ] で、ドラ イブの使用禁止を解除します
	ディスクが書き込み禁止 になっている	[Computer Setup] を起動して、 [Security] メニューの [Device security] の設定を確認します
システムをフロッ ピーディスク ドラ イブまたはスー パーディスク ドラ イブから起動でき ない	ドライブにブート可能 ディスクが挿入されてい ない	必要なシステム ファイルを収 めたディスクがドライブに挿入 されているか確認します
	[Computer Setup] でドラ イブのブート機能が無効 に設定されている	[Computer Setup] の [Security] メ ニューでブート機能を有効にし ます

モデムに関するトラブルの解決方法

トラブル	原因	解決方法
回線が切断される	モデムが電話回線にしつかりと接続されていない	電話回線が正しく接続されているか確認します
	キャッチホンが入った	キャッチホンの契約を変更してモデム接続の障害にならないようにすることができます。詳しくは契約している電話会社までお問い合わせください
	電話回線にノイズが発生しているか電話回線が混み合っている	しばらくしてから接続しなおします
モデムが応答しない	システムBIOSでモデムが正しく設定されていない	コンピュータのBIOSの設定を確認します。モデムに必要な設定を行います
モデムが正しい番号にダイヤルしない	モデム ソフトウェアに間違った電話番号を入力した	■ 電話帳機能やターミナルモードをお使いの場合は、正しい番号にダイヤルしたか確認します ■ 市外電話をかける場合は、最初に市外局番をダイヤルします ■ 接続先の回線が使用中か応答しない可能性があります ■ キャッチホンの契約を変更してモデム接続の障害にならないようにすることができます。詳しくは契約している電話会社までお問い合わせください ■ 外国のダイヤル トーンを認識できない場合があります。ATX3DT コマンドを入力してから電話番号を入力します
文字化けする/転送速度が低下する	電話回線にノイズが発生している	モデム ケーブルが電話回線にしっかりと接続されているか確認します。正しく接続されていないと回線にノイズが発生することがあります

次ページに続く

トラブル	原因	解決方法
発信音がしない	電話回線の信号がモジュラ型コンセントまで届いていない	電話回線の信号が正しく届いているかを、以下の手順で確認します。 1. 電話ケーブルをモジュラ型コンセントから取り外します 2. 電話機をモジュラ型コンセントに接続し、受話器をとって発信音がするか確かめます。発信音がする場合は、もう一度モデムをモジュラ型コンセントにしっかりと接続します 3. それでも発信音がしない場合は、電話会社（またはビルの管理者）に連絡してください
キーボードから入力したコマンドにモデムが応答しない	以下の手順に従って、モデムとコンピュータの接続を確認します	1. [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[ハイパーターミナル]の順に選択して、ターミナル モードに入ります 2. ATと入力して、[Enter]キーを押します。「OK」と表示されたら、モデムとコンピュータは正常に動作しています。「ERROR」と表示されるか応答がない場合は、コンピュータを再起動して、この手順をもう一度最初から実行してみてください 3. ATDTと入力して、発信音がすることを確かめます 4. ATH0と入力して、回線を切断します

次ページに続く

トラブル	原因	解決方法
モデムが最高速度で接続されない	発信元や受信先の回線が使用しているモデムの最高の接続速度をサポートしていない	それぞれの回線の状態を確認します 他の電話番号を使用します
	電話回線を共有している他のデバイスが競合している	子機を切り、同じ電話回線を使用している可能性のある機器をすべて取り外し、電話をかけなおします
	インターネット サービス プロバイダ (ISP) または接続先が56Kに対応していないか、56Kをサポートしている機器との互換性がない	内蔵モデムはK56flexをサポートしています ISPがK56flexをサポートしているかどうかは、ISPにお問い合わせください
	電話回線にノイズが発生している	内蔵モデムが対応している56Kプロトコルでは、ノイズが多い場合低速度の通信に切り替わります 他の回線を使用してください
	電話回線が56Kをサポートしていない	使用している電話回線に2つ以上のアナログ-デジタル変換がある場合は、56Kプロトコルで通信できません 他の場所から接続してください

コンパック カスタマー サポートの 利用方法

お問い合わせになる前に

お使いのコンピュータに問題が生じたなど、コンパックのテクニカル サポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合がありますので、このガイドの「第14章 [Computer Setup]と診断用ユーティリティ」の手順に従って診断用のユーティリティを実行してご確認ください。コンパックのテクニカル サポートの窓口については、コンピュータ本体に同梱されている『保証規定（サービスおよびサポートを受けるには）』を参照してください。なお、一般的なトラブルと解決方法については、このガイドの「第16章 トラブルシューティング」で説明しています。

- 機種名または機種番号
- シリアル番号（保証書またはコンピュータ本体裏面にあります）
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成（メモリ容量、ハードドライブ容量、その他周辺機器の有無）
- 接続しているプリンタの種類
- 使用しているオペレーティング システムおよびそのバージョン

- Windowsの製品識別番号 (PIN) 。[マイ コンピュータ]を右クリック→[プロパティ]→[情報]または[全般]の順に選択して表示される[使用者]または[所有者]の欄にある番号がPINです。
- システムROMと[Computer Setup] (コンピュータのセットアップ) ユーティリティのバージョン。以下の手順に従って、バージョンを表示します。
 1. コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
 2. 画面の右上隅でカーソルが点滅したら、[F10]キーを押します。
 3. [File] (ファイル) →[System Information] (システム情報) の順に選択します。
- コンフィギュレーションおよび診断情報。このガイドの第14章を参照して、コンフィギュレーションおよび診断情報を印刷または保存します。

注：コンピュータの修理をご依頼される場合は、事前にパスワードを消去しておいてください。

サポート情報の提供方法

コンパックのインターネットWebサイト

コンパックでは、下記のインターネットのWebサイト（日本語サイト）で、各種の情報を提供しております。

<http://www.compaq.co.jp>

- 最初の画面には、「新着情報」へのリンクや情報をまとめて表した項目名などが掲載されています。ご覧になりたい項目にマウス ポインタを合わせ、ポインタが指の形に変わったらクリックしてください。
- 最初の画面で参照したい項目が見つからなかった場合は、「サイトマップ」や「検索」機能をご利用ください。「サイトマップ」では、コンパックのインターネットWebサイトに掲載してある情報の一覧を箇条書きで表示します。ある言葉（検索文字列）を指定して関連情報を調べる場合は、「検索」機能をお使いください。

注：Webサイトのデザインは予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

困った時にお読みください

コンピュータの機種別にトラブルの状態とその解決方法を掲載しています。下記のサイトにアクセスすると対象機種の一覧表が表示されますので、ご覧になりたい機種名を選択してください。

<http://www.compaq.co.jp/service/trouble.html>

注：「困った時にお読みください」に掲載されている情報は、米国コンパック本社のWebサイトに掲載されている「Customer Advisory」から抜粋して日本語訳した情報です。

よくある質問（FAQ）

FAQ Serviceは、お客様からよくお寄せいただくご質問についてお答えするサービスです。下記のサイトからFAQ Serviceにアクセスして、該当する項目を順番に選択してください。

<http://www.compaq.co.jp/service/faqservice.html>

ダウンロードサービス

コンパック製コンピュータをサポートするドライバなどの各種ソフトウェアを提供しています。コンピュータの機種とお使いのオペレーティング システムを選択すると、ソフトウェアの一覧が表示されます。下記のサイトから「ダウンロードサービス」を選択してください。

<http://www.compaq.co.jp/service/downservice.html>

注：お使いのコンピュータをサポートするドライバやユーティリティは、常に最新版をお使いになることをおすすめします。

製品カタログ（カタログライブラリ）

コンパック製品のカタログをPDF形式のファイルとしてダウンロードできます。下記のサイトからご覧になりたい製品を選択してください。

<http://www.compaq.co.jp/products/catalog/index.html>

お問い合わせ先

技術的な問い合わせ窓口

コンピュータ本体に同梱されている『保証規定（サービスおよびサポートを受けるには）』をご覧ください。

オペレーティング システムについて

コンピュータに付属していたオペレーティング システム（OS）以外のOSを導入された場合、OSに関するご質問等は、OSの販売店または製造元にお問い合わせください。

バックアップ メディア等の提供

コンパック カスタマーサービス オーダーセンターでは、各種バックアップ/起動用メディア類等のソフトウェア製品の販売、ノートPC用バッテリー等PCサービスパーツ類の販売、およびPCのアップグレード（有償）等の提供を行っています。詳しくは、下記のWebサイトをご覧ください。

<http://www.compaq.co.jp/service/ccs/order/index.html>

注：上記URLにアクセスできない場合は、以下までご連絡ください。

コンパック カスタマーサービス オーダーセンター

電話番号： ☎ 0120-250589（フリーダイヤル）

FAX番号： 03-3291-1137

各国の電話番号

以下の表には、国別の電話番号とサポート内容が掲載されています。この表に記載されていない国については、「東ヨーロッパ、中東、およびアフリカ」地域の電話番号をご使用ください。

また、下記のWebサイト（英語サイト）には、世界各地のコンパックの最新電話番号リストが掲載されています。日本以外の地域でサポートをご依頼になる場合にご利用いただけます。

http://www.compaq.com/corporate/overview/world_offices.html

注：このリストに掲載されている電話番号はサポート専用番号とは限りませんので、別の番号をご案内させていただいたり、多少お時間をいただくこともあります。

注：リストに掲載されている電話番号へのお問い合わせおよび各国におけるサポートは現地の言語で承っておりますのであらかじめご了承ください。

技術的な内容についてのご質問の際には、お使いのコンピュータのシリアル番号をお手元にご用意ください。情報および技術的なアシスタンスは、コンパックのインターネットWebサイト（<http://www.compaq.com>）からも入手できます。

注：電話番号は予告なく変更されることがあります。

アスタリスク（*）が付いた電話番号は、国外からはご利用できません。

各国の電話番号		
地域	国番号	電話番号
アイルランド		
一般情報*		01800 409 454
アメリカ合衆国		
テクニカル サポート*		1-800-OKCOMPAQ
サポートの質を向上させるため、お電話の内容をモニタすることがあります		(1-800-652-6672)
一般情報*		1-800-345-1518
PaqFax*		1-800-345-1518
モデムによるダウンロードサービス		1-281-518-1418
バックアップ ソフトウェアの注文またはユーザー ガイドの交換*		1-800-952-7689
アラブ首長国連邦（ドバイ）		
一般情報	+97	14-818100
アルゼンチン		
一般情報	+54	14-704-3800
テクニカル サポート	+54	14-704-3800
イギリス		
一般情報*		845 270 4000
一般情報		141 270 4000
FaxPaq		181 332 3550
QuickLine（掲示板）		181 332 9499
イスラエル		
一般情報	+972	- 9-959 3443
Fax	+972	- 9-957 1332
テクニカル サポート	+353	- 1-402-6833

次ページに続く

各国の電話番号 続き

地域	国番号	電話番号
イタリア		
一般情報	+39	-02 57-590-330
テクニカル サポート (コマーシャル モニタ製品)	+39	-02 48-230-023
BBS (掲示板)	+39	-2-89-200-222
バックアップ ソフトウェアの注文	+39	-1-67-859-030
テクニカル サポート Fax	+39	-2-48-320-002
インド		
一般情報	+91	80-337-4194
メール アドレス		Info.hu@compaq.com
ウルグアイ		
テクニカル サポート		-1-14-704-3800
エクアドル		
一般情報	+59	1-954-724-7900
テクニカル サポート	+59	1-954-724-7900
オーストラリア		
一般情報	+61	2-9911-1999
通話料無料*		1-300-368-369
テクニカル サポート*		1-300-368-369
PaqFax	+61	2-9911-1982
オーストリア		
一般情報	+43	01-546-521-552
テクニカル サポート (ビジネス製品)	+43	01-546-521-552
テクニカル サポート	+43	01-546-521-552

次ページに続く

各国の電話番号 続き

地域	国番号	電話番号
オランダ		
一般情報	+31	353-1214-1452
カスタマー サポート コン パック カスタマー サービス センター*		0900-1681616 (0.75Dfl./分)
カスタマー サポート コン パック カスタマー サービス センターFax*		0900-8991116 (0.40Dfl./分)
カナダ		
一般情報		905-707-1715
テクニカル サポート*		1-800-OK-COMPAQ (1-800-652-6672)
サポートの質を向上させるため、お 電話の内容をモニタすることがあ ります		
カスタマー サポート*		1-800-263-5868
バックアップ ソフトウェア の注文*		1-800-952-7689
カリブ海諸国		
テクニカル サポート	+52	1 954 724 7900
韓国		
一般情報	+82	2-347-0700
テクニカル サポート	+82	2-523-3575
ホットライン	+82	2-080-902-7777
ギリシャ		
一般情報	+30	1 6141 371
テクニカル サポート	+30	1 6141 731
コロンビア		
一般情報	+57	1-606-9191/9192
テクニカル サポート	+57	1-606-9191/9192

次ページに続く

各国の電話番号 続き

地域	国番号	電話番号
シンガポール		
コンパック コール センター	+65	395-1111
一般情報	+65	395-1515/1151
カスタマー サポート センター	+65	395-3030
Fax	+65	395-1010
スイス		
InfoLine*		01/801 4222
装置ホットライン（モニタ、	+41	01/838 22 22（ドイツ語）
デスクトップ、ノートブック）	+41	01/838 22 23（フランス語）
QuickLine（掲示板）	+41	01/8 38 24 21
バックアップ ソフトウェア の注文*		0800 556 206
スウェーデン		
一般情報	+46	-8-730 01 50
セールス情報	+46	-8-730 01 50
テクニカル サポート*		729-36 20 00（75SEK/通話）
FaqPax	+46	-8-730 01 62
QuickLine（掲示板）	+46	-8-730 01 62
スペイン		
一般情報	+34	90-210-14-14
テクニカル サポート（ビジネス製品）	+34	91-590-93-31
ソフトウェア サポート	+34	90-099-31-03
Fax	+34	91-634-88-11
スロバキア共和国		
一般情報	+421	750 222 111
タイ		
一般情報	+66	2-679-6222

次ページに続く

各国の電話番号 続き

地域	国番号	電話番号
台湾		
一般情報	+886	-2-2735-1000
テクニカル サポート	+886	-2-2578-1010
コンパック ケア センター	+886	-2-2393-9376
チェコ共和国		
一般情報	+420	-26 1108 158
テクニカル サポート	+420	-26 1108 158
中国		
一般情報	+86	800-810 9900
カスタマー レスポンス センター (CRC)	+86	800-810 6888
テクニカル サポート	+86	10 6207 7711
コンパック ASE トレーニング 宛メール アドレス		China.Training@compaq.com
BBS (掲示板)	+86	10 6834 6709
コンパック 認証センター	+86	10 6834 6739
コンパック マネジメント サービス センター	+86	10 6831 3399-5873
中米		
テクニカル サポート	+52	1 954 724 7900
チリ		
一般情報	+56	-2-290-6550
テクニカル サポート	+56	-2-290-6550
デンマーク		
一般情報	+45	-45-90-45-90
テクニカル サポート	+45	-45-90-45-45
QuickLine (掲示板)	+45	-45-90-45-50
ドイツ		
一般情報*		0180/3 22 12 21 (0.18 DM/分)
一般情報Fax*		0180/3 22 12 20 (0.18 DM/分)
全製品Fax*		0180/5 21 21 17 (0.24 DM/分)
デスクトップ ホットライン*		0180/5 21 21 11 (0.24 DM/分)

次ページに続く

各国の電話番号 続き

地域	国番号	電話番号
トルコ		
一般情報	+90	2163918430/100
テクニカル サポート	+90	800-2611917
カスタマー サポート	+90	2163918430/362
Fax	+90	2163918428
ニュージーランド		
一般情報	+64	9-373-9165
ノルウェー		
一般情報	+47	-22-07-20-20
テクニカル サポート	+47	-22-07-20-20
Fax	+47	-22-07-20-21
パラグアイ		
テクニカル サポート	+54	1-14-704-3800
ハンガリー		
一般情報	+36	1-458-5555
テクニカル サポート (レベル 1、CSエンジニア パートナーのみ)	+36	1-458-5402
カスタマー サポート (Carepaq、非デスクトップ製品、ノートブック製品)	+36	1-458-5520
メール アドレス		Info.hu@compaq.com
フィリピン		
テクニカル サポート		1800 1 65 1 1111
フィンランド		
一般情報	+358	20. 206 720
テクニカル サポート*	+358	203 206 720
QuickLine (掲示板)		9-615-9870
ブラジル		
一般情報	+55	0800-550307
コンパック カスタマー アシスタント サービス	+55	0800-550307

次ページに続く

各国の電話番号 続き

地域	国番号	電話番号
フランス		
一般情報*		0803 804 805 (0.99 FTTC/分)
テクニカル サポート*		0803 813 823 (0.99 FTTC/分)
QuickLine (掲示板) RTC標準*		01 41 33 44 50
QuickLine (掲示板) (RNIS)*		01 41 33 42 25
ペネズエラ		
一般情報		-2-955-3800/3900
テクニカル サポート		-2-955-3800/3900
ペルー		
一般情報	+51	1-211-2902
ベルギー		
一般情報*		-02-717-4000
コンパック ケア センター*		-02-717-4000
一般情報Fax	+32	-2-725-22-13
バックアップ ソフトウェア の注文	+32	-2-716-96-78
バックアップ ソフトウェア の注文Fax	+32	-2-716-96-79
ポーランド		
一般情報	+48	-22-800 122 622
テクニカル サポート	+48	-22-64 00 000
ボリビア		
テクニカル サポート	+51	1-211-2802
ポルトガル		
一般情報	+351	-21-412-8400
テクニカル サポート	+351	-21-412-2659
Fax	+351	-21-412-0654
香港		
一般情報	+852	28681382
テクニカル サポート	+852	90116633
PaqFax	+852	28671648

次ページに続く

各国の電話番号 続き

地域	国番号	電話番号
マレーシア		
一般情報		603-758-2688
テクニカル サポート		603-754-1155
南アフリカ		
一般情報	+27	-11-320 4300または 0800 115 338 - 0800 600 212
テクニカル サポート	+27	-11-483-3411
メキシコ		
一般情報		01-800-010-2020
テクニカル サポート	+52	01-800-010-2020
PaqFax	+52	-5-229-7920
ルクセンブルク		
一般情報	+352	49.13.02 (12.5Flux/分)
コンパック ケア センター*		49.12.34
コンパック ケア センター Fax*		49.12.34
一般情報Fax	+352	49.14.40
バックアップ ソフトウェア の注文	+32	-2-716-96-78
バックアップ ソフトウェア の注文Fax	+32	-2-716-96-79
ロシア		
一般情報	+7	-095-967-1700
テクニカル サポート	+7	-095-967-3138

次ページに続く

各国の電話番号 続き

地域	国番号	電話番号
アゼルバイジャン、アルジェリア、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、ガーナ、カザフスタン、ガボン、カメルーン、ギニア、キプロス、キルギスタン、クロアチア、シエラ レオネ、ジョージア、スロバキア、セネガル、象牙海岸、チャド、チュニジア、トーゴ、ナイジェリア、ニジェール、ブルガリア、ブルキナ ファッソ、ベニン、ベラルーシ、ボスニア、マケドニア、マルタ、モーリタニア、モルダビア、モロッコ、ユーゴスラビア、ラトビア、リトアニア、ルーマニアの各国		
カスタマー サポート		-1-402 68 33
カスタマー サポート Fax		-1-402 68 55
カスタマー サポート 掲示板		- 89 - 9933 1380
カスタマー サポート メール アドレス		bdgsupport.irdub@compaq.com
東ヨーロッパ、中東、およびアフリカ		
一般情報	+353	1 402 68 33
Fax	+353	1 402 68 55

規定に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

この付録では、コンパックの製品を規定機関のシリーズ番号で表します。

規定機関承認用シリーズ番号

コンパックの製品は、各国の規定機関に信頼性や安全性の承認を申請する際に、製品識別用のシリーズ番号を使用しています。このシリーズ番号は、製品名およびシリアル番号とは異なります。装置を正しく動作させるため、お使いのコンピュータでは以下の製品だけを使用してください。

製品	機関シリーズ番号
ACアダプタ	PPP003、PPP003A、PPP003L、PPP003N
カー アダプタ	401043
バッテリー チャージャ	PP1003
ドッキング ベース	PP1005、PP1006、およびPP1007
外付けフロッピーディスク ドライブ	PP2046
マルチベイ バッテリ パック	PP1001C
メイン バッテリ パック	PP2041A、PP2041B、またはPP2041C

電気通信ネットワークの認可

コンピュータ本体の電気通信機器の電話回線への接続が認可されている国を製品に貼付して示しています。最新の認可情報は、コンパックのインターネットWebサイト（<http://www.compaq.com>）で、「modem telecom approvals」というキーワードで検索すると表示されます。お使いの製品が認可されている場合は、認可マークと番号が画面に表示されます。

各国別勧告

以下にさまざまな国や地域での規定を掲載します。ただし、一般的な注意事項などに関しては、日本語で記載しています。

Federal Communications Commission Notice（米国）

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Compaq Computer Corporation may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States only)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding this declaration, write

Compaq Computer Corporation
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston TX 77269-2000

or call 281-514-3333

To identify your product, refer to the part, series, or model number found on the product.

If you have questions about your product that are *not* related to this declaration, please write

Compaq Computer Corporation
P. O. Box 692000, Mail Stop 530113
Houston TX 77269-2000

or call Compaq

Product Information Center	1-800-345-1518
Technical Support	1-800-OKCOMPAQ (1-800-652-6672)

Canadian Notice (カナダ)

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien (カナダ)

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

航空機内での使用について

電子機器を航空機内で使用する際には航空会社の指示に従ってください。

電源コード

日本国内でお買い上げいただいたコンピュータに付属の電源プラグおよび電源コードは、電気用品取締法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お使いになるコンピュータに電源コードが付属していない場合は、コンピュータをお使いになる国の規格および法律に適合する電源コードを購入してください。電源コードは、お使いになる製品および製品の電圧や電流などの電気特性に適合したものをお使いください。電源コードの電圧および電流は、製品の電圧および電流より大きい容量であることが必要です。また、最低0.75mm²/18AWGで長さが1.5m～2mのコードを使用してください。電源コードについて詳しくは、お使いになる国のコンパック製品販売店にお問い合わせください。

電源コードは、踏んだり、足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードの上に物を置いたり、電源コードを物と物の間に挟んだりしないように気を付けてください。特に、プラグ、コンセントおよび製品側の電源コード コネクタの部分には注意が必要です。

バッテリーについてのご注意



警告：このコンピュータには、リチウム イオン (Li-Ion) バッテリー パックが装着されています。化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、接点をショートさせたり、水や火の中に捨てたり、60℃を超える高温な場所に保管したりしないでください。

このコンピュータには、内蔵リアル タイム クロック (RTC) 用リチウム イオン (Li-Ion) バッテリーが装着されています。化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、接点をショートさせたり、水や火の中に捨てたり、60℃を超える高温な場所に保管したりしないでください。

バッテリーパックやRTC用バッテリーを交換する場合は、このコンピュータ用のバッテリーを使用してください。



日本では、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用してバッテリー パックを廃棄してください。

北米では、ニッケル水素またはリチウム イオン バッテリー パックを廃棄する場合、コンパックのバッテリー パック リサイクル プログラムをご利用になれます。コンパックが提供する容器を使うと、使用済みバッテリー パックを無料で再利用施設に郵送できます。詳しくは、このガイドの付録Aにあるお住まいの地域のコンパック カスタマーセンターの電話番号にお問い合わせください。

ヨーロッパでは、バッテリーを家庭用ゴミとして捨てることは禁じられています。公共の収集システムを利用するか、コンパック正規保守サービス会社またはコンパック製品販売店まで郵送してください。

国際エネルギー スター プログラム

当社は、国際エネルギー スター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していると判断します。このプログラムは、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として実施されたものです。このため、コンパックの製品には、エネルギー消費を削減するなどの省電力機能が搭載されています。

German Ergonomics Notice

Compaq computers bearing the “GS” approval mark meet the requirements of ZH 1/618 (German Safety Regulations for Display Work Places in the Office Sector) when used in conjunction with docking bases, keyboards, and monitors that bear the “GS” approval mark. The Compaq portable computers in a stand-alone mode are not intended for continuous use in an office environment.

TV出力に関するご注意

本製品には、著作権によって保護されている技術が組み込まれています。この技術は、米国Macrovision Corporationおよびその他の権利所有者が所有する米国特許権およびその他の知的財産権によって保護されています。この技術を使用するには、米国Macrovision Corporationの許諾が必要です。米国Macrovision Corporationの許諾を受けていない場合、ご家庭または個人で鑑賞するなど限られた用途でのみ使用できます。また、本製品のリバースエンジニアリングおよび逆アセンブルは禁じられています。

レーザー安全基準

CD-ROMドライブを搭載したすべてのコンパック パーソナル コンピュータは、IEC 825等の安全基準に適合しています。また本装置は、米国政府の定めるClass 1のレーザー装置基準に適合しており、通常の使用では人体に有害なレーザー光線を装置外部に放射することはありません。

CDRH規定

米国食品医薬局CDRH（Center for Devices and Radiological Health）のレーザー製品に関する規定（1976年8月2日施行）は、1976年8月1日以降に製造されたレーザー製品に適用されます。米国内で販売されるすべての製品がこの規格に適合しなければなりません。



警告：本書またはCD-ROMドライブに付属のマニュアルに記載されていない方法で調整などの作業を行うと、放射線をあびる危険性があります。

CLASS 1 LASER PRODUCT

このシステムは、Class 1レーザー装置として分類されます。左記のラベルがCD-ROMドライブに貼付されています。

レーザー部

種別：	半導体GaAlAs
波長：	780 ± 35 nm
ビーム分散角：	53.5° ± 1.5°
出力：	0.2mWまたは 10,869 W・m ⁻² sr ⁻¹ 未満
偏光：	環状
レンズ口径：	0.45 ± 0.04

本製品の修理は専門的な技術を修得したコンパック公認のサービスマンが行います。本書で説明するトラブルシューティングおよび修理の手順は、サブアセンブリ/モジュール レベルの修理に限定されます。一般のユーザがコンポーネント レベルの修理や回路基板の改造を行うと、思わぬ危険が生じますので絶対におやめください。

モデムの使用に関するご注意

モデムや電話機（コードレス タイプを除く）を安全に使用するために、必ず以下のガイドラインに従ってください。



警告：火傷や感電、火災を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 湿気の多い場所では、モデムや電話を使用しないでください。
 - 雷が鳴っているときは、モデムや電話を使用しないでください。落雷による感電の恐れがあります。
 - モデムや電話は、ガス漏れの発生を通報する場合には、現場では使用しないでください。使用する場合は、ガス漏れの現場から十分に離れてください。
 - 装置を開けたり、絶縁されていないモデム ケーブル、コネクタ、または内部部品に触れたりする場合は、必ず電話のケーブルを抜いてから作業を行ってください。
 - 本製品に電話回線コードが付属していない場合は、No. 26 AWG以上の電気通信回線コードを使用してください。
-

Telecom Network Approvals

The telecommunications device in your computer is approved for connection to the telephone network in the countries whose approval markings are indicated on the product label located on the bottom of the unit. Additional country approvals may be found on the Compaq web site. To view these approvals, visit <http://www.compaq.com> and perform a site search for the words “telecom network approvals.” If a selection is available for your product, you may view and print the approval marks or numbers.

Selecting a country other than the one in which you are currently located may cause your modem to be configured in a way that violates the telecommunication regulations/laws of that country. In addition, your modem may not function properly if the correct country selection is not made. If when selecting a country a message appears that states that the country is not supported, this means that the modem has not been approved for use in this country and thus should not be used.

U.S. Regulations Governing the Use of Modems

This equipment complies with Part 68 of the FCC rules. Located on the bottom of the computer is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalence Number (REN) for this equipment. Upon request, you must provide this information to your telephone company.

Ringer Equivalence Number

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your telephone number is called. In most areas (but not all), the sum of the RENs of all devices connected to one line should not exceed five (5.0). To be certain of the number of devices you may connect to your telephone line, as determined by the REN, you should contact your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

The REN for this device is 0.7B

An FCC Compliant 6-position modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible 6-position modular jack which is FCC Part 68 Compliant.

If your telephone equipment causes harm to the telephone network, the telephone company may discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. But, if advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be informed of your right to file a complaint with the FCC.

Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper functioning of your equipment. If they do, you will be notified in advance to give you an opportunity to maintain uninterrupted telephone service.

If you experience trouble with this telephone equipment, contact your local telephone company for information on obtaining service or repairs. The Telephone Company may ask that you disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the Telephone Company. Connection to party lines is subject to state tariffs.

For the Compaq Customer Support Center and your nearest Compaq Authorized reseller in North America, call 1-800-345-1518 or write:

Compaq Customer Support Center
P.O. Box 692000
Houston, Texas 77269-2000

Telephone Consumer Protection Act of 1991

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device to send any message via a telephone facsimile machine unless such message clearly contains, in a margin at the top or bottom of each transmitted page, or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, or entity, or individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, or entity, or individual.

Canadian Regulations Governing the Use of Modems

NOTE: The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets certain telecommunications network protective, operational, and safety requirements. The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction.

Before installing the equipment, users should ensure that it is permissible to be connected to the facilities of the local Telecommunications Company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection. In some cases, the company's inside wiring associated with a single line individual service may be extended by means of a certified connector assembly (telephone extension cord). The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations.

Repairs to certified equipment should be made by an authorized Canadian maintenance facility designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines, and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.



CAUTION: Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority or an electrician.

NOTICE: The Ringer Equivalence Number (**REN**) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices, subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The **Ringer Equivalence Number (REN)** for this device is 0.7

For the location of the authorized Canadian maintenance facility nearest you, call 1-800-263-5868 or contact:

Compaq Canada, Inc.
45 Vogell Road
Richmond Hill, Ontario L4B 3P6

European Union Notice

Telecommunications Terminal Equipment with the CE marking comply with Telecommunication Terminal Equipment and Satellite Earth Station Equipment (TTE & SES) Directive (98/13/EC), the EMC Directive (89/336/EEC), and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms or Regulations (in brackets are the equivalent international standards and regulations):

- EN55022 (CISPR 22)—Electromagnetic Interference
- EN50082-1 (IEC801-2, IEC801-3, IEC801-4)—Electromagnetic Immunity
- EN60950 (IEC950)—Product Safety
- CTR21 (ETSI TBR21)—Attachment requirements for connection to the analogue PSTNs of terminal equipment

The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

The equipment is designed to work with all EU telephone networks. However, the equipment may have interworking difficulties for some connections on the EU public networks. Dialling by loop disconnect pulses is not intended to be used on the PSTN. This feature is only supported in consideration of PBX or other equipment which requires pulse dialling. Network compatibility is dependent on software switch settings which are set automatically by the country selection. The user should contact the equipment supplier in case of difficulty in network settings.

If provided, use the Country Select Software supplied with the product to configure your modem for the country in which you are currently located. Selecting a country other than the one in which you are currently located may cause your modem to be configured in a way that violates the telecommunication regulations/laws of that country. In addition, your modem may not function properly if the correct country selection is not made.

New Zealand Modem Statements

The grant of a Telepermit for any item of terminal equipment indicates only that Telecom has accepted that the item complies with minimum conditions for connection to its network. It indicates no endorsement of the product by Telecom, nor does it provide any sort of warranty. Above all, it provides no assurance that any item will work correctly in all respects with another item of Telepermitted equipment of a different make or model, nor does it imply that any product is compatible with all of Telecom's network services.

This equipment is not capable, under all operating conditions, of correct operation at the higher speeds for which it is designed. Telecom will accept no responsibility should difficulties arise in such circumstances.

This device is equipped with pulse dialling while the Telecom standard is DTMF tone dialling. There is no guarantee that Telecom lines will always continue to support pulse dialling.

Use of pulse dialling, when this equipment is connected to the same line as other equipment, may give rise to bell tinkle or noise and may also cause a false answer condition. Should such problems occur, the user should not contact the Telecom Faults Service.

Some parameters required for compliance with Telecom's Telepermit requirements are dependent on the equipment (PC) associated with this device. The associated equipment shall be set to operate within the following limits for compliance with Telecom's Specifications:

- a. There shall be no more than 10 call attempts to the same number within any 30-minute period for any single manual call initiation, and
- b. The equipment shall go on-hook for a period of not less than 30 seconds between the end of one attempt and the beginning of the next attempt.

Where automatic calls are made to different numbers, the equipment shall go on-hook for a period of not less than 5 seconds between the end of one attempt and the beginning of the attempt.

The equipment shall be set to ensure that calls are answered between 3 and 30 seconds of receipt of ringing (S0 set between 2 and 10). This ensures:

- a. A person calling your modem will hear a short burst of ringing before the modem answers. This confirms that the call has been successfully switched through the network.
- b. Caller identification (which occurs between the first and second ring cadences) is not destroyed.

This equipment does not fully meet Telecom's impedance requirements. Performance limitations may occur when used in conjunction with some parts of the network. Telecom will accept no responsibility should difficulties arise in such circumstances.

This equipment should not be used under any circumstances which may constitute a nuisance to other Telecom customers.

This equipment shall not be set to make automatic calls to the Telecom '111' Emergency Service.

静電気対策

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなることがあります。静電気に弱い部品等を取り扱う前に、この付録で説明する方法のいずれかで身体にたまった静電気を放電してください。

静電気による損傷の防止

リムーバブル ドライブを取り扱う場合

静電気によるリムーバブル ドライブの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

- リムーバブル ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面やコンピュータ背面のコネクタの止めネジ部分に触れるなどして静電気を放電します。
- コンピュータおよびリムーバブル ドライブのコネクタ ピンには触れないようにします。
- リムーバブル ドライブは、ドライブ ベイに挿入する直前までキャリング ケースに入れておきます。

内部部品をインストールする場合

静電気による損傷を防ぐため、内部部品をインストールするときは以下の点に注意してください。

- 部品は、コンピュータに装着する直前まで静電気防止用のケースに入れておきます。
- 作業後に移動することを避けるため、インストールを始める前に必要な道具などをすべて手の届く範囲に揃えておきます。

- 磁気を帯びていない道具を使用します。
- 電子部品に触れる場合は、この付録の「アースの方法」を参照して静電気を放電します。作業中に移動しなければならない場合は、もう一度静電気を放電してからインストール作業を再開してください。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。電子部品に触れる回数をなるべく少なくします。
- 取り外した部品は、静電気防止用のケースに入れておきます。

アースの方法

アースにはいくつかの方法があります。コンピュータまたは拡張ベースにリムーバブル ドライブを装着したり、メモリ拡張ボードをインストールしたりする場合は、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- 塗装されていない金属面やコンピュータ背面のコネクタの止めネジ部分などに触れます。コネクタ ピンには触れないでください。インストールの手順にコンピュータまたは拡張ベースから電源コードを取り外すように指示されている場合は、正しくアースしてから電源コードを取り外し、その後カバーを外すなどの作業を行います。
- アース用プラグを使用してコンセントからアースされている装置の場合は、装置の表面の塗装されていない金属面に触れます。
- すでにアースされているコンピュータ本体にアース バンドをつなぎます。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アース コード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アース バンドは肌に密着させてください。

注： 静電気について詳しくは、コンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社にお問い合わせください。

付録D

仕様

コンピュータ本体の寸法

高さ	2.8 cm
幅	31.5 cm
奥行	24.9 cm

操作環境

動作保証温度	
動作時	10～35°C
非動作時	-10～60°C
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	10～90%
非動作時	5～90%
動作保証高度（無加圧時）	
動作時	3,048 m
非動作時	9,144 m

定格入力電源

動作電圧	100～120/220～240 VAC RMS
動作電流	1.2/0.6 A RMS
動作周波数範囲	50～60 Hz
DC電源からの電力供給時	18.5 V

注：この製品は、最低充電量240 Vrms以下の相間電圧によるノルウェーのIT電源システム用に設計されています。

コネクタおよびポートの設定

コネクタまたはポート		アドレス	IRQ	DMA
シリアル ポート		3F8h～3FFh	4	
USBコネクタ		2400～241Fh	11	
パラレル ポート		378～3FFh	7	3
シリアルI/Oコネクタ	COM1	3F8h～3FFh	4	
赤外線ポート	COM3	3E8h～3EFh	3	5
内蔵モデム				
Windows 95またはWindows 98	COM2	2F8h～2FFh	11	
Windows NT 4.0	COM2または COM4	2F8h～2FFh	11、5、 または10	
Windows 2000 Professional		3400h～2447h	11	

モデムの仕様

動作保証温度	
動作時	0～75℃
非動作時	-40～75℃
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	10～90%
非動作時	5～90%（最大球湿度39℃以下）
インタフェース	
通信コネクタ	標準RJ-11電話コネクタ
電話、PBX	内蔵DAA
電源要件	+3.3 V±5%、+3.3 vaux±5%、+5 V±5%

索引

2

2極アース付き国内変換プラグ 1-10

A

ACアダプタ 1-10

ACエナジー セーブ機能
(Windows NT) 4-18

ATコマンド 7-6

B

BIOS (Basic Input/Output System) 2-9

C

CapsLockランプ 1-2

CardBus PCカード 11-1

CD

挿入 5-11

取り出し 5-12

非常用取り出しホール 5-12

CD-ROMドライブ

自動挿入機能 4-21

トラブルシューティング 16-3

マルチベイからの取り出し 5-9

マルチベイへの取り付け 5-10

Certificate of Authenticity 1-8

[Compaq Diagnostics] 14-1, 14-5

Compaqサポート ソフトウェア

CD 15-1

[Computer Setup] 14-1, A-2

[Advanced]メニューでの設定内容 14-4

[File]メニューでの設定内容 14-2

[Security]メニューでの設定内容 14-3

指示へのアクセス 14-2

終了 14-2

使用目的 14-1

内蔵テンキーの有効/無効 2-15

表示言語の変更 14-2

[Computer Setup]

DriveLockによるハードドライブ
の保護 6-14

DriveLockによるハードドライブ
の保護の解除 6-16

DriveLockのuser passwordまたは
master passwordの変更 6-16

D

DriveLock 6-1, 6-12

DVD

挿入 5-11

取り出し 5-12

非常用取り出しホール 5-12

DVD-ROMドライブ

自動挿入機能 4-21

トラブルシューティング 16-3

マルチベイからの取り出し 5-9

マルチベイへの取り付け 5-10

DVDムービー 10-4

E

ECPパラレル モード 14-4

EPPパラレル モード 14-4

F

FD →「フロッピーディスク」を参照

FDD →「フロッピーディスク
ドライブ」を参照

[Fn]キー 2-4, 2-5, 4-5

内蔵テンキーの使用 2-14

ハイバネーションの起動 4-4

I			
Intel Pentium IIIプロセッサ	4-22		
IR、IrDA	→「赤外線」を参照		
L			
LAN			
起動時におけるネットワークへのアクセス	8-3		
コネクタ	1-5		
接続	8-2		
接続のオン/オフ	4-27		
LANドライバ			
アップデート	8-3, 8-6, 8-9		
再インストール	8-3, 8-6, 8-9		
LS120	→「スーパーディスクドライブ」を参照		
M			
master password	6-1, 6-12		
削除	6-16		
設定	6-15		
入力	6-15		
変更	6-16		
忘れてしまった場合	6-1		
MultiBoot	5-18, 14-4		
N			
[NumLk]キー	2-14		
NumLockランプ	1-2, 2-14		
O			
OHP	1-4, 2-6, 10-4		
P			
PCカード	11-1		
Zoomed Video	11-2		
イジェクト ボタン	1-5		
種類	11-2		
使用中の節電	4-27		
スロット	1-5		
スロット、上下の違い	11-2		
設定	11-2		
挿入	11-3		
トラブルシューティング	16-4		
取り出し	11-4		
未使用時にオフにする場合 (Windows 95)	4-16, 4-27		
POST	→「電源投入時のセルフ テスト」を参照		
Power-on password	6-1, 6-3		
Quick Controls	6-6		
削除	6-3, 6-5		
設定	6-3		
入力	6-5		
変更	6-3, 6-5		
忘れてしまった場合	6-1		
Q			
QuickBoot	14-4		
Quick Controls			
USBキーボードからの起動	6-6		
キーボードからの起動	2-6, 2-7		
設定	6-6		
QuickLock			
起動	6-8		
終了	6-8		
R			
RJ-11コネクタ	1-5		
RJ-45コネクタ	1-5		
S			
[Scroll Lock]キー	2-5		
ScrollLockランプ	1-2		
Setup password	6-1, 6-9		
削除	6-9		
設定	6-9		
入力	6-11		
変更	6-9		
忘れてしまった場合	6-1		
SpeedStep	14-5		
設定	4-23		
[SpeedStep]アイコン			
使用	4-25		

SpeedStepテクノロジー	4-22	インターネットWebサイト	
T		Compaqサポート ソフトウェア	
TVコネクタ	1-4	CD	15-1
U		イージー アクセス ボタン	2-10
USBコネクタ	1-7, 2-5	コンパック	A-2
USB (ユニバーサル シリアル バス)		システムの更新	15-1, 15-5
コンフィギュレーション、装置	14-1, 14-4	インテリジェント マネジメント機能	13-1
トラブルシューティング	16-6	障害管理機能	13-2
user password	6-1, 6-12	インフォメーション (イージー アクセス ボタン)	2-10
削除	6-16	ウェイト セーバ	1-10
設定	6-15	裏面の各部	1-8
入力	6-15	映像コネクタ	
変更	6-16	コンボジットTV出力	10-4
忘れてしまった場合	6-1	オーディオ	
W		ステレオ スピーカ/ヘッドフォン	
Windows NTネットワーク		コネクタ	1-6
再インストール	8-7	トラブルシューティング	16-7
あ		マイク コネクタ	1-6
アースの方法	C-2	オーディオ機器、外付け	
アセット タグ	6-19	コネクタの選択	10-3
アプリケーション		ステレオ スピーカ	10-2
→「ソフトウェア」を参照		ヘッドフォン、ヘッドセット	10-2
安全基準	15-6	マイク	10-2
イージー アクセス ボタン	1-3, 2-9	オーナーシップ タグ	6-19
各部の名称	2-10	オペレーティング システム	
スキームの確認/切り替え	2-13	サポート	A-4
スキームの削除	2-13	市販のバージョンを使用する場合	15-5
スキームの追加	2-11	温度	D-1
スキームの変更	2-12	バッテリー パック	4-8
イージーポイントIV	2-2	音量	
カスタマイズ	2-4	トラブルシューティング	16-7
ボタン	2-2	ホットキーを使用した音量の調節	2-6, 2-7, 10-3
インストール		か	
SoftPak	15-3	カー アダプタ (別売)	
システムROM	15-3	電源	4-1, 4-7

拡張ベース（別売）	2-8	ホットキーの使用	2-5
→「ドッキングベース（別売）」も参照		キーボード/マウス コネクタ	1-7
各部の名称		キーボード（イーザーポイントIV ポインティング スティック搭載 モデル）	
イーザー アクセス ボタン	2-10	各部の名称	2-2
裏面	1-8	内蔵テンキーの使用	2-14
前面	1-6	ポインティング スティック機能 のカスタマイズ	2-4
背面	1-7	ポインティング スティックの 操作	2-3
左側面	1-4	キーボード（タッチパッド搭載 モデル）	
表面	1-2	各部の名称	2-2
ポインティング デバイス	1-1	タッチパッド機能のカスタマイズ	2-4
右側面	1-5	タッチパッドの操作	2-3
カスタマー サポート	A-1	内蔵テンキーの使用	2-14
各国仕様のモデム アダプタ	7-7	キーボード/テンキーパッド トラブルシューティング	16-10
各国の電話番号	A-5	輝度	
画面	16-9	ホットキーによる調整	2-6, 2-8
トラブルシューティング	16-9	起動順序	5-18
ホットキーによる画面の切り替え	2-6	クイック コントロール →「Quick Controls」を参照	
ホットキーによるテキストの拡大 表示	2-9	クイックロック/クイックブランク →「QuickLock/QuickBlank」を参照	
画面輝度		空港のセキュリティ機器 警告	15-7
設定（Windows 2000）	4-20	CD-ROMドライブの取り扱い	B-7
設定（Windows 95）	4-15	コンピュータ内部の温度	5-3
設定（Windows 98）	4-17	コンピュータの掃除	15-6
設定（Windows NT）	4-18	電圧コンバータ	15-8
ホットキーによる調整	2-6, 2-8	内蔵モデム	7-2
完全なロー バッテリー状態	4-6, 4-7	内部コンパートメント	9-2
管理者パスワード	6-1, 6-9, 6-10	バッテリー パックの取り扱い	3-3, B-5
削除	6-9	ヘッドフォン使用時	10-3
設定	6-9, 6-10	メモリ拡張ボード着脱時	9-2
入力	6-11	モデムの使用	B-8
変更	6-9	ケーブル	
忘れてしまった場合	6-1	セキュリティ	6-1
キーパッド			
外付けテンキーパッド	2-14		
内蔵テンキー	2-14		
キーボード			
取り付け（メモリ着脱時）	9-5		
取り外し（メモリ着脱時）	9-2		

ケーブル ロック	6-23	コンフィギュレーション	
ケーブル ロック コネクタ	1-4	ユーティリティ	14-1
工場出荷時のデフォルト設定	14-2	コンポーネント	
高度	D-1	同梱物	1-10
コネクタ		コンボジットTV出力コネクタ	1-4, 10-4
RJ-11	1-5		
RJ-45	1-5	さ	
USB	1-7, 14-1	サーチ (イージー アクセス ボタン)	2-10
キーボード/マウス	1-7	最新ソフトウェアのダウンロード	15-2
ケーブル ロック	1-4	[最大パフォーマンス]モード	4-22
コンボジットTV出力	1-4, 10-4	切り替え	4-22
シリアル	1-7	組み合わせ	4-23
ステレオ スピーカ/ヘッドフォン	1-6, 10-2, 10-3	サウンド コンポーネント用通気孔	1-5
外付けモニタ	1-7, 2-6		
電源	1-7	サスペンド (スタンバイ)	
ドッキング	1-7	完全なロー バッテリ状態での	
パラレル	1-7	起動	4-6
マイク	1-6, 10-2	起動 (作業を中断する場合)	4-2
コントラスト		サスペンド ボタンで起動する	4-4
ホットキーによる調整	2-6, 2-8	サスペンド ボタンで終了する	4-4
コンビニエンス ベース (別売)	2-8	システムからの起動を有効にする	
→「ドッキングベース (別売)」も		(自動挿入機能をオフにする)	4-21
参照		タイムアウト	4-14
バッテリー パックの位置番号	4-12	定義	4-2
コンピュータ		サスペンド ボタン	1-2, 4-5
寸法	D-1	サスペンド (スタンバイ) の起動	4-4
手入れ	15-6	サスペンド (スタンバイ) の終了	4-4
コンピュータのセットアップ	14-1	ハイバネーションの起動	4-4
コンピュータの電源を入れる		ロックしたシステムのリセット	16-2
電源スイッチの操作	4-4	サスペンド ランプ	4-4
コンピュータの電源を切る		サポート	
オペレーティング システムの		インターネットWebサイト	A-2
終了	4-4	情報の提供方法	A-2
作業を中断する場合	4-3	サポート、テクニカル	A-1
使用しない場合	4-3, 15-6	紫外線	
メモリ コンパートメントへの		コンピュータへの影響	15-6
アクセス時	9-2		
ロー バッテリ状態や完全な			
ロー バッテリ状態の解決方法	4-7		

磁気	C-2	設定	4-14
システムROM	15-2, 15-3, A-2	ハイバネーション	4-2
バージョンの表示	2-6, 2-9	省電力機能の設定	
システム アイドルのタイムアウト		Windows 2000	4-20
設定 (Windows 95)	4-15	Windows 95	4-15
設定 (Windows NT)	4-18	Windows 98	4-17
システム情報		Windows NT	4-18
[Compaq Diagnostics]での表示	14-1, 14-5	情報提供方法	A-2
[Computer Setup]での表示	14-1, 14-2	シリアル コネクタ	1-7
ホットキーによる表示	2-6, 2-9	シリアル番号	6-19, A-1
システム ソフトウェアのバージョン		ラベルの位置	1-8
[Compaq Diagnostics]での表示	14-5	シングルクリック モード (Windows 98)	2-4
ホットキーによる表示	2-6, 2-9	診断用ユーティリティ	14-1
システムの更新	15-1	スイッチ	
システムのビーブ音 (アラーム)		ディスプレイ	1-2
完全なロー バッテリー状態	4-6	電源	1-3, 4-4
サスペンド起動時	4-4	スーパーディスク ドライブ	
サスペンド終了時	4-4	ディスクの挿入	5-17
ハイバネーション起動時	4-4	ディスクの取り出し	5-17
ハイバネーション終了時	4-4	トラブルシューティング	16-17
ロー バッテリー状態	4-6	マルチベイからの取り外し	5-13
ロー バッテリー状態や完全な		マルチベイへの取り付け	5-14
ロー バッテリー状態での警告音		スキーム (イージー アクセス ボタン)	
の有効/無効	4-15, 4-19	確認/切り替え	2-13
湿度	D-1	削除	2-13
自動挿入機能	4-21	追加	2-11
充電順序		変更	2-12
バッテリー パック	3-1	スクロール ボタン	
周波数範囲		ポインティング スティック搭載	
仕様	D-1	モデル	2-2
仕様		スタンバイ (Windows 2000)	1-3, 4-4
周波数範囲	D-1	→「サスペンド」も参照	
寸法	D-1	スタンバイ (Windows 98)	1-3, 4-4
動作電圧	D-1	→「サスペンド」も参照	
動作電流	D-1	ステレオ スピーカ (外付け)	10-2, 10-3
モデム (内蔵)	D-2	ステレオ スピーカ (内蔵)	1-3
障害管理機能	13-2	位置	10-1
省電力機能		外付けオーディオ機器の使用時	10-3
サスペンド	4-2		

モバイル拡張ユニットのスピー カの使用時	10-1
ステレオ スピーカ/ヘッドフォン コネクタ	1-6, 10-2, 10-3
スピーカ	
トラブルシューティング	16-7
内蔵	1-3
スリープ ボタン (Windows 98)	1-3, 4-4
→「サスペンド ボタン」も参照	
スロット	
セキュリティ ケーブル	6-1
メモリ拡張	9-4
静電気	5-1, C-1
静電気による損傷の防止	C-1
静電気の放電	C-1
赤外線	
ケーブル接続	12-2
サポートしている速度	12-1
[赤外線モニター]の検索機能	12-2, 12-3
接続時の注意点	12-4
ソフトウェア	12-1
通信機能の使用	12-2
トラブルシューティング	16-11
ポート	1-7, 12-1
赤外線ポート	
位置	12-1
仕様	12-2
有効/無効	12-2
セキュリティ	
DriveLock	6-1, 6-12
Power-on password	6-1, 6-3
Quick Controls	2-6, 2-7, 6-1, 6-6
Setup password	6-1, 6-9
管理者パスワード	6-1, 6-9, 6-10
機能、クイック リファレンス	6-1
ケーブル ロック	6-1, 6-23
システム情報の管理方法	6-19
装置の使用禁止と使用許可	6-17
ハードドライブのプロテクト	6-14

セキュリティ ケーブル スロット	6-1
接続	
LAN	8-2
外付けビデオ装置	10-4
節電	4-14
LANのオン/オフ	8-2
Windows 2000	4-28
Windows 95	4-27
Windows 98	4-28
Windows NT	4-28
チェックリスト	4-27
セットアップ パスワード	
→「Setup password」を参照	
前面の各部	1-6
双方向パラレル コネクタ	14-4
外付けキーボード	
内蔵テンキーの無効化	2-14
ホットキーの使用	2-5
外付けモニタ コネクタ	1-7, 2-6
ソフトウェア	
ATI	10-5
CardWare	11-1
Lotus cc Mail	7-4
Lotus Notes	7-4, 7-5
Microsoft MS-Mail 3.2 Remote	7-6
ケーブル接続	12-2
更新	15-1
コンフィギュレーション、診断、 システム情報	14-1
自動挿入機能	4-21
セキュリティ	6-1
マルチモニタ	2-6
リストア (復元)	15-5

た

タイムアウト	
設定 (Windows 95)	4-15
設定 (Windows 98)	4-17
設定 (Windows NT)	4-19
定義	4-14

タッチパッド	2-1, 2-2	デバイス ドライバ	
各部の名称	1-1	インストール	15-5
カスタマイズ	2-4	更新	15-1
手順	2-3	デフォルト設定のリストア (復元)	14-2
ボタン	2-2	デュアルベイ バッテリ パック	
注意事項		位置番号	4-12
DriveLockパスワード	6-12, 6-14, 6-16	テレビ	1-4, 10-4
PCカード ドライバ	11-2	テレビのモード	10-5
PCカードの挿入	11-3	電圧	D-1
PCカードの取り出し	11-4	電圧コンバータ	15-8
Power-on password	6-3	テンキーパッド	
Setup password	6-9	トラブルシューティング	16-10
管理者パスワード	6-9	テンキーパッド (外付け)	2-14
コンピュータの掃除	15-6	電源	
システムROMのアップデート	15-3, 15-4	選択	4-1
市販のオペレーティング シス テムを使用する場合	15-5	トラブルシューティング	16-13
ステレオ スピーカ/ヘッドフォン コネクタ	10-2	電源コード	1-10
静電気	9-2, C-1	接続	15-8
ソフトウェアのインストール	15-5	電源コネクタ	1-7
ソフトウェアのリストア	15-5	電源/サスペンド ランプ	1-6, 4-5
ディスプレイ	15-6	消灯	4-4
ドライブの取り扱い	5-1	点灯	4-4
ハードドライブの着脱時	6-14, 6-16	点滅	4-4, 4-6
ハードドライブ用マルチベイ アダプタのタブ	5-6	電源スイッチ	1-3, 4-5
バッテリー パックの交換時	3-3	コンピュータをオンにする	4-4
バッテリー パックの調整	4-12	サスペンド (スタンバイ) の終了	4-4
バッテリー パックの保管時	3-2	ハイバネーションからの復元	4-4
通気孔	1-4, 1-5	ロックしたシステムのリセット	16-2
サウンド コンポーネント用	1-5	電源投入時パスワード	
ディスプレイ		→「Power-on password」を参照	
トラブルシューティング	16-9	電子メール (イージー アクセス ボタン)	2-10
ディスプレイ スイッチ	1-2	電流	D-1
テキストの拡大表示		電力	
ホットキーによる調節	2-6, 2-9	供給方法	4-1
テクニカル サポート	A-1	問い合わせ	A-1
		同梱物	
		標準コンポーネント	1-10
		動作温度	15-6

動作環境

仕様	D-1
ドッキング コネクタ	1-7
ドッキング ベース (別売)	2-8, 3-1, 14-1
電源	4-1, 4-7, 4-12, 4-13
バッテリー パックの位置番号	4-12
バッテリー パックの調整	4-12, 4-13
ビデオ カードに接続されたデバイス を1次デバイスとして設定	14-4
ドライブ	
CD-ROMドライブ	5-9
DVD-ROMドライブ	5-9
ウェイト セーブとの交換	1-10
ソフトウェアインストール中の 着脱	15-5
ハードドライブ	5-3
マルチベイ ウェイト セーブ	5-2
ドライブロック →「DriveLock」を参照	
トラブルシューティング	
CD-ROMドライブ	16-3
DVD-ROMドライブ	16-3
PCカード	16-4
USB	16-6
一般的な問題を解決するための チェックリスト	16-2
オーディオ	16-7
画面	16-9
キーボード/テンキーパッド	16-10
スーパーディスク ドライブ	16-17
赤外線	16-11
テクニカル サポート	A-1
電源	16-13
ハードドライブ	16-14
バッテリー パック/バッテリー ゲージ	16-15
フロッピーディスク ドライブ	16-17
モデム	16-18
ロックしたシステムのリセット	16-2

な

内蔵テンキー	2-14
日光	
コンピュータへの影響	15-6
荷物として送る	
コンピュータ	15-7
ネットワーク →「LAN」を参照	
ネットワーク ケーブル	1-10
ネットワーク プロトコル 確認 (Windows 95または Windows 98)	8-5

は

ハードドライブ	
DriveLock	6-1
トラブルシューティング	16-14
内容の保護	6-1
ハードドライブ ベイからの 取り出し	5-3
ハードドライブ ベイへの 取り付け	5-4
ハイバネーション ファイル	4-2, 4-6, 9-1
マルチベイ アダプタの取り付け	5-5
マルチベイ アダプタの取り外し	5-6
マルチベイからの取り出し	5-8
マルチベイへの取り付け	5-7
ハードドライブのタイムアウト 設定 (Windows NT)	4-18
ハードドライブのプロテクト	6-14
ハードドライブ ベイ	1-6
ハードドライブ ランプ	1-2
ハイバネーション	
完全なロー バッテリ状態での 起動	4-6, 4-7
起動	4-3, 4-4
定義	4-2
バッテリー パック交換時の起動	4-7
復元	4-3, 4-4, 4-7
復元の中止	4-7

有効/無効 (Windows 2000)	4-20	バッテリー チャージャ (別売)	4-8
有効/無効 (Windows 95)	4-16	[バッテリーに合わせたパフォーマンス]モード	4-22
有効/無効 (Windows 98)	4-17	切り替え	4-22
有効/無効 (Windows NT)	4-19	組み合わせ	4-23
ハイバネーションのタイムアウト		バッテリーの寿命を延ばす	3-2
設定 (Windows 95)	4-15	バッテリーの状態	
設定 (Windows 98)	4-17	ホットキーによる表示	2-6, 2-8
設定 (Windows NT)	4-19	バッテリー パック	
ハイバネーション ファイル		位置の表示	2-8
サイズの増加	9-1	位置番号	4-12
情報の保存先	4-2	ウェイト セーバとの交換	1-10
場所の変更 (Windows 95)	4-16	クイック チェック機能	4-9
場所の変更 (Windows 98)	4-17	ゲージの精度	4-9, 4-11
場所の変更 (Windows NT)	4-19	交換	3-3
背面の各部	1-7	残量の表示	2-6, 2-8
パスワード		充電	4-1, 4-11
DriveLock、master password	6-1	充電残量の表示	4-11
DriveLock、user password	6-1	充電順序	3-1
Power-on password	6-1, 6-3	充電ランプ	4-9
Setup password	6-1, 6-9	充電量の確認	4-9, 4-10
管理者	6-1, 6-9, 6-10	装着場所	3-1
忘れてしまった場合	6-1	挿入	3-5, 3-7
バックアップ		調整	4-11
システム コンフィギュレーション	14-2	トラブルシューティング	16-15
提供方法	A-4	取り出し	3-4, 3-6
持ち運ぶ	15-7	廃棄方法	B-5
バッテリー		放電順序	3-2
→「バッテリー パック」を参照		保管	3-2
バッテリー切れ	4-6	持ち運んだり荷物として送ったりする場合	15-6
バッテリー ゲージの調整		バッテリー ベイ	1-8
調整の実行	4-13	バッテリー ランプ	4-6, 4-8
調整の中止	4-11, 4-13	パラレル コネクタ	1-7, 14-4
バッテリー ゲージ ボタン	4-9	光によるコンピュータへの影響	
バッテリー充電ランプ	1-6, 16-15	紫外線	15-6
バッテリー節電レベル		日光	15-6
Windows 2000	2-7, 4-20, 4-28	左側面の各部	1-4
Windows 95	2-7, 4-15, 4-27	左ボタン	
Windows 98	2-7, 4-17, 4-28	タッチパッド搭載モデル	2-2
Windows NT	2-7, 4-18, 4-28		

ポインティング スティック搭載 モデル	2-2	マルチベイへの取り付け ベイ	5-14
ビデオ		位置番号	4-12
ドッキングベースのビデオカード	14-4	ヘッドフォン	
ビデオ カメラ	1-4, 10-4	トラブルシューティング	16-7
ビデオ キャプチャ カード	10-4	ヘッドフォン コネクタ	1-6
ビデオ コネクタ		ヘッドフォン、ヘッドセット (外付け)	10-2, 10-3
コンジットTV出力	10-4	ポインティング スティック	2-1, 2-2
ビデオ出力モード	14-4	手順	2-3
ビデオ装置 (外付け)	10-4	ポインティング デバイス	2-1
ビデオ デッキ	1-4, 10-4	各部の名称	1-1
ビデオ モード	10-5	操作	2-3
表示		タッチパッド	1-1
マルチモニタ	2-6	ポインティング スティック	1-1
表示画面	→「画面」を参照	放電順序	
表示言語の変更		バッテリー パック	3-2
[Computer Setup]	14-2	ポート	→「コネクタ」も参照
標準コンポーネント	1-10	赤外線	1-7, 12-1
表面の各部	1-2	ホーム (イージー アクセス ボタン)	2-10
ファン	1-8	保管温度	
ファンクション キー	2-5	バッテリー パック	3-2
ブート シーケンス	5-18	保守	
プロセッサ速度		ソフトウェアの更新	15-1
設定 (Windows 2000)	4-20	ボタン	
設定 (Windows 95)	4-15	PCカード イジェクト	1-5
設定 (Windows NT)	4-18	イージー アクセス	1-3, 2-9
プロダクト キー (Windows)	1-8	インターネット	2-10
フロッピーディスク		サスペンド	1-2, 4-4
システム コンフィギュレーション の保存またはリストア (復元) での 使用	14-2	左右およびスクロール ボタン (タッチパッド搭載モデル)	2-2
ソフトウェアのインストール用	15-3	左右およびスクロール ボタン (ポインティング スティック 搭載モデル)	2-2
バックアップ	14-2	バッテリー ゲージ	4-9
フロッピーディスク ドライブ		ホットキー	2-5
外付け	5-15	クイック リファレンス	2-6
ディスクの挿入	5-17	外付けキーボードでの使用	2-5
ディスクの取り出し	5-17	ホットキー コマンド	
トラブルシューティング	16-17	Quick Controlsの起動	2-5, 2-6, 2-7
パラレル コネクタへの接続	5-15		
マルチベイからの取り外し	5-13		

音量の調節、消音、消音解除	2-6, 2-7
画面の輝度の調整	2-6, 2-8
画面の切り替え	2-6
画面のコントラストの調整	2-6, 2-8
システム情報の表示	2-6, 2-9
テキストの拡大表示	2-6, 2-9
バッテリー節電レベルの設定 (Windows 2000)	2-6, 2-7, 4-20
バッテリー節電レベルの設定 (Windows 95)	2-6, 2-7, 4-15
バッテリー節電レベルの設定 (Windows 98)	2-6, 2-7, 4-17
バッテリー節電レベルの設定 (Windows NT)	2-6, 2-7, 4-18
バッテリーの状態の表示	2-6, 2-8
ボリューム	→「音量」を参照

ま

マイク	
トラブルシューティング	16-7
マイク コネクタ	1-6, 10-2
マイク (外付け)	10-2
マイク (内蔵)	10-1
外付けマイク使用時	10-2
マウス	→「ポインティング デバイス」を参照
マスタ パスワード	→「master password」を参照
マルチブート	5-18
マルチベイ	
位置	1-5
ウェイト セーバの装着	1-10
切り込み	1-8
リリース ラッチ	1-8
マルチベイ ウェイト セーバ	5-2
マルチベイ ドライブ ランプ	1-2
マルチベイ バッテリ パック	
位置番号	4-12
挿入	3-7
取り出し	3-6
マルチモニタ サポート機能	2-6

右側面の各部	1-5
右ボタン	
タッチパッド搭載モデル	2-2
ポインティング スティック搭載 モデル	2-2
メイン バッテリ パック	
位置番号	4-12
挿入	3-5
取り出し	3-4
メール (イージー アクセス ボタン)	2-10
メモリ (RAM)	4-2, 14-2, 14-4
コンピュータに搭載されている 容量の表示	9-1
ハイパネーション ファイルに 必要な容量の表示	9-1
メモリ拡張ボード	
取り付け	9-4
取り外し	9-3
モデム、PCカード	→「PCカード」を参照
モデム アダプタ、各国仕様	7-7
モデム ケーブル	1-10
モデム スロット カバー	1-8
モデム (内蔵)	
アダプタ	1-10
コネクタ	1-5
仕様	D-2
承認ラベル	1-8
接続	7-1
節電のためにアプリケーションを 終了する	4-27
セットアップ	7-3
通信ソフトウェア	7-4
ドライバのアップデート	7-11, 7-12, 7-13
ドライバの再インストール	7-11, 7-12, 7-13
トラブルシューティング	16-18
モニタ	
トラブルシューティング	16-9

モニタ（外付け）	
エナジー セーブ モニタ （Windows NT）	4-18
表示画面の切り替え	2-6
モバイル拡張ユニット	
スピーカ	10-1
問題の解決方法	
→「トラブルシューティング」を参照	

や

ユーザ パスワード	
→「user password」を参照	
ユーティリティ（コンフィギュレーション、診断、システム情報）	
[Computer Setup]と[Compaq Diagnostics]の選択	14-1
ユニバーサル シリアル バス	
→「USB」を参照	

ら

ラッチ	
バッテリー リリース	3-4
マルチベイ リリース	1-8
ラベル	
Certificate of Authenticity	1-8
シリアル番号	1-8
モデム承認	1-8

ランプ

CapsLock	1-2
NumLock	1-2, 2-14
ScrollLock	1-2
電源/サスペンド	1-6, 4-4, 4-6
ハードドライブ	1-2
バッテリー	4-6, 4-8
バッテリー充電	1-6
バッテリー パックの充電	4-9
マルチベイ ドライブ	1-2

旅行中

各国仕様のモデム アダプタ	7-7
空港のセキュリティ機器	15-7
国外	15-8
コンピュータの準備	15-7
電源コードの接続	15-8
[レジューム タイマ]	
設定（Windows 95）	4-15
設定（Windows NT）	4-19
ローカル エリア ネットワーク	
→「LAN」を参照	
ロー バッテリー状態	4-6
解決	4-7
ロック（ケーブル）	6-1
ロックしたシステムのリセット	16-2